

事業用貨物自動車の 交通事故の発生状況

令和3年8月

公益社団法人 全日本トラック協会

まえがき

本書は、公益財団法人交通事故総合分析センター並びに国土交通省の協力を得て、 警察庁が公表した令和2年中の全国交通事故統計データから、事業用貨物自動車(軽 自動車を除く)を対象とした交通事故の全体傾向を集計し、取りまとめています。

令和2年中に全国で発生した交通事故(物損事故を除く)件数は309,178件、死者数は2,839人、負傷者数は369,476人と、前年に比べて事故件数が72,059件減(-18.9%)、死者数が376人減(-11.7%)、負傷者数が92,299人減(-20.0%)となっています。

一方、事業用貨物自動車に目を向けると、交通事故による負傷者数及び飲酒運転 事故件数についてはそれぞれ減少したものの、飲酒運転事故件数の撲滅にはほど遠 く、トラック運送業界の社会的信頼性を失墜させかねない憂慮すべき状況が依然と して続いています。

国の5カ年計画である「第11次交通安全基本計画」では、令和7年までの目標値を死者数2千人以下、重傷者数2万2千人以下としており、これを踏まえて国土交通省では、同じく令和7年までに軽貨物を含む事業用トラックの目標値を死者数190人以下、重傷者数1,280人以下、人身事故件数9,100件以下、飲酒運転ゼロ、追突事故件数3,350件以下とする「事業用自動車総合安全プラン2025」を公表しました。

国土交通省が定めた目標を実現するために、全日本トラック協会では「トラック事業における総合安全プラン 2025」を策定し、「飲酒運転ゼロ」および、「事業用トラック(軽貨物を除く)を第一当事者とする、死者数と重傷者数の合計を車両台数1万台あたり『6.5』人以下とする」ことを各都道府県(車籍別)の共有目標として設定し、事業用トラックが関係する交通事故を1件でも多く削減するよう取り組むこととしています。

交通事故防止対策の取り組みにあたっては、事業用トラックの特徴的な事故要因 分析を充実させ、より実効性のある交通事故防止の取り組みを促進する必要があり ます。

本資料を事業用トラックの事故要因分析のために活用していただくことにより、 有効な事故防止対策につながることを期待申し上げます。

令和3年8月

公益社団法人 全日本トラック協会 会 長 坂 本 克 己

- 本書における用語の定義は、次のとおりである。
 - 1 「交通事故」とは、道路交通法で規定する道路において、車両等及び列車の交通によって起こされた事故で、人の死亡又は負傷を伴うもの(人身事故)並びに物損事故をいう。ただし、本書においては物損事故を除く。
 - 2 「死亡」(「死者」)とは、交通事故によって、発生から24時間以内に亡くなった場合(人) をいう。
 - 3 「負傷」(「負傷者」)とは、「重傷」(「重傷者」)と「軽傷」(「軽傷者」)の合計をい う。
 - 4 「重傷」(「重傷者」)とは、交通事故によって負傷し、1箇月 (30日) 以上の治療を要する場合 (人)をいう。
 - 5 「軽傷」(「軽傷者」)とは、交通事故によって負傷し、1箇月(30日)未満の治療を要する場合(人)をいう。
 - 6 「死傷」(「死傷者」)とは、「死亡」(「死者」)と「重傷」(「重傷者」)と「軽傷」 (「軽傷者」)の合計をいう。
 - 7 「死傷者数」とは、事業用貨物自動車の事故における全当事者数をいう。
 - 8 「事業用貨物自動車」とは、第1当事者が事業用で貨物車(軽自動車を除く。)をいう。ただし、注意書きを除く。
 - 9 「第1当事者」とは、最初に交通事故に関与した車両等(列車を含む。)の運転者又は歩行者の うち、当該交通事故における過失が重い者をいい、また過失が同程度の場合には人身損傷程度が軽 い者をいう。
 - 10 「事故類型」とは、当該交通事故を先ず当事者の種類(人または車両等)によって分類し、次いで当事者の事故時の行動等(動き、位置、衝突物等)によって更に細かく分類したものをいう。
 - 11 「対歩行者」とは、当該交通事故の第2当事者が歩行者(準歩行者を含む。)である場合をい う。
 - 12 「準歩行者」とは、「車椅子」、「小児用の車」、「ローラースケート等」をいう。
 - 13 「対自転車」とは、当該交通事故の第2当事者が「自転車」、「駆動補助付自転車」、「リヤカー等」の軽車両である場合をいう。
 - 14 「車両相互」とは、当該交通事故の第1当事者及び第2当事者がいずれも車両等(列車が相手方である場合を除く。)である場合をいう。
 - 15 「車両単独」とは、当該交通事故の第2当事者が「駐車車両(運転者不在)」、「物件」、「相 手なし」である場合をいう。
 - 16 「車両等」とは、「四輪車」「二輪車」「自転車」「その他」の合計をいう。
 - 17 「車両等」の定義は次のとおりである。
 - ○「四輪車」……道路交通法に定める大型自動車、中型自動車、準中型自動車、普通自動車、大型 特殊自動車、小型特殊自動車。

- ○「二輪車」……「自動二輪車」及び「原動機付自転車」
- ○「自動二輪車」……道路交通法に定める大型自動二輪車と普通自動二輪車。
- ○「原動機付自転車」「軽車両」「自転車」……道路交通法の規定による。
- ○「その他」……「四輪車」「二輪車」「自転車」以外の車両。
- ○「軽自動車」……道路運送車両法の規定による。
- ○「トレーラ」……けん引する構造並びに装置を有する乗用車により牽引されるための構造及び装置を有する車両(車両総重量750kg超)が連結されている状態をいう。
- 18 当事者種別の定義は次のとおりである。
 - ○「大型」……車両総重量11 t以上又は最大積載量6.5 t以上の貨物車。
 - ○「中型」……車両総重量5 t 以上11 t 未満又は最大積載量3 t 以上6. 5 t 未満の貨物車。
 - ○「普通」……車両総重量5 t 未満かつ最大積載量3 t 未満の貨物車。 なお、当事者種別の定義は平成29年3月12日以降、次のとおりである。
 - ○「大型」……車両総重量11 t以上又は最大積載量6.5 t以上の貨物車。
 - ○「中型」……車両総重量7.5 t 以上11 t 未満又は最大積載量4.5 t 以上6.5 t 未満の貨物車。
 - ○「準中型」……車両総重量3.5 t 以上7.5 t 未満又は最大積載量2 t 以上4.5 t 未満の貨物車。
 - ○「普通」……車両総重量3.5 t未満かつ最大積載量2 t未満の貨物車。
- 19 「高速道」とは、高速自動車国道及び指定自動車専用道路をいう。
- 20 「高速自動車国道」(高速国道)とは、高速自動車国道法に定める高速自動車国道をいう。
- 21 「指定自動車専用道路」(指定自専道)とは、道路交通法に定める自動車専用道路をいう。
- 22 「行動類型」とは、当事者の事故時の行動等(動き、位置、衝突物等)によって細分した類型をいう。
- 23 「人的要因」とは、当事者に認められる要因をいう。
- 数字は単位未満で四捨五入しているため、合計の数字と内訳の計が一致しない場合や四捨五入前の 数字を用いて計算した結果と表中の数字が一致しない場合もある。
- データの各数値は、令和3年5月末の確定値である。後日、統計上の理由により変更される場合がある。
- データは、(公益財団法人)交通事故総合分析センターで集計した。

目 次

1.	事業用語	貨物自動車の死傷事故の状況	1
2.	事業用意	貨物自動車の事故類型別死傷事故の状況	2
3.	事業用意	貨物自動車の道路区分別・事故類型(詳細区分)別死傷事故の状況	3
4.	事業用	貨物自動車の運転者年齢別死傷事故の状況	13
5.		貨物自動車の時間帯別死傷事故の状況	
6.		貨物自動車の危険認知速度別死傷事故の状況	
7.	事業用	貨物自動車の時間帯別・危険認知速度別の追突死傷事故の状況	30
		貨物自動車の行動類型別死傷事故の状況	
		貨物自動車の法令違反別死傷事故の状況	
		貨物自動車の飲酒運転による死傷事故の状況	
		貨物自動車の整備不良による死傷事故の状況	
		貨物自動車の車両的要因別死傷事故の状況	
		貨物自動車の運転者の運転免許経過年数別死傷事故の状況	
		貨物自動車の運転者の運転資格別死傷事故の状況	
		貨物自動車の運転者のシートベルト着用有無別死傷事故の状況	
16.	事業用	貨物自動車の高速道路における主な死傷事故の状況	52
17.	事業用語	貨物自動車の死傷者の状況	55
1	付録 1.	都道府県別の死傷事故件数(令和2年)	-63
1	付録2.	事業用自動車の第1当事者種別・都道府県別の死傷事故件数(令和2年)	64
1	付録3.	事業用自動車の第1当事者種別・法令違反別の死傷事故件数(令和2年)	65
1	付録4.	事業用自動車の第1当事者種別・管轄運輸支局(車籍)別の死傷事故件数(令和2年)	66
1	付録5.	事業用自動車の第1当事者種別・管轄運輸支局(車籍)別の死傷者数(令和2年)	67
1	付録6.	交通事故発生状況の推移(平成5-令和2年)	
1	付録7.	事業用自動車の業態別死者数の推移(平成23-令和2年)	69
1	付録8.	事業用自動車の業態別車両1万台当たりの死者数の推移(平成23-令和2年)	
1	付録9.	事業用自動車の業態別死傷事故件数の推移(平成23-令和2年)	70
1	付録10.	事業用自動車の業態別車両1万台当たりの死傷事故件数の推移(平成23-令和2年)	70
1	付録11.	事業用貨物自動車の車両総重量別車両1万台当たりの死亡事故件数(令和2年)	71
1	付録12.	事業用貨物自動車の車両総重量別車両1万台当たりの重傷・軽傷事故件数(令和2年)-	71
1	付録13.	事業用自動車の運転者年齢別死亡事故の状況(平成23-令和2年)	72
1	付録14.	事業用自動車の運転者年齢別死傷事故の状況(平成23-令和2年)	74
1	付録15.	事業用貨物自動車の運転者年齢別・危険認知速度別死傷事故件数の構成率(令和2年)-	76
1	付録16.	事業用貨物自動車の運転者年齢別・事故類型別死傷事故件数の構成率(令和2年)	77
1	付録17.	事業用貨物自動車の車両相互の事故類型詳細区分別の死傷事故件数(令和2年)	78
1	付録18.	事業用貨物自動車の対自転車事故の運転者年齢別・事故類型別死傷事故件数の構成率(令和2	年)
			-79
1	付録19.	事業用貨物自動車の対自転車事故の状況	80
1	付録20.	事業用貨物自動車の対二輪車事故の状況	83
1	付録21.	事業用貨物自動車の対四輪車事故の状況	86

付録22.	事業用貨物自動車の車両単独事故の状況	89
付録23.	事業用貨物自動車の対歩行者事故の状況	92
付録24.	事業用貨物自動車を第1当事者とする管轄運輸支局	(車籍)別の死亡事故件数及び死者数
	(平成29-令和2年)	95
付録25.	事業用貨物自動車1万台当たりの死亡事故件数(車籍別)	(令和元年-令和2年) 96

事業用貨物自動車の交通事故の傾向と事故事例

事業用貨物自動車(軽自動車を除く)が第1当事者となった死傷事故の傾向は次のとおりです。

1. 事業用貨物自動車の死傷事故の状況

死傷事故全体の発生件数は、平成23年の20,568件から令和2年には9,449件と順調に減少しており、10年間で11,119件(54.1%)減少しています。

第1当事者種別では、平成23年から令和2年の10年間で、大型は4,023件、中型は6,364件、普通は2,993件、それぞれ減少しています。尚、平成29年3月12日の「準中型」免許区分新設に伴い、「中型」以下の車両総重量区分が新設されたため、「大型」以外は参考値となります(以下、同様)。

						(件)
第1当事者種別	大型	中型	準中型	普通	合計	保有車両数(台)
H23	7,993 (1,262)	9,035		3,540	20,568	1,357,647
H24	7,586 (1,265)	8,715		3,173	19,474	1,358,400
H25	7,125 (1,208)	8,490		2,876	18,491	1,360,732
H26	6,985 (1,155)	8,130		2,686	17,801	1,372,140
H27	6,260 (971)	7,294		2,602	16,156	1,381,282
H28	5,709 (991)	6,572		2,319	14,600	1,397,191
H29	5,663 (955)	4,862	2,452	1,240	14,217	1,419,605
H30	5,406 (923)	4,031	3,171	820	13,428	1,440,180
R01	4,753 (870)	3,413	2,764	699	11,629	1,462,004
R02	3,970 (685)	2,671	2,261	547	9,449	1,482,364

表 1 当事者種別の死傷事故件数の推移(平成23-令和2年)

※ 大型の()内の値は、トレーラで大型の内数を示す。

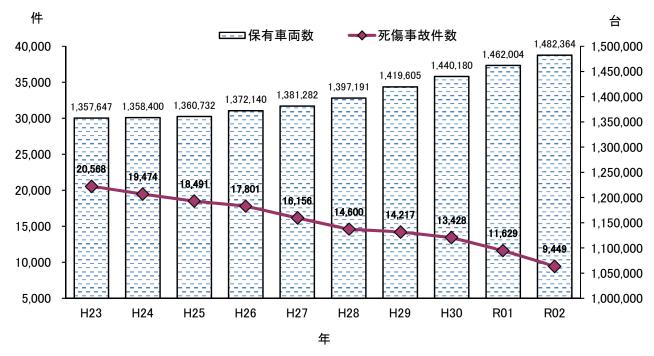


図1 保有車両数と死傷事故件数の推移(平成23-令和2年)

※ 保有車両数(台)は、一般財団法人自動車検査登録情報協会の「市区町村別 自動車保有車両数(令和2年度3月末現在)」をもとに全日本トラック協会が集計した値。

2. 事業用貨物自動車の事故類型別死傷事故の状況

事故類型別の死傷事故件数は、平成23年から令和2年の10年間で、車両相互10,354件、対歩行者621件、車両単独141件と、それぞれ減少しています。

発生件数の多い事故類型は圧倒的に車両相互であり、平成23年以降、90%以上を占める状況が続いています。

表 2 事故類型別死傷事故件数の推移(平成23-令和2年)

						\IT/
事故類型年	車両相互	対歩行者	車両単独	列車	合計	車両相互事故構成率(%)
H23	19,036	1,264	265	3	20,568	92.6
H24	17,966	1,282	226	0	19,474	92.3
H25	17,106	1,138	244	3	18,491	92.5
H26	16,460	1,129	211	1	17,801	92.5
H27	14,903	1,069	183	1	16,156	92.2
H28	13,517	912	170	1	14,600	92.6
H29	13,114	935	167	1	14,217	92.2
H30	12,367	894	166	1	13,428	92.1
R01	10,660	817	151	1	11,629	91.7
R02	8,682	643	124	0	9,449	91.9

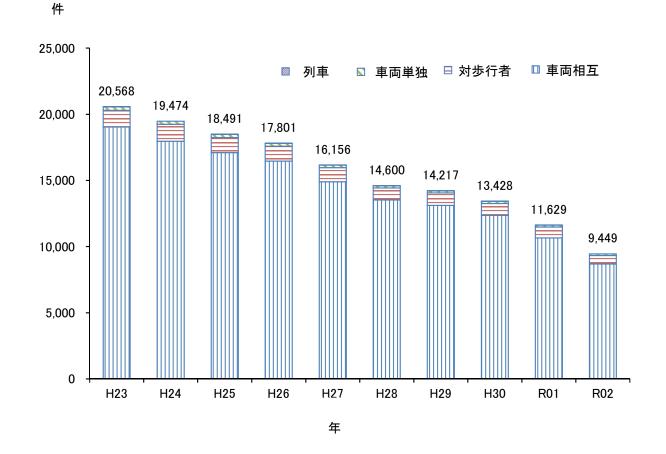


図2 事故類型別死傷事故件数の推移(平成23-令和2年)

3. 事業用貨物自動車の道路区分別・事故類型(詳細区分)別死傷事故の状況

令和2年の道路区分別・事故類型(詳細区分)別の死傷事故件数は、死亡事故では、対歩行者75件(うち高速道路7件、一般道路68件)、車両相互114件(うち高速道路20件、一般道路94件)、車両単独18件(うち高速道路7件、一般道路11件)となっています。

一方、重傷事故では、対歩行者 149 件(うち高速道路 2 件、一般道路 147 件)、車両相互 603 件(うち高速道路 58 件、一般道路 545 件)、車両単独 32 件(うち高速道路 9 件、一般道路 23 件)となっています。

また、軽傷事故では、対歩行者 419 件 (うち高速道路 2 件、一般道路 417 件)、車両相互 7,965 件 (うち高速道路 723 件、一般道路 7,242 件)、車両単独 74 件 (うち高速道路 17 件、一般道路 57 件) となっています。

表 3-1 道路区分別・事故類型 (詳細区分) 別の死傷事故件数 (令和2年)

	事故	類型		死亡			重傷			軽傷			(件: 合計		
	**************************************		高速道	一般道	dž	高速道	一般道	計	高速道	一般道	dž	高速道	一般道	計	
争故	類型詳細区分 対面通行中		0	3	3	0	3	3	0	18	18	0	24	24	
	背面通行中		0	8	8	0	8	8	0	38	38	0	54	54	
		横断歩道	0	20	20	0	68	68	0	197	197	0	285	285	
対		横断歩道付近	0	6	6	0	4	4	0	6	6	0	16	16	
歩	横断中	横断歩道橋付近	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	2	2	
行		その他	0	13	13	0	23	23	0	31	31	0	67	67	
者	路上遊戲中	COIL	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	2	2	
_	路上作業中		1	2	3	0	7	7	0	12	12	1	21	22	
	路上停止中		2	5	7	0	4	4	1	8	9	3	17	20	
	路上横臥中		1	7	8	0	4	4	0	2	2	1	13	14	
	その他		3	4	7	2	24	26	1	103	104	6	131	137	
	小計		7	68	75	2	147	149	2	417	419	11	632	643	
	正面	追越·追抜	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	2	2	
	衝突	その他	1	5	6	1	30	31	0	66	66	2	101	103	
	1.6. mbp	進行中	2	14	16	13	46	59	165	368	533	180	428	608	
	追突	駐·停車中	16	8	24	24	79	103	305	3,407	3,712	345	3,494	3,839	
	出会い頭衝突	•	0	19	19	0	134	134	2	765	767	2	918	920	
車	追越·追抜時種	i突	0	5	5	2	44	46	47	423	470	49	472	521	
両	進路変更時衝	突	0	6	6	13	21	34	150	385	535	163	412	575	
相	すれ違い時衝	突	0	0	0	0	8	8	3	106	109	3	114	117	
互	左折時衝突		0	21	21	0	76	76	1	521	522	1	618	619	
	右折時衝突		0	10	10	0	63	63	1	428	429	1	501	502	
	横断時衝突		0	0	0	0	3	3	1	10	11	1	13	14	
	転回時衝突		0	1	1	0	6	6	1	33	34	1	40	41	
	後退時衝突		0	1	1	0	7	7	14	404	418	14	412	426	
	その他		1	3	4	5	27	32	33	326	359	39	356	395	
	小計	,	20	94	114	58	545	603	723	7,242	7,965	801	7,881	8,682	
		電柱	0	0	0	0	1	1	0	2	2	0	3	3	
		標識	0	0	0	1	0	1	0	1	1	1	1	2	
		分離帯·安全島	1	0	1	3	2	5	3	2	5	7	4	11	
	工作物衝突	防護柵等	2	2	4	1	1	2	2	9	11	5	12	17	
車		家屋・塀	0	1	1	0	0	0	0	3	3	0	4	4	
両		橋梁· 橋脚	0	2	2	0	0	0	0	2	2	0	4	4	
東	E) +++ //=+	その他	0	0	0	0	7	7	1	10	11	1	17	18	
独		元者不在中) 衝突 T+-++	2	3	5	4	6	10	4	17	21	10	26	36	
	路外逸脱	転落	1	0	1	0	0	0	0	1	1	1	1	2	
	\$= (Z)	その他	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	2	2	
	転倒るの他		0	0	0	0	1	1	0	2	2	0	3	3	
	その他		1	3	4	0	4	4	7	7	14	8	14	22	
제호	小計		7	11	18	9	23	32	17	57	74	33	91	124	
列車	<u> </u>	0		0					7.716	0.450	0	0 0 0 0			
合計			34	173	207	69	715	784	742	7,716	8,458	845	8,604	9,449	

令和 2 年の死傷事故のうち、事故類型詳細区分別で発生件数が多い順に、追突-駐・停車中3,839 件(40.6%)、出会い頭衝突920 件(9.7%)、左折時衝突619 件(6.6%)、追突-進行中608 件(6.4%)、進路変更時衝突575 件(6.1%)、車両相互(その他)567 件(6.0%)、追越・追抜時衝突521 件(5.5%)、右折時衝突502 件(5.3%)、後退時衝突426 件(4.5%)横断中370(3.9%)となっており、このうち追突の合計は、駐・停車中と進行中を合わせて4,447 件(47.1%)と、死傷事故全体(9,449 件)の半分近くを占めています。

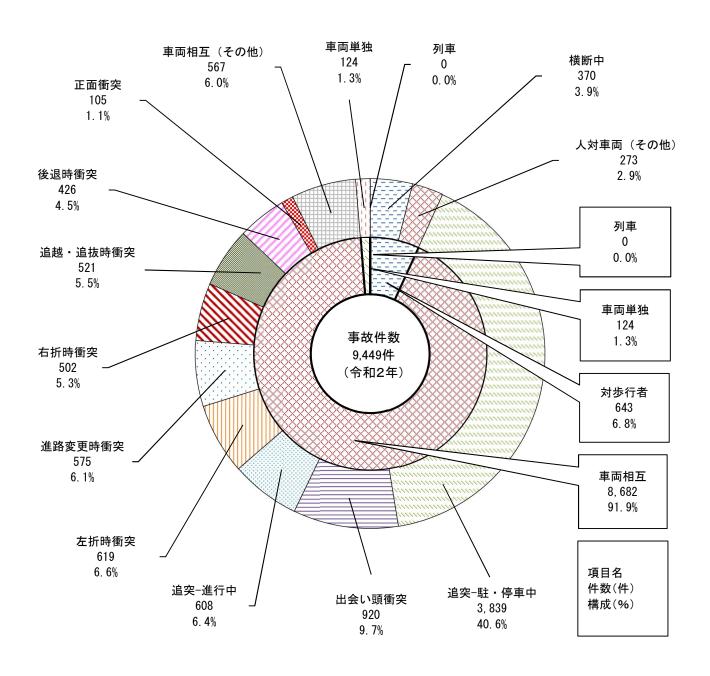


図 3-1 事故類型別死傷事故件数の構成率(令和2年)

令和2年の死傷事故のうち、高速道路における事故類型詳細区分別の発生件数が多い順に、追 突-駐停車中345件(40.8%)、追突-進行中180件(21.3%)、進路変更時衝突163件(19.3%)、 車両相互(その他)・追越・追抜時衝突共に49件(5.8%)、後退時衝突14件(1.7%)、車両 単独(その他)・人体車両(その他)共に11件(1.3%)、駐車車両10件(1.2%)で、このうち追突 の合計は、駐・停車中と進行中を合わせて525件(62.1%)と、高速道路における死傷事故全体 (845件)の半分以上を占めています。

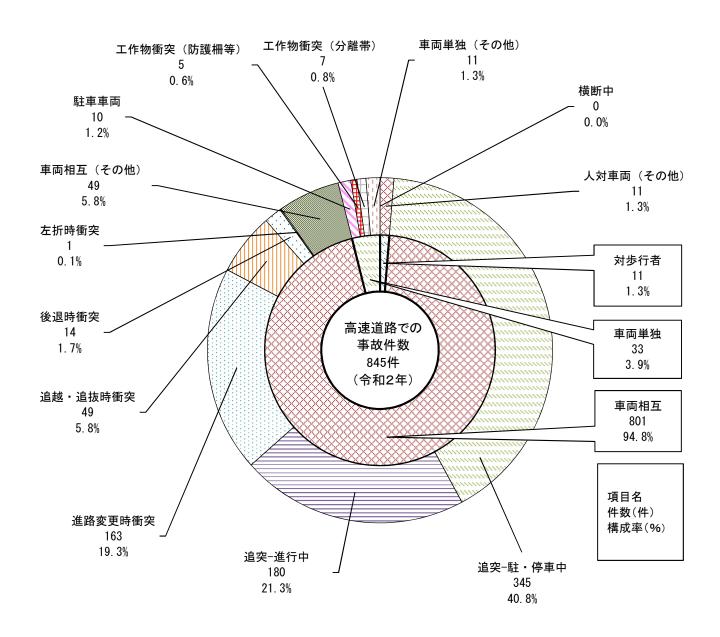


図 3-2 高速道路における事故類型別死傷事故件数の構成率(令和2年)

参考

(1) 事業用貨物自動車の主な事故類型の死傷事故件数の推移(平成23-令和2年)

・追突による死傷事故件数は、平成23年の11,853件から令和2年には4,447件となり、10年間で7,406件(62.5%)減少しています。

表 3-2 主な事故類型の死傷事故件数の推移(平成 23-令和 2年)

(件)

											\IT/
事故	年 枚類型	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02
	追突	11,853	11,357	9,719	9,292	8,541	7,637	7,290	6,914	5,639	4,447
	対歩行者	1,770	1,746	1,138	1,129	1,069	912	935	894	817	643
	出会い頭衝突	3,373	3,069	1,843	1,708	1,483	1,392	1,285	1,191	1,053	920
	左折時衝突	1,523	1,409	1,112	1,038	930	879	851	824	746	619
	右折時衝突	1,425	1,283	890	914	837	754	790	646	673	502
出	会い頭衝突等	6,321	5,761	3,845	3,660	3,250	3,025	2,926	2,661	2,472	2,041
	その他	4,921	4,675	3,789	3,720	3,296	3,026	3,066	2,959	2,701	2,318
	事故件数	24,865	23,539	18,491	17,801	16,156	14,600	14,217	13,428	11,629	9,449

[※] 平成24年以前は軽自動車が含まれる。

・死傷事故の構成率は、追突がやや減少傾向にある一方で、対歩行者および出会い頭衝突は大きな変動は見られません。

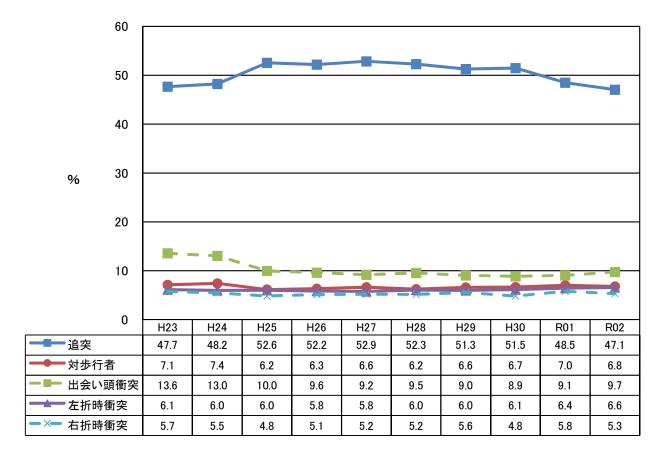


図 3-3 主な事故類型の死傷事故件数構成率の推移(平成 23-令和 2年)

・追突と出会い頭衝突等の構成率を比べると、追突は、平成23・24年は60%台、平成25年以降は70%以上で推移していましたが、令和元・2年は続けて70%を下回りました。

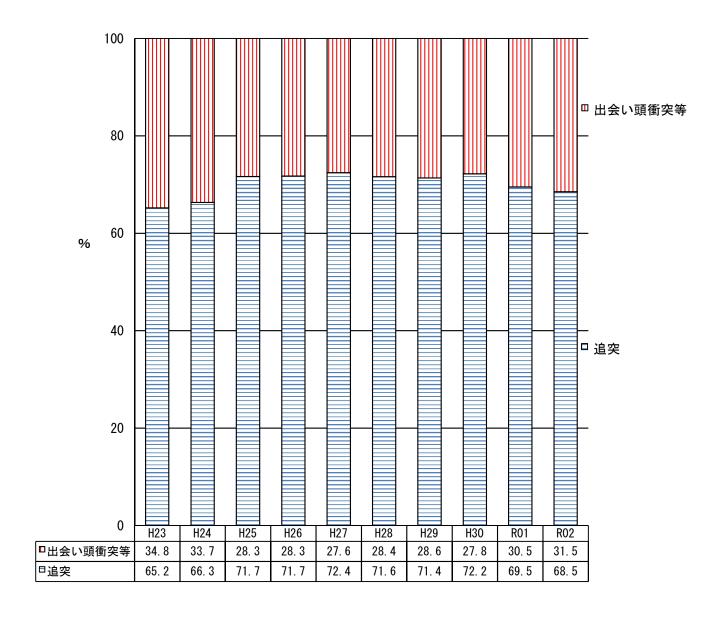


図 3-4 「追突」と「出会い頭衝突等」による死傷事故件数構成率の推移(平成 23-令和 2年)

(2) 事業用貨物自動車の主な事故類型の死亡事故件数の推移(平成23-令和2年)

・追突による死亡事故件数は、6ページの死傷事故件数の傾向に比べて、バラつきが大きくなっています。

表 3-3 主な事故類型別の死亡事故件数の推移(平成 23-令和 2 年)

(件)

											\ IT /
事故類型	年	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02
	追突	85	78	77	58	50	44	40	48	37	40
	正面衝突	21	18	9	11	12	16	14	13	10	7
	出会い頭衝突	40	29	30	29	29	22	22	22	18	19
	左折時衝突	24	24	23	32	27	22	23	32	24	21
	右折時衝突	14	19	19	17	11	17	16	13	7	10
出会	い頭衝突等	78	72	72	78	67	61	61	67	49	50
	その他	183	220	191	183	179	137	156	125	143	110
-	事故件数	367	388	349	330	308	258	271	253	239	207

[※] 平成24年以前は軽自動車が含まれる。

・追突の構成率は、平成 23 年の 23.2%を最大値、平成 29 年の 14.8%を最小値とし、年によるバラつきが大きくなっています。

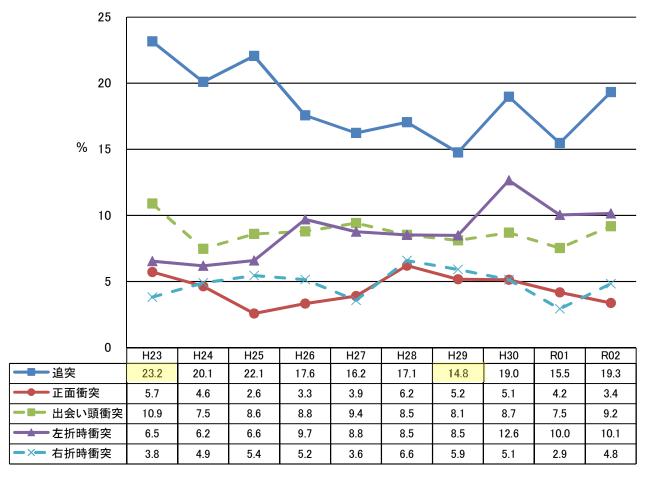


図 3-5 主な事故類型の死亡事故件数構成率の推移(平成 23-令和 2年)

・追突と出会い頭衝突等の構成率を比べると、追突は、平成23年から平成25年までは50%台を占めていますが、平成26年以降は、おおむね40%前後で推移しています。

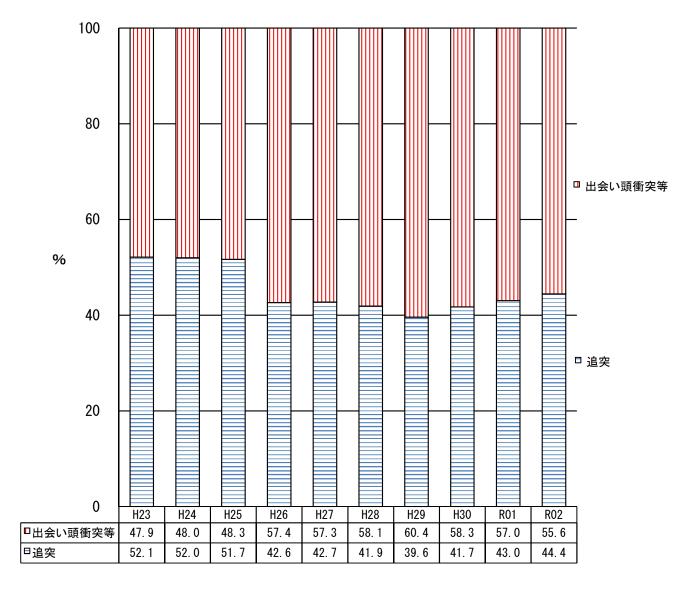


図 3-6 「追突」と「出会い頭衝突等」による死亡事故件数構成率の推移(平成 23-令和 2年)

(3) 事業用貨物自動車の交差点内における死傷者数の推移(平成23-令和2年)

- ・交差点内における死傷者数は、平成23年の6,569人から令和2年には2,922人と順調に減少しており、10年間で3,647人(55.5%)減少しています。
- ・そのうち死者は、平成23年の120人から令和2年の72人と、10年間で48人(40.0%)減少しています。また、平成28年に初めて100人を下回りました。
- ・一方、重傷者は、平成 23 年の 605 人から令和 2 年の 352 人と、10 年間で 253 人 (41.8%) 減少しています。
- ・また、軽傷者は、平成 23 年の 5,844 人から令和 2 年の 2,498 人と順調に減少しており、10 年間で 3,346 人 (57.3%) 減少しています。

表 3-4 交差点内における死傷者数の推移(平成 23-令和 2 年)

1	ı	١
(Л)

										()()
年 死傷者数	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02
死者	120	124	118	129	111	88	100	84	89	72
重傷者	605	534	468	529	472	452	477	469	417	352
軽傷者	5,844	5,294	4,869	4,661	4,124	3,781	3,602	3,225	2,931	2,498
合計	6,569	5,952	5,455	5,319	4,707	4,321	4,179	3,778	3,437	2,922

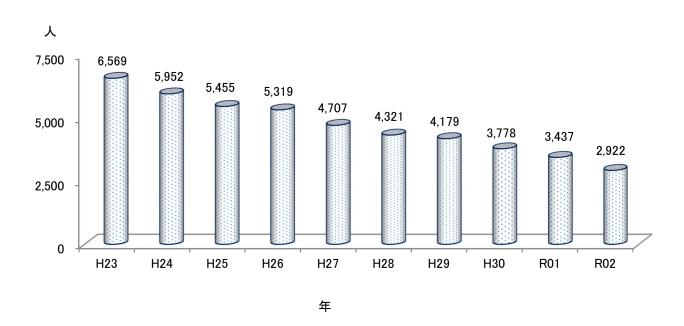


図 3-7 交差点内における死傷者数の推移(平成 23-令和 2年)

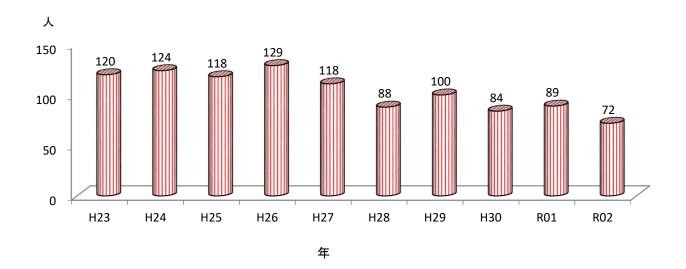


図 3-8 交差点内における死者数の推移(平成 23-令和 2年)

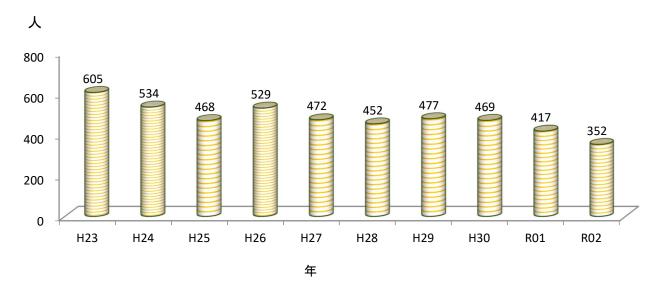


図3-9 交差点内における重傷者数の推移(平成23-令和2年)

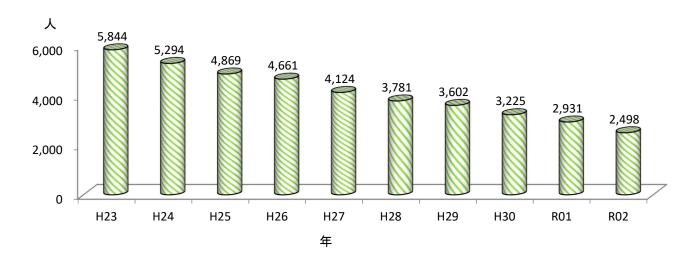


図 3-10 交差点内における軽傷者数の推移(平成 23-令和 2年)

(4) 事業用貨物自動車の衝突地点別死者割合の推移(平成23-令和2年)

- ・衝突地点別の死者割合 (死傷者数に占める死者数の割合) は、平成23年から令和2年までの10年間、全衝突地点では1.3%から1.7%の範囲で推移しています。
- ・また、同じ期間、単路での死者割合は 1.1%から 1.6%の範囲で推移している一方、交差点内では 1.8%から 2.5%の前後の範囲で推移しています。
- ・全体衝突地点及び単路と比較すると、交差点内は死者割合が高くなっています。

表 3-5 衝突地点別死者割合の推移(平成 23-令和 2年)

年		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02
	死傷者数(人)	27,650	26,128	24,963	24,002	21,678	19,435	18,891	17,768	15,283	12,083
全衝突地点	死者数(人)	368	389	364	340	312	270	280	260	245	211
	死者割合(%)	1.3	1.4	1.4	1.4	1.4	1.3	1.4	1.4	1.6	1.7
	死傷者数(人)	6,569	5,952	5,455	5,319	4,707	4,321	4,179	3,778	3,437	2,922
交差点内	死者数(人)	120	124	118	129	111	88	100	84	89	72
	死者割合(%)	1.8	2.0	2.1	2.4	2.3	2.0	2.3	2.2	2.5	2.4
	死傷者数(人)	20,072	19,034	18,308	17,468	15,893	14,148	13,824	13,071	11,022	8,497
単路	死者数(人)	237	252	234	202	196	170	169	173	147	136
	死者割合(%)	1.1	1.3	1.2	1.1	1.2	1.2	1.2	1.3	1.3	1.6

※ 死者割合=死者数/死傷者数×100 (小数点第2位切り捨て)

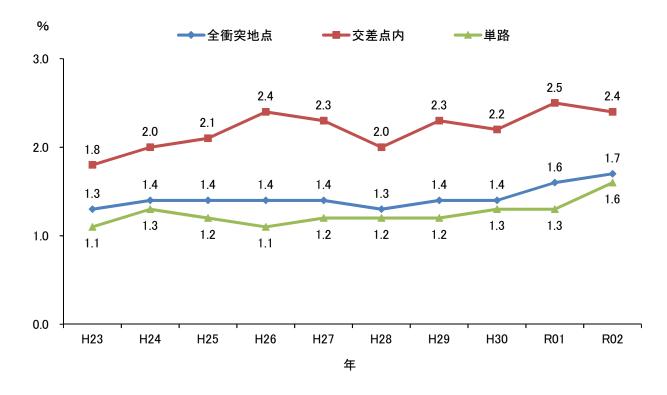


図 3-11 衝突地点別死者割合の推移(平成 23-令和 2年)

4. 事業用貨物自動車の運転者年齢別死傷事故の状況

(1) 事業用貨物自動車の運転者年齢別・事故類型別の死傷事故件数

令和 2 年の運転者年齢別・事故類型別の死傷事故件数は、45-49 歳 1,572 件(16.6%)、50-54 歳 1,524 件(16.1%)、55-59 歳 1,206 件(12.8%)、40-44 歳 981 件(10.4%)となっています。

また、45 歳から 54 歳を合計すると 3,096 件(32.8%) となり、さらに 40 歳から 59 歳を合計すると 5,283 件(55.9%) となっています。

(44)

表 4-1 運転者年齢別・事故類型別の死傷事故件数(令和2年)

													(1 11)
事故	運転者年齢 類型	24歳 以下	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65歳 以上	不明	合計
	追突	299	264	292	389	460	730	684	530	427	372	0	4,447
車	出会い頭衝突	34	56	58	75	110	147	140	131	80	89	0	920
両	正面衝突	8	12	7	8	8	21	13	8	8	12	0	105
相	左折時衝突	12	25	27	40	73	132	111	68	68	63	0	619
互	右折時衝突	25	35	34	33	58	82	79	62	45	49	0	502
	その他	74	93	108	182	203	334	359	296	234	206	0	2,089
	対歩行者	22	30	28	42	59	105	121	95	75	66	0	643
	車両単独	5	8	3	8	10	21	17	16	19	17	0	124
	列車	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	479	523	557	777	981	1,572	1,524	1,206	956	874	0	9,449

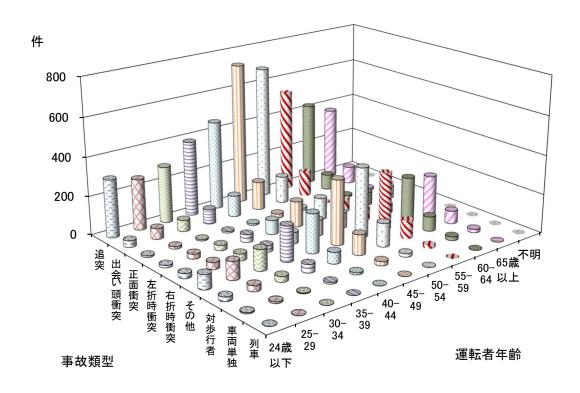


図 4-1 運転者年齢別・事故類型別の死傷事故件数(令和2年)

(2) 事業用貨物自動車の運転者年齢別・事故類型別死傷事故件数の構成率

合計

100.0

100.0

100.0

100.0

令和2年の運転者年齢別・事故類型別の死傷事故件数の構成率は、車両相互のうち追突では、24歳以下62.4%、30-34歳52.4%、25-29歳50.5%となり、35歳未満での割合が高くなっています。

一方、車両相互のうち出会い頭衝突は、40-44 歳 11.2%、55-59 歳 10.9%、25-29 歳 10.7% となり、同じく左折時衝突は、45-49 歳 8.4%、40-44 歳 7.4%、50-54 歳 7.3%となり、さらに同じく右折時衝突は、25-29 歳が 6.7%、30-34 歳 6.1%となっています。

また、対歩行者は、50-54歳7.9%、60-64歳7.8%、65歳以上7.6%となっています。

(%) 運転者年齢 24歳 65歳 40-44 25-29 30-34 35-39 45-49 50-54 55-59 60-64 不明 合計 事故類型 以上 以下 52.4 62.4 50.5 50.1 46.4 44.9 43.9 44.7 47.1 46.9 42.6 0.0 出会い頭衝突 10.7 10.4 11.2 10.9 8.4 7.1 9.7 9.4 9.2 10.2 0.0 9.7 車 正面衝突 両 1.7 2.3 1.3 1.0 8.0 1.3 0.9 0.7 8.0 1.4 0.0 1.1 相 左折時衝突 2.5 5.1 7.4 7.3 <u>7</u>.1 7.2 4.8 4.8 5.6 0.0 6.6 互 右折時衝突 5.2 6.7 5.2 4.7 5.3 6.1 4.2 5.9 5.2 5.1 5.6 0.0 その他 15.4 17.8 19.4 23.4 20.7 23.6 24.5 24.5 23.6 0.0 22.1 21.2 対歩行者 5.7 4.6 5.0 5.4 6.0 6.7 7.9 7.9 7.8 7.6 0.0 6.8 車両単独 1.0 1.5 0.5 1.0 2.0 0.0 1.3 1.0 1.3 1.1 1.3 1.9 列車 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0

100.0

100.0

100.0

100.0

100.0

100.0

100.0

0.0

表 4-2 運転者年齢別・事故類型別死傷事故件数の構成率(令和2年)

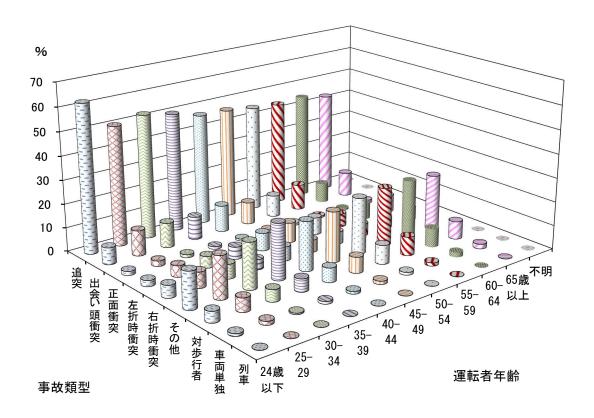


図 4-2 運転者年齢別・事故類型別死傷事故件数の構成率(令和2年)

(3) 事業用貨物自動車の運転者年齢層別・第1当事者種別の死傷事故件数

令和2年の運転者年齢別・第1当事者種別の死傷事故件数は、大型では、45-49歳752件、50-54歳720件となっており、中型では、45-49歳455件、50-54歳446件、準中型では、45-49歳298件、50-54歳290件となり、普通では、65歳以上69件、50-54歳68件、45-49歳67件となっています。

												(件)
運転者年齢 第1当事者種別	24歳 以下	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65歳 以上	不明	合計
大 型	84	178	197	293	437	752	720	571	425	313	0	3,970
中型	103	139	148	226	269	455	446	333	274	278	0	2,671
準中型	235	160	171	199	229	298	290	246	219	214	0	2,261
普通	57	46	41	59	46	67	68	56	38	69	0	547

表 4-3 運転者年齢別・第1当事者種別の死傷事故件数(令和2年)

構成率でみると、大型は、45-49歳で47.8%、55-59歳で47.3%、50-54歳で47.2%と、45歳から59歳での割合が高く、中型は、65歳以上で31.8%、50-54歳で29.3%となっています。

1,572

1,524

1,206

9,449

一方、準中型は、24歳以下で49.1%、30-34歳で30.7%、普通は、24歳以下で11.9%と若年層の割合が高くなっています。

このように、第1当事者の種別によって、運転者の年齢層が異なっています。

777

合計

479

523

557

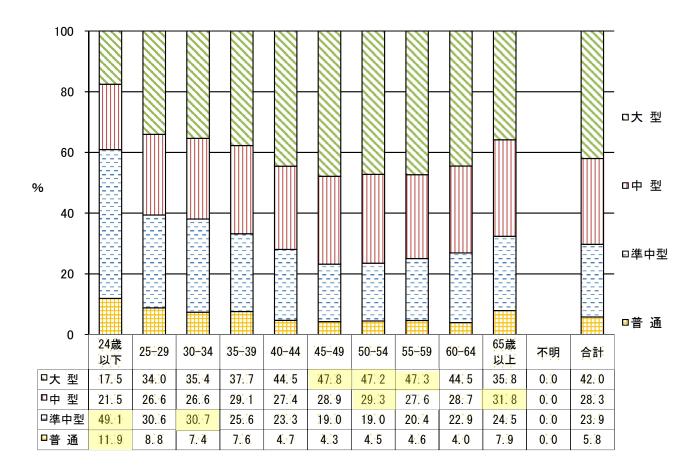


図 4-3 運転者年齢別・第1当事者種別死傷事故件数の構成率(令和2年)

参考

(1) 事業用貨物自動車の運転者年齢別死傷事故件数の推移(平成23-令和2年)

・運転者の年齢別の死傷事故件数は、平成23年から平成27年までの5年間は40-44歳が、平成28年から令和2年の5年間は45-49歳がそれぞれ最も高くなっています。

表 4-4 運転者年齢別死傷事故件数の推移(平成 23-令和 2年)

										\ /
年運転者年齢	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02
24歳以下	1,101	930	667	704	715	655	672	707	583	479
25-29歳	1,927	1,670	1,338	1,217	1,024	888	801	770	664	523
30-34歳	2,439	2,193	1,695	1,634	1,394	1,210	1,110	932	811	557
35-39歳	3,524	3,173	2,495	2,132	1,787	1,507	1,377	1,116	979	777
40-44歳	3,760	3,786	3,201	3,018	2,637	2,286	2,058	1,712	1,303	981
45-49歳	3,027	3,134	2,761	2,830	2,607	2,464	2,443	2,291	1,978	1,572
50-54歳	2,713	2,595	2,153	2,086	2,050	1,803	1,982	2,011	1,804	1,524
55-59歳	2,674	2,448	1,818	1,864	1,678	1,542	1,553	1,550	1,462	1,206
60-64歳	2,428	2,269	1,533	1,457	1,349	1,238	1,190	1,242	1,016	956
65歳以上	1,272	1,341	830	859	915	1,007	1,031	1,097	1,029	874
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	24,865	23,539	18,491	17,801	16,156	14,600	14,217	13,428	11,629	9,449

[※] 平成24年以前は軽自動車が含まれる。

- ・構成率でみると、50-54 歳は平成23年の10.9%から令和2年の16.1%と、10年間で5.2 ポイント増加しています。
- ・一方、40 歳未満の年齢層は、平成23年の36.1%から令和2年の24.7%と、10年間で11.4ポイント減少しています。

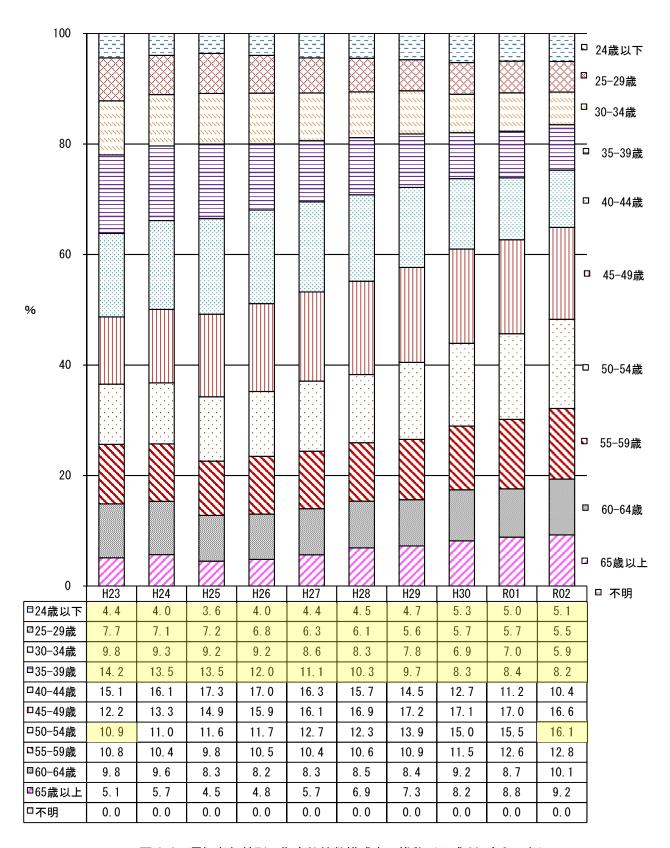


図 4-4 運転者年齢別死傷事故件数構成率の推移(平成 23-令和 2年)

(2) 事業用貨物自動車の運転者年齢別死亡事故件数の推移(平成 23-令和 2年)

・運転者の年齢別の死亡事故件数は、平成23年は35-39歳が最も多く、平成24年から平成28年までの5年間は40-44歳及び45-49歳が多くなっており、平成30年は50-54歳、令和元年は55-59歳、令和2年は45-49歳が多くなっています。また、65歳以上は、平成23年から令和2年まで13件から21件の間で増減を繰り返しています。

表 4-5 運転者年齢別死亡事故件数の推移(平成 23-令和 2 年)

										,,,,
年 運転者年齢	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02
24歳以下	7	12	10	9	8	9	3	5	8	8
25-29歳	27	21	24	16	18	9	11	6	12	9
30-34歳	33	44	29	36	27	19	21	11	16	11
35-39歳	65	49	45	29	36	20	26	22	13	12
40-44歳	57	76	60	65	51	48	35	37	29	22
45-49歳	43	52	63	53	51	43	56	42	41	44
50-54歳	50	40	40	48	40	39	50	53	38	22
55-59歳	40	37	23	28	31	31	34	31	44	30
60-64歳	29	39	36	29	32	20	18	33	18	28
65歳以上	16	18	19	17	14	20	17	13	20	21
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	367	388	349	330	308	258	271	253	239	207

[※] 平成24年以前は軽自動車が含まれる。

・構成率でみると、40 歳未満の年齢層は、平成23年の36.0%から令和2年の19.3%と、10年間で16.7ポイント減少し、逆に40歳以上はその分増加しています。

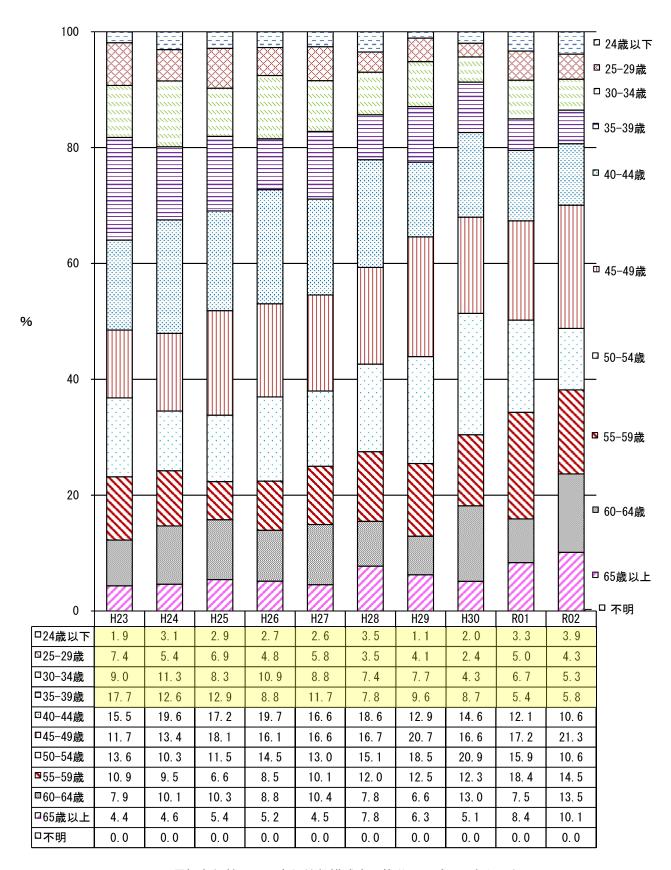


図 4-5 運転者年齢別死亡事故件数構成率の推移(平成 23-令和 2 年)

5. 事業用貨物自動車の時間帯別死傷事故の状況

(1) 事業用貨物自動車の時間帯別死傷事故件数の構成率(令和2年)

令和2年の時間帯別の死傷事故件数及び構成率は、10-11時台1,608件(17.0%)、8-9時台1,605件(17.0%)、12-13時台1,234件(13.1%)となっています。

一方、死亡事故の件数及び構成率は、4-5 時台 31 件 (15.0%)、10-11 時台 23 件 (11.1%)、2-3 時台 21 件 (10.1%) となっています。

また、死亡事故率(死傷事故件数に占める死亡事故件数の割合)は、0-1 時台で 8.8%、2-3 時台で 8.4%、4-5 時台で 6.8%、22-23 台で 4.4%であり、死傷事故全体の死亡事故率 (2.2%)と比較して、深夜・早朝の割合が高くなっています。

事故種別	死傷	事故	死亡	事故	死亡事故率(%)
時間(2時間毎)	件数(B)(件)	構成率(%)	件数(A)(件)	構成率(%)	(A∕B)
0-1	227	2.4	20	9.7	8.8
2-3	250	2.6	21	10.1	8.4
4-5	457	4.8	31	15.0	6.8
6-7	1,059	11.2	17	8.2	1.6
8-9	1,605	17.0	19	9.2	1.2
10-11	1,608	17.0	23	11.1	1.4
12-13	1,234	13.1	17	8.2	1.4
14-15	1,141	12.1	12	5.8	1.1
16-17	801	8.5	14	6.8	1.7
18-19	487	5.2	11	5.3	2.3
20-21	308	3.3	10	4.8	3.2
22-23	272	2.9	12	5.8	4.4
合計	9,449	100.0	207	100.0	2.2

表 5-1 時間帯別死傷事故件数の構成率(令和2年)

[※] 死亡事故率=死亡事故件数/死傷事故件数×100 (小数点第2位切り捨て)

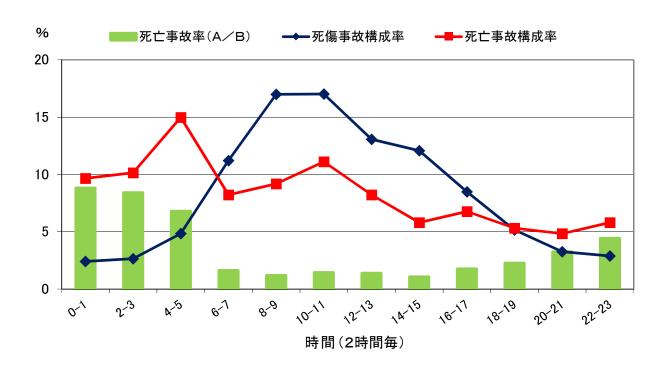


図 5-1 時間帯別死亡事故件数の構成率(令和2年)

(2) 事業用貨物自動車の時間帯別・第1当事者種別の死傷事故件数(令和2年)

令和2年の時間帯別・第1当事者種別の死傷事故件数は、大型では、10-11時台680件、8-9時台622件、12-13時台491件、14-15時台474件となっています。

同様に中型では、8-9 時台 473 件、10-11 時台 426 件、12-13 時台 346 件となっています。また、準中型では、8-9 時台 410 件、10-11 時台 407 件、12-13 時台 318 件となっており、普通では、8-9 時台 100 件、10-11 時台 95 件、14-15 時台 82 件となっており、特に 8-13 時台の昼間の割合が多くなっています。

表 5-2 時間帯別・第1当事者別の死傷事故件数(令和2年)

時間(2時間毎) 第1当事者種別	0-1	2-3	4-5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23	合 計
大型	111	107	183	433	622	680	491	474	341	222	162	144	3,970
中型	63	86	154	329	473	426	346	303	204	118	87	82	2,671
準中型	44	46	105	252	410	407	318	282	202	112	47	36	2,261
普通	9	11	15	45	100	95	79	82	54	35	12	10	547
合計	227	250	457	1,059	1,605	1,608	1,234	1,141	801	487	308	272	9,449

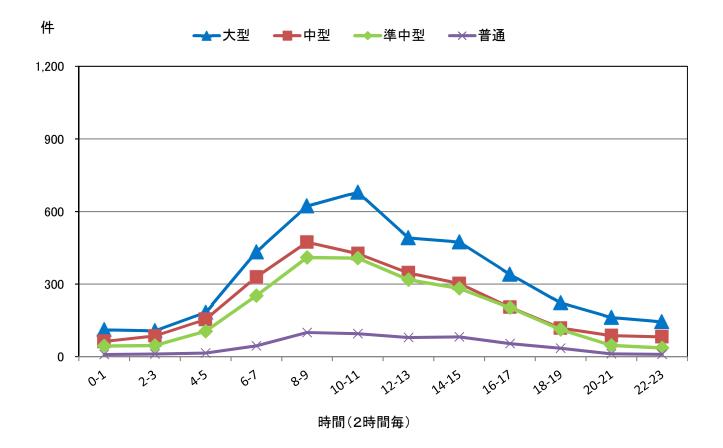


図 5-2 時間帯別・第1当事者種別の死傷事故件数(令和2年)

(3) 事業用貨物自動車の時間帯別・第1当事者種別の死亡事故件数(令和2年)

令和2年の時間帯別・第1当事者種別の死亡事故件数は、大型では、4-5時台16件、8-9時台、10-11時台、12-13時台共に13件となっています。

同様に中型では、4-5 時台 10 件、2-3 時台 9 件となっています。また、準中型では、10-11 時台 7 件、4-5 時台 5 件となっています。普通では、6-7 時台 2 件となっています。

全体に、21ページの死傷事故の傾向に比べてバラつきが大きく、特徴的な傾向が見られません。

表 5-3 時間帯別・第1当事者種別の死亡事故件数(令和2年)

													,,,,,
時間(2時間毎) 第1当事者種別	0-1	2-3	4-5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23	合 計
大型	10	9	16	8	13	13	13	6	8	8	7	10	121
中型	7	9	10	4	3	3	2	3	4	2	1	2	50
準中型	2	2	5	3	3	7	2	2	2	1	2	0	31
普通	1	1	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	5
合計	20	21	31	17	19	23	17	12	14	11	10	12	207

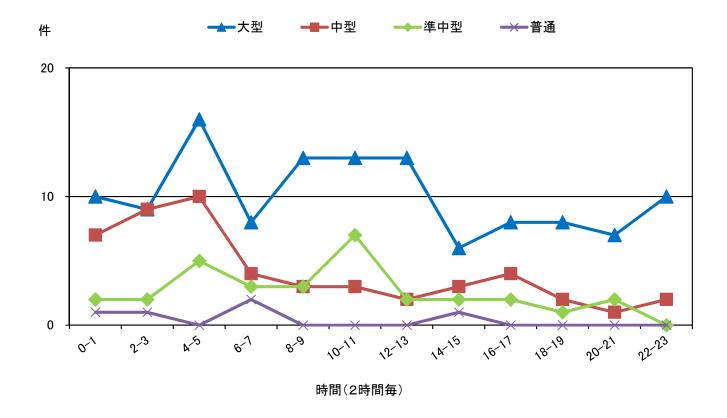


図 5-3 時間帯別・第1当事者種別の死亡事故件数(令和2年)

参考

(1) 事業用貨物自動車の時間帯別死傷事故件数の推移(平成23-令和2年)

- ・時間帯別の死傷事故件数は、平成23年から令和2年までの10年間、いずれも10-11時台が 最も多くなっています。
- •10-11 時台は、平成 23 年の 4,060 件から令和 2 年は 1,608 件となり、10 年間で半分以上減少しています。

表 5-4 時間帯別死傷事故件数の推移(平成 23-令和 2 年)

										(1+)
年時間(2時間毎)	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02
0-1	713	652	560	554	488	436	419	379	297	227
2-3	753	720	657	595	561	416	452	414	298	250
4-5	1,179	1,140	942	893	818	739	732	670	608	457
6-7	2,414	2,392	2,036	1,952	1,770	1,643	1,511	1,530	1,279	1,059
8-9	3,732	3,531	2,848	2,797	2,601	2,395	2,310	2,211	1,988	1,605
10-11	4,060	3,779	3,000	2,882	2,639	2,438	2,388	2,242	1,997	1,608
12-13	3,239	3,036	2,443	2,303	2,049	1,858	1,871	1,763	1,475	1,234
14-15	3,086	2,931	2,265	2,092	1,891	1,730	1,752	1,585	1,389	1,141
16-17	2,398	2,343	1,577	1,647	1,429	1,257	1,225	1,195	1,052	801
18-19	1,530	1,459	959	955	923	745	709	655	578	487
20-21	939	880	628	581	536	469	465	421	353	308
22-23	822	676	576	550	451	474	383	363	315	272
合計	24,865	23,539	18,491	17,801	16,156	14,600	14,217	13,428	11,629	9,449

[※] 平成24年以前は軽自動車が含まれる。

- ・構成率でみると、平成23年から令和2年の10年間、8-9時台及び10-11時台が増加傾向にあります。
- ・ 平成 23 年から令和 2 年の 10 年間では、16-17 時台は、平成 24 年の 10.0%をピークに減少し、平成 30 年、令和元年に約 9%と微増していますが、全体的に減少傾向にあります。
- ・一方で、0-1 時台、2-3 時台及び 22-23 時台が、2 から 3%台で微増減するものの、大きな変動は見られません。

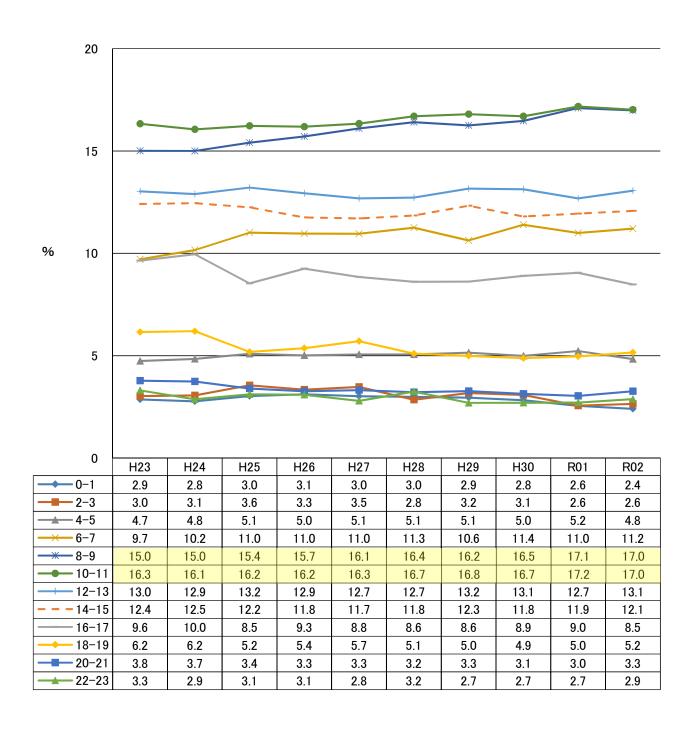


図 5-4 時間帯別死傷事故件数構成率の推移(平成 23-令和 2 年)

(2) 事業用貨物自動車の時間帯別死亡事故件数の推移(平成23-令和2年)

- ・時間帯別の死亡事故件数は、平成23年から平成29年の7年間は、4-5時台が最も多くなっていましたが、平成30年に10-11時台が最も多くなり、令和元・2年には再び4-5時台が最も多くなりました。
- ・4-5 時台は、平成 23 年の 54 件から令和 2 年には 31 件となり、10 年間で 23 件(42.6%) と、大幅に減少しています。

表 5-5 時間帯別死亡事故件数の推移(平成 23-令和 2 年)

年時間(2時間毎)	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02
0-1	43	34	42	31	33	24	17	26	24	20
2-3	36	53	42	37	41	26	32	26	27	21
4-5	54	67	52	47	43	44	36	30	31	31
6-7	31	23	21	24	25	19	28	28	16	17
8-9	39	24	23	33	27	26	28	21	22	19
10-11	42	43	30	27	28	37	36	36	29	23
12-13	25	26	28	28	20	14	14	18	20	17
14-15	31	27	22	23	19	16	25	10	14	12
16-17	22	20	20	25	20	14	12	24	10	14
18-19	9	22	19	15	15	11	12	7	20	11
20-21	17	21	21	19	19	10	15	11	11	10
22-23	18	28	29	21	18	17	16	16	15	12
合計	367	388	349	330	308	258	271	253	239	207

[※] 平成24年以前は軽自動車が含まれる。

- ・構成率でみると、平成 23 年から令和 2 年までの 10 年間のうち、平成 30 年を除いて 4-5 時 台の割合が常に最も高く、11%台から 17%台の間で推移しています。
- ・平成23年から令和2年までの10年間をとおして、0時-5時の夜中から早朝時間帯の割合が概して高く、逆に18-19時の夕方から夜間時間帯の割合は概して低い傾向にあります。
- ・全体に、24ページの死傷事故の傾向に比べてバラつきが大きくなっています。

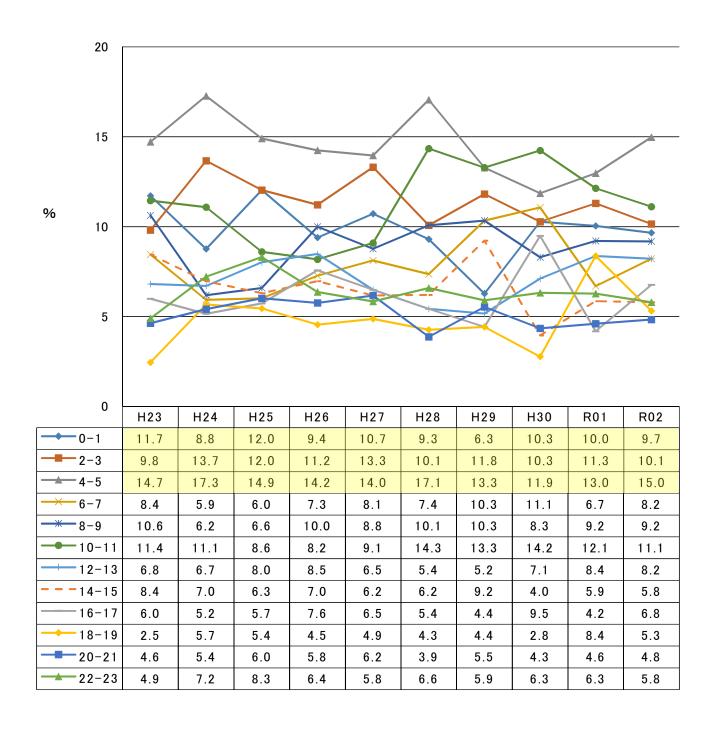


図 5-5 時間帯別死亡事故件数構成率の推移(平成 23-令和 2 年)

6. 事業用貨物自動車の危険認知速度別死傷事故の状況

(1) 事業用貨物自動車の危険認知速度別・第1当事者種別の死傷事故件数(令和2年)

令和 2 年の危険認知速度別・第 1 当事者種別の死傷事故件数は、大型では、10km/h以下が 1,173 件、41-50km/h以下が 573 件、11-20km/h以下が 529 件となっています。中型では、10km/h 以下が 748 件、31-40km/h以下が 417 件、11-20km/h以下が 396 件となっており、準中型では、10km/h以下が 808 件、11-20km/h以下が 408 件、31-40km/h以下が 362 件、普通では、10km/h以下が 245 件、11-20km/h以下が 113 件、31-40km/h以下が 74 件となっています。

概して、10km/h以下の低速での死傷事故が特に多くなっています。

(件) 速度 10km/ 20km/ 30km/ 40km/ 50km/ 60km/ 70km/ 80km/ 90km/ 100km/ 140km/ 160km/ 120km/ 160km/ 不明 合計 h以下 第1当事者種別 474 105 0 3.970 大型 1.173 529 320 573 444 165 165 15 1 中型 748 396 265 417 402 72 54 14 2,671 266 20 準中型 808 265 362 254 117 10 2 2.261 2 0 245 113 55 74 38 3 2 0 0 0 547 普通 2,974 1,446 1,267 0 0 0 合計 905 1,327 840 260 231 128 39 11 21 9,449

表 6-1 危険認知速度別・第1当事者種別の死傷事故件数(令和2年)

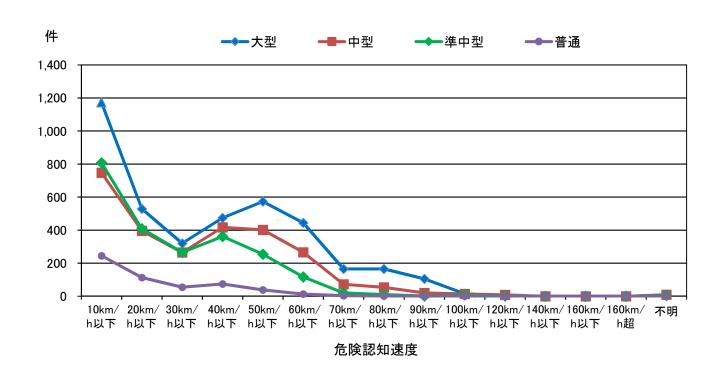


図 6-1 危険認知速度別・第1当事者種別の死傷事故件数(令和2年)

(2) 事業用貨物自動車の危険認知速度別・第1当事者種別の死亡事故件数(令和2年)

令和2年の危険認知速度別・第1当事者種別の死亡事故件数は、大型では、10 km/h以下が24件、11-20 km/h以下が20件、51-60 km/h以下、71-80 km/h以下が各 15件となっています。中型では、51-60 km/h以下が16件、11-20 km/h以下が8件、31-40 km/h以下、41-50 km/h以下が各 5件となっており、準中型では、10 km/h以下が6件、11-20 km/h以下、31-40 km/h以下、51-60 km/h以下が各 5件、普通では、71-80 km/h以下が2件となっています。

概して 20km/h以下の低速度と 51-60km/hでの死傷事故が多くなっています。

(件) 危険認知速度 10km/ 30km/ 90km/ 100km/h | 120km/h | 140km/h | 160km/h | 160km/h 20km/ 40km/ 50km/ 60km/ 70km/ 80km/ 不明 計 h以下 h以下 h以下 h以下 h以下 以下 h以下 h以下 h以下 h以下 以下 以下 以下 第1当事者種別 大型 中型 準中型 普通 숨計

表 6-2 危険認知速度別・第1当事者種別の死亡事故件数(令和2年)

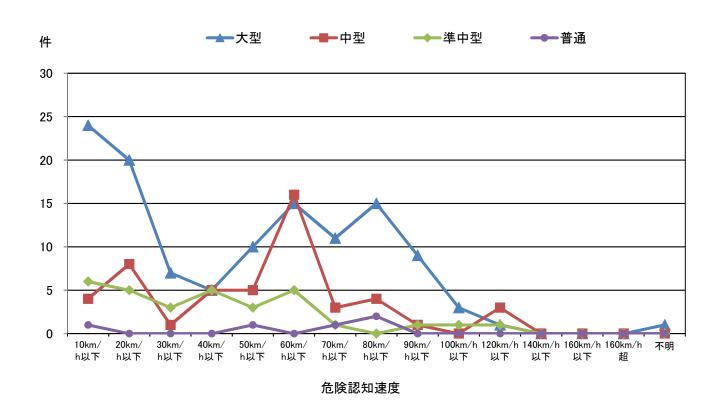


図 6-2 危険認知速度別・第1当事者種別の死亡事故件数(令和2年)

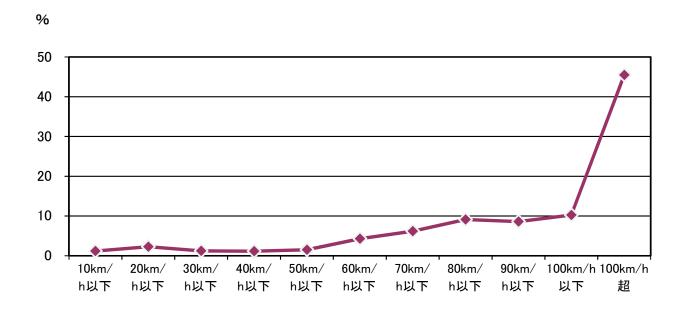
(3) 事業用貨物自動車の危険認知速度別の死亡事故率 (令和2年)

令和2年の危険認知速度別の死亡事故率は、100km/h超が45.5%で割合が高く、続いて91-100km/h以下が10.3%、71-80km/h以下が9.1%、81-90km/h以下が8.6%、61-70km/h以下が6.2%であり、高速度における死亡事故率が高くなっています。

表 6-3 危険認知速度別の死亡事故率(令和2年)

事故私	速度	10km/ h以下	20km/ h以下	30km/ h以下	40km/ h以下	50km/ h以下	60km/ h以下	70km/ h以下	80km/ h以下	90km/ h以下	100km/ h以下	100km/ h超	不明	合計
9	艺傷事故件数(件)	2,974	1,446	905	1,327	1,267	840	260	231	128	39	11	21	9,449
	死亡事故件数(件)	35	33	11	15	19	36	16	21	11	4	5	1	207
	死亡事故率(%)	1.2	2.3	1.2	1.1	1.5	4.3	6.2	9.1	8.6	10.3	45.5	4.8	2.2

※ 死亡事故率=死亡事故件数/事故件数×100



危険認知速度

図 6-3 危険認知速度別の死亡事故率(令和2年)

7. 事業用貨物自動車の時間帯別・危険認知速度別の追突死傷事故の状況

(1) 事業用貨物自動車の時間帯別・危険認知速度別の追突死傷事故件数(令和2年)

令和 2 年の時間帯別・危険認知速度別の追突死傷事故件数は、10km/h以下の低速では 10-11 時台が 188 件、8-9 時台が 187 件、12-13 時台が 151 件、14-15 時台が 137 件と昼間の時間帯での事故が多くなっており、31-50km/hの速度帯でも同様の傾向となっています。

表 7-1 時間帯別・危険認知速度別の追突死傷事故件数(令和2年)

													(14)
時間(2時間毎) 危険認知速度	0-1	2-3	4–5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23	合計
10km/h以下	5	7	18	129	187	188	151	137	94	50	18	7	991
20km/h以下	4	8	15	68	103	104	69	62	34	20	5	4	496
30km/h以下	6	4	11	71	77	89	83	63	41	21	16	4	486
40km/h以下	14	14	33	79	136	156	137	118	71	36	18	16	828
50km/h以下	20	26	42	70	108	164	116	97	62	37	22	30	794
60km/h以下	19	20	30	53	53	94	72	52	37	25	21	25	501
70km/h以下	11	4	6	12	13	16	19	12	13	4	6	16	132
80km/h以下	13	7	11	9	11	14	5	17	6	8	7	13	121
90km/h以下	7	3	13	6	3	5	5	6	4	4	4	7	67
100km/h以下	4	3	2	2	1	0	2	1	0	1	0	4	20
120km/h以下	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	4
120km/h超	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不明	0	1	1	0	0	0	3	2	0	0	0	0	7
合計	103	97	183	499	692	830	663	567	363	206	117	127	4,447

構成率でみると、6-19 時台では 10km/h以下の低速度の割合が高く、一方、0-5 時の深夜帯は 41-60km/h以下の割合が高くなっています。

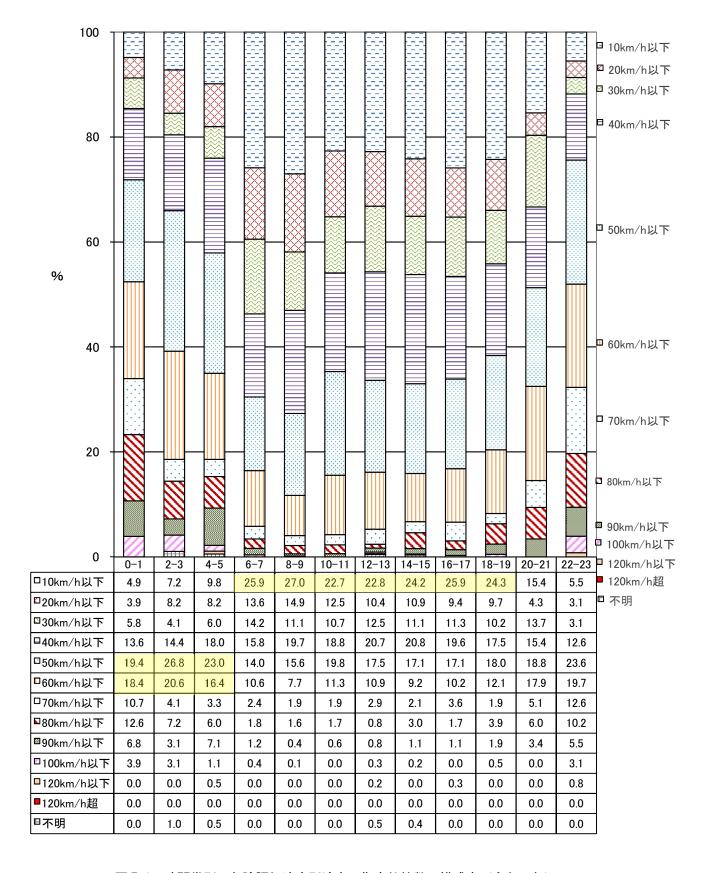


図 7-1 時間帯別・危険認知速度別追突死傷事故件数の構成率(令和2年)

(2) 事業用貨物自動車の時間帯別・危険認知速度別の追突死亡事故件数(令和2年)

令和2年の時間帯別・危険認知速度別の追突死亡事故件数は、0-1時台の41-50km/h以下、51-60km/h以下、61-70km/h以下、71-80km/h以下、6-7時台の51-60km/h以下、18-19時台の81-90km/h以下、22-23時台の71-80km/h以下にそれぞれ2件ずつとなっています。

表 7-2 時間帯別・危険認知速度別の追突死亡事故件数(令和2年)

_													(11
時間帯(2時間毎) 危険認知速度	0-1	2-3	4-5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23	合計
10km/h以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20km/h以下	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
30km/h以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40km/h以下	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
50km/h以下	2	1	1	1	0	0	1	0	1	0	0	0	7
60km/h以下	2	1	0	2	0	0	0	1	0	1	0	1	8
70km/h以下	2	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	5
80km/h以下	2	0	1	0	0	0	0	1	1	0	1	2	8
90km/h以下	0	0	1	1	0	0	1	0	0	2	1	0	6
100km/h以下	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
120km/h以下	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
120km/h超	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不明	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	9	3	5	4	1	1	4	2	3	3	2	3	40

構成率でみると、0-1 時台では41-80km/h以下(計88.8%)に、2-3 時台では41-70km/h以下(計100%)に、6-7 時台では41-60km/h以下(計75.0%)に、8-9 時台、10-11 時台では61-70km/h以下(各100%)に、12-13 時台では81-120km/h以下(計75%)に、20-21 時台では71-90km/h以下(計100%)が多くなっています。

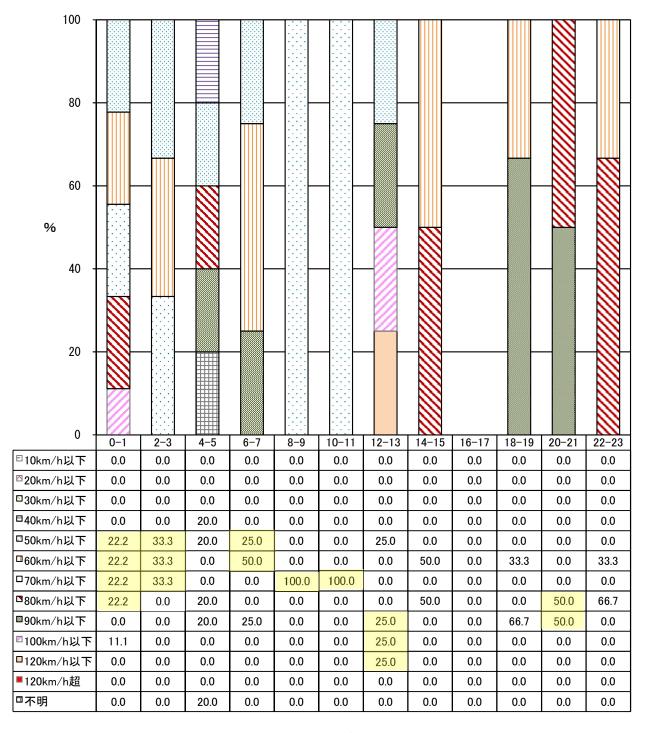


図 7-2 時間帯別・危険認知速度別の追突死亡事故件数(令和 2年)

8. 事業用貨物自動車の行動類型別死傷事故の状況

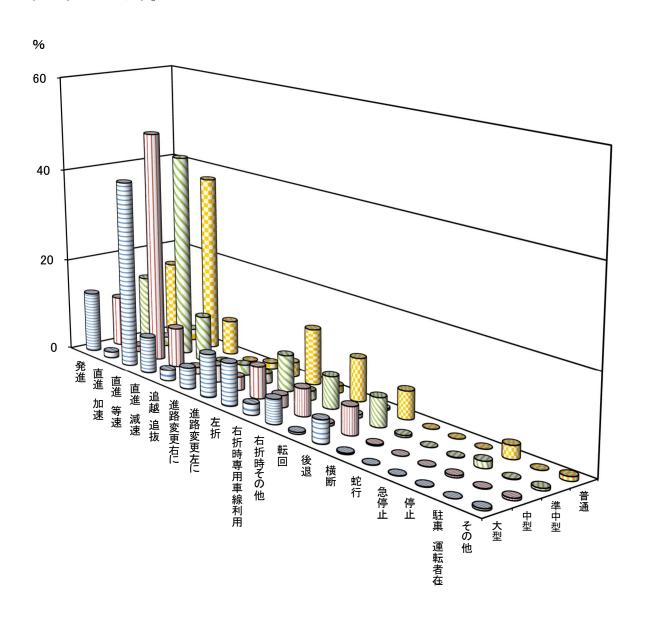
令和2年の行動類型別・第1当事者種別の死傷事故件数は、大型では、直進(等速)1,579件、発進510件、進路変更(左に)363件となっています。中型では、直進(等速)1,314件、発進284件、直進(減速)223件となっており、準中型では、直進(等速)978件、発進314件、直進(減速)217件、普通では、直進(等速)206件、発進87件、左折65件となっています。

いずれの種別でも、直進(等速)が最も多く、次に発進が多くなっています。

表 8 行動類型別・第1当事者種別の死傷事故件数(令和2年)

行動類型 第1当事者種別	発進	直進加速	直進等速	直進減速	追越· 追抜	進路変 更右に	進路変 更左に	左折	右折時 専用車 線利用	右折時 その他	転回	後退	横断	蛇行	急停止	停止	駐車(運転者 在)	その他	合計
大型	510	50	1,579	307	91	180	363	358	91	204	15	191	10	1	2	3	0	15	3,970
中型	284	33	1,314	223	40	97	75	182	67	154	14	156	6	0	1	11	2	12	2,671
準中型	314	44	978	217	30	52	47	175	43	152	16	137	9	0	2	32	2	11	2,261
普通	87	13	206	40	0	7	17	65	8	50	2	32	0	0	0	15	0	5	547
合計	1,195	140	4,077	787	161	336	502	780	209	560	47	516	25	1	5	61	4	43	9,449

構成率でみると、大型では、直進(等速)39.8%、発進12.8%、進路変更(左に)9.1%、 左折9.0%、となっています。中型では、直進(等速)49.2%、発進10.6%、直進(減速)8.3% となっており、準中型では、直進(等速)43.3%、発進13.9%、直進(減速)9.6%、左折7.7%、 となっており、普通では、直進(等速)37.7%、発進15.9%、左折11.9%、右折時(その他) 9.1%となっています。



	発進	直進加速	直進等速	直進減速	追越· 追抜	進路 変更 右に	進路 変更 左に	左折	右時用線用線用	右折 時そ の他	転回	後退	横断	蛇行	急停 止	停止	駐車 (運転者 在)	その 他
□大型	12.8	1.3	39.8	7.7	2.3	4.5	9.1	9.0	2.3	5.1	0.4	4.8	0.3	0.0	0.1	0.1	0.0	0.4
□中型	10.6	1.2	49.2	8.3	1.5	3.6	2.8	6.8	2.5	5.8	0.5	5.8	0.2	0.0	0.0	0.4	0.1	0.4
□準中型	13.9	1.9	43.3	9.6	1.3	2.3	2.1	7.7	1.9	6.7	0.7	6.1	0.4	0.0	0.1	1.4	0.1	0.5
□普通	15.9	2.4	37.7	7.3	0.0	1.3	3.1	11.9	1.5	9.1	0.4	5.9	0.0	0.0	0.0	2.7	0.0	0.9

図8 行動類型別・第1当事者種別の死傷事故件数の構成率(令和2年)

9. 事業用貨物自動車の法令違反別死傷事故の状況

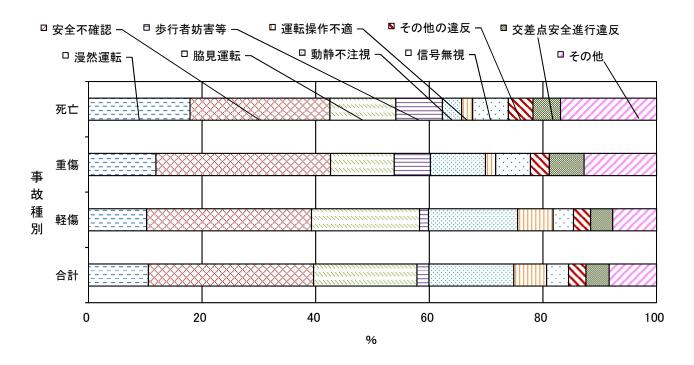
令和2年の法令違反(事故の結果に最も影響を与えている違反であって、無免許運転、無資格運転及び酒気帯び運転以外の違反)別の死傷事故件数及び構成率は、全体では、安全不確認2,747件(29.1%)、脇見運転1,720件(18.2%)、動静不注視1,411件(14.9%)となっています。

一方、死亡事故では、安全不確認 51 件 (24.6%)、漫然運転 37 件 (17.9%)、脇見運転 24 件 (11.6%) となっています。

また、重傷事故では、安全不確認 241 件 (30.7%)、漫然運転 93 件 (11.9%)、脇見運転 88 件 (11.2%)、となっており、軽傷事故では、安全不確認 2,455 件 (29.0%)、脇見運転 1,608 件 (19.0%)、動静不注視 1,328 件 (15.7%) となっています。

表 9-1 法令違反別の死傷事故件数及び構成率(令和2年)

	事故類型	死亡事故件数		重傷事故件数		軽傷事故件数		合 計	
法令違反		件数(件)	構成率(%)	件数(件)	構成率(%)	件数(件)	構成率(%)	件数(件)	構成率(%)
信号無視		13	6.3	48	6.1	303	3.6	364	3.9
通行区分違	反	3	1.4	10	1.3	25	0.3	38	0.4
最高速度違	反	10	4.8	5	0.6	9	0.1	24	0.3
横断•転回	等違反	2	1.0	10	1.3	68	0.8	80	0.8
車間距離不	保持	0	0.0	4	0.5	45	0.5	49	0.5
追越し禁止	違反	3	1.4	15	1.9	61	0.7	79	0.8
踏切不停止		0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
右折違反		0	0.0	1	0.1	17	0.2	18	0.2
左折違反		2	1.0	5	0.6	45	0.5	52	0.6
環状交差点		0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
優先通行妨	害	5	2.4	17	2.2	79	0.9	101	1.1
交差点安全	:進行違反	10	4.8	48	6.1	328	3.9	386	4.1
步行者妨害	等	17	8.2	50	6.4	133	1.6	200	2.1
徐行違反		0	0.0	4	0.5	13	0.2	17	0.2
一時不停止		0	0.0	11	1.4	81	1.0	92	1.0
整備不良		0	0.0	0	0.0	6	0.1	6	0.1
酒酔い運転		0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
過労等	薬物運転	0	0.0	0	0.0	1	0.0	1	0.0
	過労運転	2	1.0	1	0.1	10	0.1	13	0.1
安	運転操作不適	4	1.9	14	1.8	529	6.3	547	5.8
全 運	漫然運転	37	17.9	93	11.9	866	10.2	996	10.5
転	脇見運転	24	11.6	88	11.2	1,608	19.0	1,720	18.2
義	動静不注視	7	3.4	76	9.7	1,328	15.7	1,411	14.9
務	安全不確認	51	24.6	241	30.7	2,455	29.0	2,747	29.1
違	安全速度違反	5	2.4	8	1.0	28	0.3	41	0.4
反	その他	2	1.0	9	1.1	160	1.9	171	1.8
その他の	違反	9	4.3	26	3.3	256	3.0	291	3.1
不明		1	0.5	0	0.0	4	0.0	5	0.1
í	合 計	207	100.0	784	100.0	8,458	100.0	9,449	100.0



※ 構成率については、死亡事故件数の多い9項目及びその他とする。

図 9-1 法令違反別死傷事故件数の構成率(令和元2年)

(参考)

主な用語の意味

用 語	意味
漫然運転	脇見運転ではないが、運転中に"運転以外のことを考えていた"、"ぼんやりしていた"、"ラジオ放送に聞き入っていた"等のために注意の的がはずれ、相手当事者を発見できず、又は発見が遅れて事故を発生させた場合等をいいます。
脇見運転	風景、案内標識、他車や歩行者等の動静を見ていた等、前方の交通環境を認識せず運転し、相手当事者を発見できず、又は発見が遅れて事故を発生させた場合等をいいます。
動静不注視	相手当事者を発見(認識)したが、危険でないと思って注視を怠り、又は相手が譲ってくれる(避けてくれる)ものと思い込んで注視を怠り、事故を発生させた場合等をいいます。
安全不確認	前方、後方、側方の確認が可能な速度に減速したが、確認を十分に行われなかったために、相手当事者を発見できず、又は発見が遅れて事故を発生させた場合等をいいます。



事業用貨物自動車の主な法令違反別死亡事故の推移(平成23-令和2年)

- ・死亡事故において多い法令違反3項目では、漫然運転は、平成25年以降はおおむね減少傾向にあり、令和2年は37件と、平成23年から半減しています。
- ・ 脇見運転は、 平成 24 年の 75 件をピークに全体的に減少しており、 令和 2 年には 24 件で、 前年の 47 件から半減しています。。
- ・安全不確認は、大きな減少傾向がみられず、年によってバラツキがあります。

表 9-2 法令違反別死亡事故件数の推移(平成 23-令和 2年)

(件)

年 法令違反	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02
漫然運転	76	77	88	78	63	57	58	50	57	37
脇見運転	63	75	56	51	55	35	41	41	47	24
安全不確認	50	48	50	40	49	40	36	51	40	51
合計	367	388	349	330	308	258	271	253	239	207

※ 平成24年以前は軽自動車が含まれる。

・構成率でみると、漫然運転は、平成25年に25%を超えたものの、令和2年は18%を下回っています。脇見運転は、平成25年から平成30年まで、おおむね16%前後だったものの、令和元年は大きく増加し19%を超えましたが、令和2年には11%台に再度減少しました。さらに、安全不確認は、平成29年まではおおむね14%程度でしたが、それ以降、増加傾向にあります。



図 9-2 法令違反別死亡事故件数構成率の推移(平成 23-令和 2年)

10. 事業用貨物自動車の飲酒運転による死傷事故の状況

(1) 事業用貨物自動車の飲酒運転による死傷事故件数(令和2年)

令和2年の飲酒運転による死傷事故は22件で、うち、死亡事故4件(18.2%)、重傷事故2件(9.1%)、軽傷事故16件(72.7%)となっています。

飲酒基準別では、酒酔い1件、酒気帯び(0.25以上)10件、酒気帯び(0.25未満)4件、基準以下6件となり、酒酔いと酒気帯び(0.25以上)を合わせると全体の50.0%を占めています。

表 10-1 飲酒運転による死傷事故件数及び構成率(令和2年)

(参考)

飲酒基準事故内容	酒酔い	酒気帯び (0.25以上)	酒気帯び (0.25未満)	基準 以下	検知 不能	合計	構成率(%)
死亡(件)	0	4	0	0	0	4	18.2
重傷(件)	0	0	0	1	1	2	9.1
軽傷(件)	1	6	4	5	0	16	72.7
合計	1	10	4	6	1	22	100.0
構成率(%)	4.5	45.5	18.2	27.3	4.5	100.0	

\2	1								
飲酒	11等								
件数	構成率(%)								
203	2.2								
782	8.3								
8,442	89.6								
9,427 100.0									

^{※ 「}酒気帯び」欄の数値は、呼気中のアルコール濃度 (mg/1) を示す。

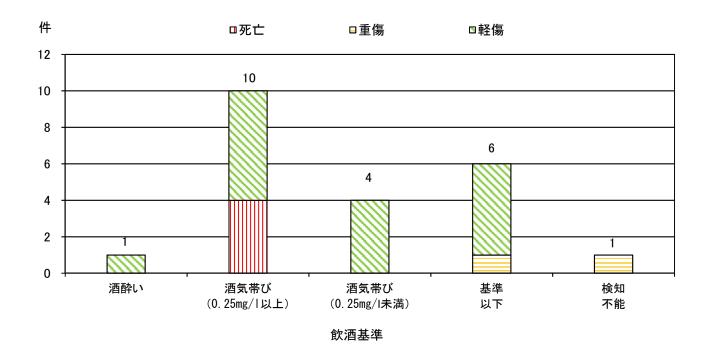


図 10-1 飲酒運転による死傷事故件数(令和2年)

(2) 事業用貨物自動車の飲酒運転による死傷事故件数の推移(平成23-令和2年)

飲酒運転事故による死傷事故件数は、平成23年の35件に比べて令和2年には22件となり、10年間で見ると13件(37.1%)減少しています。しかし、依然として飲酒運転による事故件数0件には厳しい状況です。

表 10-2 飲酒運転による死傷事故件数の推移(平成 23-令和 2年)

年飲酒基準	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02
酒酔い	0	3	2	3	3	3	1	0	2	1
酒気帯び(0.25以上)	14	8	15	15	14	23	13	12	16	10
酒気帯び(0.25未満)	6	3	7	3	4	5	4	3	5	4
基準以下	14	10	8	8	12	6	10	5	5	6
検知不能	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1
合計	35	24	32	30	33	37	28	20	28	22

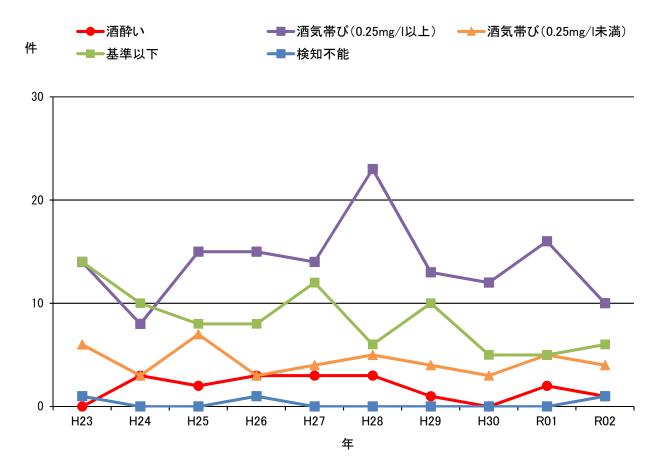


図 10-2 飲酒運転による死傷事故件数の推移(平成 23-令和 2年)

(3) 事業用貨物自動車の管轄運輸支局(車籍)別の飲酒運転による死傷事故件数の推移

管轄運輸支局(車籍)別の飲酒運転による死傷事故件数は、平成23年から令和2年までの10年間の合計で、大阪27件、東京17件、福岡15件、北海道14件、愛知及び兵庫13件、茨城12件、千葉及び埼玉11件、神奈川及び静岡10件となっています。

表 10-3 管轄運輸支局(車籍)別の飲酒運転による死傷事故件数の推移(平成 23-令和 2 年)

年 車籍	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	Н30	R01	R02	H23-R02
北海道	1	1	2	1	3	1	2	2	0	1	14
宮城	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
福島	0	0	0	1	1	1	1	0	0	1	5
岩 手	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
青森	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1	4
山形	2	0	1	0	0	0	0	0	2	0	5
秋田	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2
新潟	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
長野	1	1	0	1	1	0	0	0	0	1	5
<u>石川</u>	1	1	0	0	1	1	0	0	1	0	5
富山	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	3
東京	1	3	2	3	0	3	2	0	1	2	17
<u>神奈川</u> 千 葉	2 1	0 1	0	1 3	2	1	1 0	0	2	0 1	10 11
<u>千葉</u> 埼玉	2	2	1	ა 1	1	0	2	0	1	1	11
茨 城	1	0	2	0	1	1	0	2	4	1	12
群馬	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	3
栃木	1	1	1	0	1	2	1	0	0	0	7
山梨	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
愛知	2	3	1	1	1	0	2	1	2	0	13
静岡	1	0	2	0	1	5	0	0	0	1	10
岐阜	1	0	0	0	1	1	0	1	0	0	4
三重	0	2	0	0	0	2	0	0	0	0	4
福井	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
大 阪	3	2	7	3	2	3	3	1	1	2	27
京都	0	0	0	1	0	2	1	0	1	1	6
兵 庫	1	0	1	3	3	1	1	1	0	2	13
滋賀	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
奈 良	1	1	1	2	0	0	0	0	0	0	5
和歌山	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	3
<u>広島</u>	2	0	1	2	0	0	1	1	1	0	8
<u>鳥取</u>	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
島根	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
岡山	1	1	0	2	0	1	0	0	0	0	5
中口	0	0	0	2	0	0	0	2	1	1	6
高松	1 0	0	1	0	<u>0</u> 1	2 1	1 0	0	2	0	7
<u>徳島</u> 愛媛	1	0	0	0	0	1	2	0	<u>0</u>	0	<u>4</u> 5
高知	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	
福岡	1	1	0	1	4	3	1	1	2	1	15
佐賀	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
長崎	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	3
熊本	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	3
大分	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2
宮崎	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
鹿児島	1	0	0	0	1	1	0	1	0	0	4
沖縄	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
不明	1	1	1	0	1	0	2	0	2	2	10
合 計	35	24	32	30	33	37	28	20	28	22	289

10年間の合計が10件以上の都道府県

1年間の事故件数が3件以上

11. 事業用貨物自動車の整備不良による死傷事故の状況

整備不良違反による第1当事者種別の死傷事故件数は、平成27年に4件と一旦減少したものの、平成28年は13件、平成29年は11件、平成30年は13件と増加し、令和元年には9件、令和2年には6件と再び減少しており、10年間をとおして変動が大きい状況です。

第1当事者種別でみると大型の事故件数が多く、年間10件以上となったのは10年間のうち 5回です。

また、普通では、平成23年以降、平成25年の1件を除いていずれの年も0件で、10年間をとおしても比較的少ない状況です。

※ 「整備不良違反」とは、当該事故の発生に最も影響を与えた道路交通法上の法令違反が「整備不良」であったものをいう。

表 11 整備不良による第1当事者種別死傷事故件数の推移(平成23-令和2年)

年 第1当事者種別	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02
大型	5	11	11	9	3	12	10	10	9	6
中型	4	1	2	1	1	1	0	1	0	0
準中型							1	2	0	0
普通	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
合計	9	12	14	10	4	13	11	13	9	6

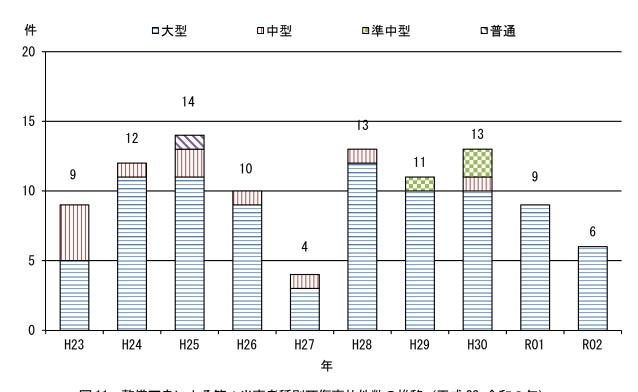


図11 整備不良による第1当事者種別死傷事故件数の推移(平成23-令和2年)

12. 事業用貨物自動車の車両的要因別死傷事故の状況

令和2年の車両的要因による死傷事故件数は41件で、内訳は大型26件、中型10件、準中型4件、普通1件となっています。

整備不良による死傷事故の要因別件数は、大型のタイヤ不良7件が突出しています。

一方、状態的不良のある死傷事故の要因別件数は、荷くずれが、大型 10 件、中型 4 件、準中型 2 件と目立っています。

このように車両的要因別のある事故では、タイヤ不良と荷くずれが多くなっています。

※ 「車両的要因」とは、車両の構造、装置の不良及び車両の状態的な不良が事故の発生の要因と考えられる場合をいい、車両の不良状態が人 的要因を誘発した場合を含む。

表 12 車両的要因別の死傷事故件数(令和2年)

	制動装置不良						合計
			1	0	1	0	2
	かじ取り装置不力	良	0	0	0	0	0
	タイヤ不良		7	0	0	1	8
	車輪不良		2	0	0	0	2
整	灯火不良		0	0	0	0	0
備	エンジン故障		0	0	0	0	0
不良	変速機不良•故	璋	0	0	0	0	0
及	燃料·潤滑装置	不良	0	0	0	0	0
	フロントガラス等	不良	0	0	0	0	0
	ミラー調整不良、	破損、欠落	0	1	0	0	1
	不良改造(オー	バーフェンダ等)	0	0	0	0	0
	その他車両等の	構造・装置等の整備不良	1	1	0	0	2
		小計	11	2	1	1	15
	車内の状態	着色フィルムが視界に影響した	0	0	0	0	0
		ワイパーを作動させなかった、フロントガラスを拭かなかったなどのため相手の発見が遅れた	0	0	0	0	0
		車室内の飾り物が視界に影響した	0	0	0	0	0
		車室内の同乗者が視界、操作に影響した	0	0	0	0	0
		車室内の荷物が視界、操作に影響した	0	1	0	0	1
状		計	0	1	0	0	1
態		過積載が制動距離に影響した	1	0	0	0	1
的 不		過積載が車両の安全性を影響した	0	0	0	0	0
白	積荷の状態	荷くずれ	10	4	2	0	16
	傾何の1人忠	積み荷等の車外はみ出し	2	1	0	0	3
		積み荷等が自車の灯火を妨害した	0	0	0	0	0
		計	13	5	2	0	20
	灯火の状態	前照灯不点火	0	0	0	0	0
		駐車灯不点火(尾灯、非常点滅を含む)	0	0	0	0	0
		自車前照灯の上下向きが視界に影 響	0	0	0	0	0
		計	0	0	0	0	0
		小計	13	6	2	0	21
その	つ他の車両的要因		2	2	1	0	5
		슴計	26	10	4	1	41

13. 事業用貨物自動車の運転者の運転免許経過年数別死傷事故の状況

(1) 事業用貨物自動車の運転者の運転免許経過年数別・第1当事者種別の死傷事故件数 (令和2年)

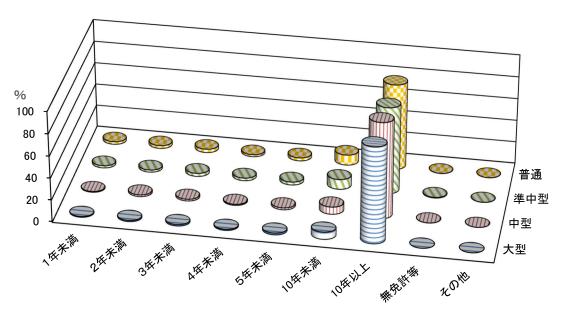
令和2年の運転者の運転免許経過年数別・第1当事者種別の死傷事故件数は、いずれの種別においても10年以上の年数の運転者が多く、大型で3,478件、中型で2,328件、準中型で1,780件、普通で427件となっています。

(件) 運転免許経過年数 | 1年未満 | 2年未満 | 3年未満 | 4年未満 | 5年未満 | 10年未満 | 10年以上 | 無免許等 | その他 合 計 第1当事者種別 大型 26 43 52 40 65 266 3,478 0 3,970 0 中型 17 40 175 2,328 1 2,671 41 24 45 0 準中型 45 44 63 53 60 204 1,780 11 1 2,261 0 普通 13 14 17 10 15 51 427 0 547 12 9,449 合計 101 141 173 127 185 696 8.013

表 13-1 運転者の運転免許経過年数別・第1当事者種別の死傷事故件数(令和2年)

※ 「運転免許経過年数」とは、当該運転免許を取得してからの経過年数をいう。

構成率でみると、大型では、10年以上87.6%、5年以上10年未満6.7%となっています。 中型では、10年以上87.2%、5年以上10年未満6.6%となっており、準中型では、10年以上78.7%、5年以上10年未満9.0%、普通では、10年以上78.1%、5年以上10年未満9.3%となっています。



	1年未満	2年未満	3年未満	4年未満	5年未満	10年未満	10年以上	無免許等	その他
□大型	0.7	1.1	1.3	1.0	1.6	6.7	87.6	0.0	0.0
□中型	0.6	1.5	1.5	0.9	1.7	6.6	87.2	0.0	0.0
□準中型	2.0	1.9	2.8	2.3	2.7	9.0	78.7	0.5	0.0
□普通	2.4	2.6	3.1	1.8	2.7	9.3	78.1	0.0	0.0

図 13-1 運転者の運転免許経過年数別・第1当事者種別死傷事故件数の構成率(令和2年)

(2) 事業用貨物自動車の運転者の運転免許経過年数別・運転者年齢別の死傷事故件数 (令和2年)

令和2年の運転者の運転免許経過年数別・運転者年齢別で死傷事故件数が多いのは、運転免 許経過年数10年以上の45-49歳1,507件、50-54歳1,466件、55-59歳1,165件です。

表 13-2 運転者の運転免許経過年数別・運転者年齢別の死傷事故件数(令和2年)

,	ш	`
l	1+	,

運転者年齢運転免許経過年	19歳以下	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65歳以上	不明	合計
1年未満	31	41	10	6	3	2	4	2	1	0	1	0	101
2年未満	15	80	13	5	2	3	8	11	3	1	0	0	141
3年未満	0	107	23	11	4	8	5	6	6	3	0	0	173
4年未満	0	90	12	7	5	3	5	2	3	0	0	0	127
5年未満	0	65	72	12	10	4	6	7	6	2	1	0	185
10年未満	0	44	360	103	50	30	37	30	21	12	9	0	696
10年以上	0	0	31	411	703	930	1,507	1,466	1,165	937	863	0	8,013
無免許等	0	6	2	2	0	1	0	0	1	1	0	0	13
合計	46	433	523	557	777	981	1,572	1,524	1,206	956	874	0	9,449

- ※ 「運転免許経過年数」とは、当該運転免許を取得してからの経過年数をいう。
- ※ 「無免許等」とは、無資格運転、免許外、無免許、調査不能をいう。

構成率でみると、19歳以下では、運転免許経過年数が1年未満の67.4%と1年以上2年未満32.6%と合わせて100%で、20-24歳では、5年未満の件数の合計で88.5%となります。また、25-29歳では5年以上10年未満が68.8%に、さらに30-34歳では10年以上が73.8%となり、35歳以上ではすべての年齢層で10年以上が90%を超えています。

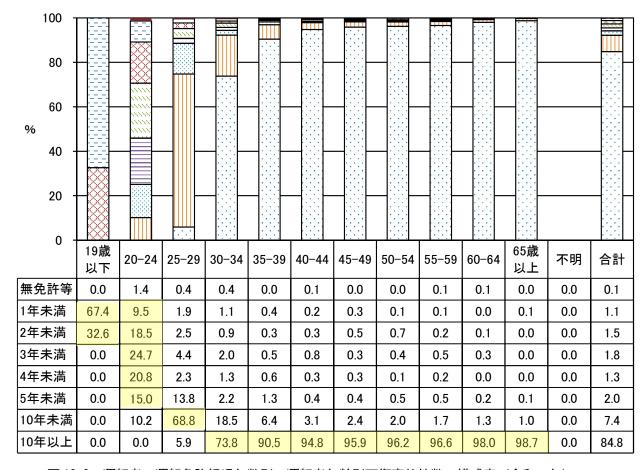


図 13-2 運転者の運転免許経過年数別・運転者年齢別死傷事故件数の構成率(令和2年)

14. 事業用貨物自動車の運転者の運転資格別死傷事故の状況

令和2年における運転者の運転資格別の死傷事故のうち、有資格者以外の事故は合計19件で、無免許等が7件、免許停止中、免許条件違反がそれぞれ5件、免許期限切れ、不明がそれぞれ1件となっています。

これを第1当事者種別でみると、大型は、免許停止中2件、免許期限切れ1件、中型は、免 許停止中1件、無免許等1件となっています。

一方で、準中型では、無免許等6件、免許条件違反5件、免許停止中、不明がいずれも1件で、合計13件と第1当事者種別中、最も多く、普通は、免許停止中1件となっています。

表 14 運転者の運転資格別・第1当事者種別の死傷事故件数(令和2年)

(件)

免許資格 第1当事者種別	有資格	免許停止 中	免許期限 切れ	免許条件 違反	無免許等	不明	合計
大型	3,967	2	1	0	0	0	3,970
中型	2,669	1	0	0	1	0	2,671
準中型	2,248	1	0	5	6	1	2,261
普通	546	1	0	0	0	0	547
合計	9,430	5	1	5	7	1	9,449

※ 「無免許等」とは無資格運転、免許外、無免許をいう。

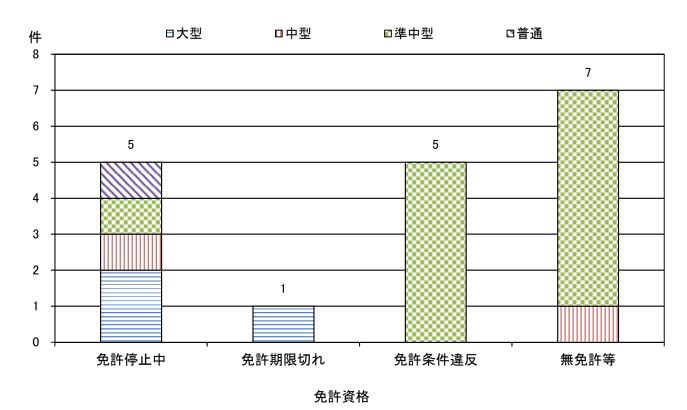


図 14 運転者の運転資格別・第1当事者種別の死傷事故件数(令和2年)

15. 事業用貨物自動車の運転者のシートベルト着用有無別死傷事故の状況

令和2年における運転者(第1当事者)のシートベルト着用有無別の死傷事故件数は、着用9,305件、非着用74件となっています。

これを死傷率でみると、シートベルト着用では、死亡 0.1%、重傷 0.5%、軽傷 1.3%、損傷なし 98.1%となっています。

一方、シートベルト非着用では、死亡10.8%、重傷4.1%、軽傷4.1%、損傷なし81.1%となり、着用と比較すると死傷率が非常に高くなっています。

また、死傷率の構成率でみると、シートベルト着用では軽傷の 69.5%が最も多く、一方、 シートベルト非着用では死亡の 57.1%が最も高くなっています。

※「死傷率」とは、被害程度を対象者で割った値(例:着用死亡死傷率=着用の死亡/着用の合計)

表 15-1 運転者(第1当事者)のシートベルト着用有無別・第1当事者種別の死傷事故件数 (令和2年)

						(1 午)		
運転者の着用物	1当事者種別 犬況	大型	中型	準中型	普通	合計	死傷率(%)	構成率(%)
	死 亡	5	4	2	0	11	0.1	6.3
	重傷	21	11	8	2	42	0.5	24.1
着用	軽傷	43	37	34	7	121	1.3	69.5
相用 	小計	69	52	44	9	174	1.9	100.0
	損傷なし	3,857	2,579	2,170	525	9,131	98.1	
	計		2,631	2,214	534	9,305	100.0	
	死 亡	7	0	0	1	8	10.8	57.1
	重傷	2	0	1	0	3	4.1	21.4
非着用	軽傷	1	1	1	0	3	4.1	21.4
17月 円	小計	10	1	2	1	14	18.9	100.0
	損傷なし	10	21	21	8	60	81.1	
	計	20	22	23	9	74	100.0	
	死 亡	2	0	0	0	2	2.9	50.0
	重傷	0	1	0	0	1	1.4	25.0
不明	軽傷	0	0	1	0	1	1.4	25.0
11. 197	小計	2	1	1	0	4	5.7	100.0
	損傷なし	22	17	23	4	66	94.3	
	計	24	18	24	4	70	100.0	
合	計	3,970	2,671	2,261	547	9,449		

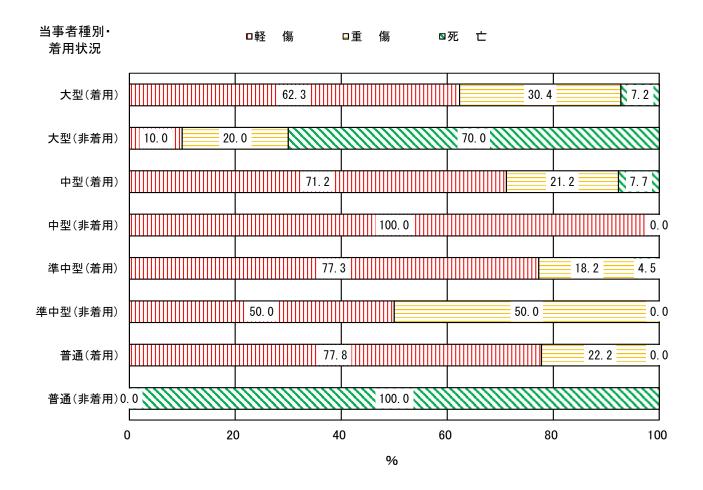


図 15-1 運転者(第1当事者)のシートベルト着用有無別・第1当事者種別死傷事故件数の構成率 (令和2年)



事業用貨物自動車の運転者のシートベルト着用状況(平成23-令和2年)

- ・運転者(第1当事者)のシートベルト着用有無別の死傷者数の内、死者では、着用・非着用ともに平成30年以降減少傾向にあり、非着用では令和2年に8人と、はじめて1桁台となりました。
- ・重傷者では、着用は平成23年の136人から令和2年の42人で、10年間で94人(69.1%)減少しています。また、非着用でも微増減を繰り返しながらも減少傾向にあります。
- ・軽傷者では、着用は平成23年の355人から令和2年の121人と着実に減少しており、10年間で234人(65.9%)の減少となっています。また、非着用は微増減はあるもののおおむね減少傾向にあり、特に平成27年以降、10人を下回る人数となっています。

表 15-2 運転者 (第1当事者) のシートベルト着用有無別死傷者数の推移 (平成 23-令和2年)

(人)

_											(八)
運転者の着用状	年 況	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02
	死者	26	37	33	27	23	24	26	16	18	11
着用	重傷者	136	102	112	97	78	65	52	50	46	42
│	軽傷者	355	318	314	274	190	192	165	152	114	121
	計	517	457	459	398	291	281	243	218	178	174
	死者	18	23	19	20	26	15	18	13	13	8
非着用	重傷者	21	11	8	11	11	9	4	8	2	3
升 相 用 	軽傷者	19	13	16	11	4	6	4	2	3	3
	計	58	47	43	42	41	30	26	23	18	14
	死者	1	3	3	4	2	2	2	4	2	2
不明	重傷者	9	8	5	5	0	1	2	6	4	1
1,69	軽傷者	4	1	1	1	1	1	3	2	3	1
	計	14	12	9	10	3	4	7	12	9	4
_	死者	45	63	55	51	51	41	46	33	33	21
合計	重傷者	166	121	125	113	89	75	58	64	52	46
	軽傷者	378	332	331	286	195	199	172	156	120	125
	計	589	516	511	450	335	315	276	253	205	192

- ・運転者(第1当事者)のシートベルト着用率は、平成23年から令和2年までの10年間を とおして、ほぼ横ばいで推移しています。
- ・傷害程度別のシートベルト着用率でみると、死者は、最も低いのは平成27年の45.1%、最も高いのは平成25年の60.0%など、着用率の増減が大きく、また、平成23年から令和2年までの10年間をとおして多くても6割までの着用率にとどまっています。
- ・重傷者は、死者の着用率よりも高く、令和元年までは70%台後半から80%台後半の範囲でしたが、令和2年では91.3%と、はじめて90%を超えました。
- ・さらに、軽傷者は、平成 27 年、平成 30 年の 97.4%を最高値とし、10 年間をとおして常に 90%を超えています。

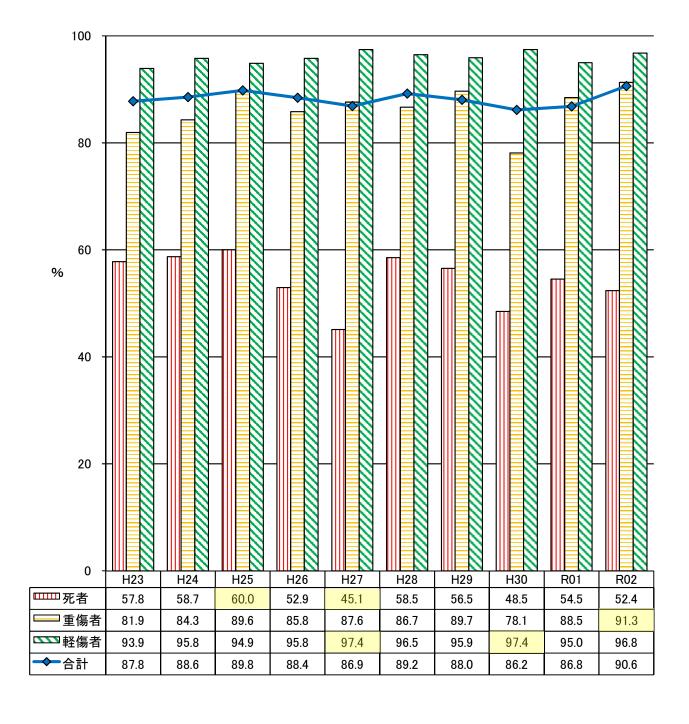


図 15-2 運転者の傷害程度別シートベルト着用率の推移(平成 23-令和 2年)

- ・運転者(第1当事者)全体のシートベルト非着用率は、平成23年から令和2年までの10年間をとおして8%台から12%台の範囲で、ほぼ横ばいで推移しています。
- ・傷害程度別のシートベルト非着用率でみると、死者では、平成 25 年の 34.5%が最も低く、 平成 27 年の 51.0%が最も高くなっています。
- ・重傷者では、令和元年の3.8%が最も低く、平成23年の12.7%が最も高くなっています。
- ・軽傷者では、平成30年の1.3%が最も低く、平成23年の5.0%が最も高くなっています。
- ・死者のシートベルト非着用率は、重傷者及び軽傷者と比較して、非常に高い値となっています。

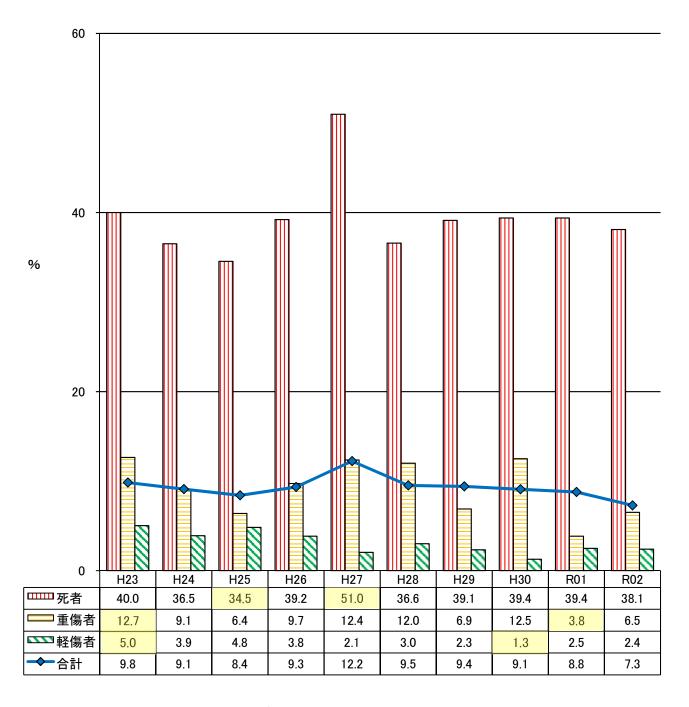


図 15-3 運転者(第1 当事者)の傷害程度別シートベルト非着用率の推移(平成 23-令和2年)

16. 事業用貨物自動車の高速道路における主な死傷事故の状況

(1) 高速道路における追突の事故詳細区分別死傷事故件数(令和元・2年)

令和 2 年の高速道路における追突死傷事故件数は 525 件で、令和元年の 810 件から 285 件 (35.2%) 減少しています。

事故詳細区分別にみると、走行車に追突では、令和元年の死亡 4 件、重傷 24 件、軽傷 314 件の計 342 件から、令和 2 年の死亡 4 件、重傷 13 件、軽傷 182 件の計 199 件となり、死亡は増減なし、重傷は 11 件減少、軽傷は 132 件減少の、合計 143 件の減少となっています。

同様に車線停止中(その他)では、令和元年の死亡8件、重傷30件、軽傷335件の計373件から、令和2年には死亡9件、重傷13件、軽傷203件の計225件となり、死亡で1件増加、重傷は17件減少、軽傷は132件減少の、合計148件の減少となっています。

表 16-1 高速道路における追突の事故詳細区分別死傷事故件数(令和元・2年)

											<u>(1+7</u>
		年		RO)1			RO)2		154 5-16
事故詳細[区分	事故内容	死亡	重傷	軽傷	合計	死亡	重傷	軽傷	合計	増減
	追越·追抜		0	1	11	12	0	1	7	8	-4
	-	走行車に	4	24	314	342	4	13	182	199	-143
	;	流入車に	0	1	2	3	0	1	3	4	1
	;	流出車に	0	0	5	5	0	0	1	1	-4
	車線	故障車に	1	4	8	13	0	4	14	18	5
	□ ^{単 稼} 停止中	事故車に	3	1	12	16	4	1	4	9	-7
追突	17年中	その他	8	30	335	373	9	13	203	225	-148
	路肩	故障車に	0	0	2	2	0	1	2	3	1
	^{四月} 停止中	事故車に	0	1	0	1	0	1	0	1	0
		その他	0	0	3	3	1	1	6	8	5
	料金所	行近停止車に	0	0	16	16	0	0	26	26	10
	その他		0	1	23	24	0	1	22	23	-1
	_	合計	16	63	731	810	18	37	470	525	-285

^{※ 「}車線停止中その他」には、渋滞停止中が含まれる。

^{※ 「}高速道路」とは、高速自動車国道、自動車専用道路(道路交通法施行令第42条の規定により指定された自動車専用道路)をいう。

(2) 高速道路における追突の道路区分別死傷事故件数(令和元・2年)

高速道路における追突の道路区分別事故件数は、走行車線(第一通行帯)では、令和元年の死亡6件、重傷37件、軽傷311件の計354件から、令和2年には死亡9件、重傷21件、軽傷194件の計224件となり、死亡は3件増加、重傷は16件減少、軽傷は117件の減少の、合計130件の減少となっています。

走行車線(第二通行帯以上)では、令和元年の死亡 5 件、重傷 16 件、軽傷 220 件の計 241 件から、令和 2 年には死亡 5 件、重傷 8 件、軽傷 129 件の計 142 件となり、死亡は増減なし、重傷は 8 件減少、軽傷は 91 件減少の、合計 99 件の減少となっています。

追越車線では、令和元年の死亡4件、重傷7件、軽傷135件の計146件から、令和2年には死亡2件、重傷5件、軽傷79件の計86件となり、死亡2件減少、重傷は2件減少、軽傷は56件減少の、合計60件の減少となっています。

一方で、路肩では、令和元年の7件から令和2年には14件となり、合計7件の増加となっています。

表 16-2 高速道路における追突の道路区分別死傷事故件数 (令和元・2年)

年		RO)1			R)2		1117
事故内容道路区分	死亡	重傷	軽傷	合計	死亡	重傷	軽傷	合計	増減
走行車線-第一通行帯	6	37	311	354	9	21	194	224	-130
走行車線-第二通行帯以上	5	16	220	241	5	8	129	142	-99
追越車線	4	7	135	146	2	5	79	86	-60
登板車線	0	0	4	4	0	0	4	4	0
加速車線	0	0	0	0	0	0	2	2	2
減速車線	1	0	7	8	0	0	0	0	-8
路肩	0	1	6	7	1	3	10	14	7
ランプウェイ-入路	0	1	2	3	0	0	8	8	5
ランプウェイ-出路	0	0	13	13	1	0	13	14	1
ジャンクション	0	0	3	3	0	0	3	3	0
料金所等付近-本線上	0	0	16	16	0	0	13	13	-3
料金所等付近-その他	0	0	9	9	0	0	11	11	2
サービスエリア	0	1	0	1	0	0	0	0	-1
パーキングエリア	0	0	0	0	0	0	2	2	2
その他	0	0	5	5	0	0	2	2	-3
合計	16	63	731	810	18	37	470	525	-285

(3) 高速道路における対歩行者の事故類型詳細区分別死傷事故件数(令和元・2年)

高速道路における対歩行者の死傷事故件数は、令和元年の死亡3件、重傷2件、軽傷3件の計8件から、令和2年には死亡7件、重傷2件、軽傷2件の11件となり、合計で3件(37.5%)増加しています。

表 16-3 高速道路における対歩行者の事故類型詳細区分別死傷事故件数(令和元・2年)

(件)

	年		RO	01						
事故詳細区分	事故内容	死亡	重傷	軽傷	合計	死亡	重傷	軽傷	合計	増減
	故障修理中	0	0	0	0	1	0	0	1	1
1.分声击	路上作業中	1	0	1	2	0	0	0	0	-2
人対車両	その他	2	2	2	6	6	2	2	10	4
	合計	3	2	3	8	7	2	2	11	3

(4) 高速道路における対歩行者の道路区分別死傷事故件数(令和元・2年)

高速道路における対歩行者の道路区分別死傷事故件数は、走行車線(第一通行帯)では、令和元年の死亡2件、重傷1件から、令和2年には死亡4件となり、1件増加しています。

また、走行車線(第二通行帯以上)では、令和元年の重傷1件から、令和2年には、死亡2件、軽傷1件となり、合計2件増加しています。

表 16-4 高速道路における人対車両の道路区分別死傷事故件数(令和元・2年)

年		RO)1			RO)2		
事故内容道路区分	死亡	重傷	軽傷	合計	死亡	重傷	軽傷	合計	増減
走行車線-第一通行帯	2	1	0	3	4	0	0	4	1
走行車線-第二通行帯以上	0	1	0	1	2	0	1	3	2
追越車線	0	0	0	0	0	0	0	0	0
登板車線	0	0	0	0	1	0	0	1	1
加速車線	0	0	0	0	0	0	0	0	0
減速車線	1	0	1	2	0	0	0	0	-2
路肩	0	0	1	1	0	1	0	1	0
ランプウェイ-入路	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ランプウェイ-出路	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ジャンクション	0	0	0	0	0	0	0	0	0
料金所等付近-本線上	0	0	0	0	0	0	0	0	0
料金所等付近-その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サービスエリア	0	0	1	1	0	1	1	2	1
パーキングエリア	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	3	2	3	8	7	2	2	11	3

17. 事業用貨物自動車の死傷者の状況

(1) 事業用貨物自動車の死傷者数(令和2年)

令和2年の死傷者数は、死者211人、重傷者814人、軽傷者11,058人の計12,083人となっています。

第2当事者種別では、対普通乗用車4,483人、対軽乗用2,267人、対自転車1,156人、対歩 行者652人となっています。

死傷者別・第1当事者種別でみると、死者は、大型では、対歩行者35人、対自転車29人、中型では、対歩行者17人、対自転車7人、準中型では、対歩行者21人、対自転車2人、普通では、対歩行者3人となっています。

一方、重傷者は、大型では、対自転車84人、対歩行者61人、中型では、対歩行者48人、 対自転車40人、準中型では、対自転車50人、対歩行者28人、普通では、対歩行者12人、対 自転車10人、となっています。

また、軽傷者は、大型では、対普通乗用車1,910人、対軽乗用1,015人、中型では、対普通乗用車1,322人、対軽乗用596人、準中型では、対普通乗用車921人、対軽乗用508人、普通では、対普通乗用車204人、対軽乗用83人となっています。

表 17-1 事業用貨物自動車の死傷者数(令和2年)

()

						П											(人)
	死傷者別			死者					重傷者					軽傷者	Í		
第2当事者	第1当事者種別種別	大型	中型	準中型	普通	小計	大型	中型	準中型	普通	小計	大型	中型	準中型	普通	小計	合計
71 T	バス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	6	7	0	31	31
-	マイクロバス	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	4	13	2	0	19	21
乗用	普通乗用車	7	1	0	0	8	72	25	20	1	118	1,910	1,322	921	204	4,357	4,483
車	軽乗用	5	3	0	0	8	32	17	8	0	57	1,015	596	508	83	2,202	2,267
- 平	ミニカー	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	1	3	0	5	6
	小計	12	4	0	0	16	106	42	29	1	178	2,948	1,938	1,441	287	6,614	6,808
	大型貨物	8	3	2	0	13	19	9	3	0	31	238	104	34	3	379	423
	中型貨物	2	1	0	0	3	12	6	1	1	20	135	100	33	3	271	294
貨	準中型貨物	6	0	0	0	6	10	5	4	0	19	170	118	87	4	379	404
物	普通貨物	2	0	0	0	2	4	3	0	1	8	89	118	81	22	310	320
重	ライトバン	0	0	0	0	0	3	0	3	0	6	108	75	47	10	240	246
平	軽貨物	1	3	0	1	5	12	5	3	0	20	215	219	150	39	623	648
	小計	19	7	2	1	29	60	28	14	2	104	955	734	432	81	2,202	2,335
	トレーラ	3	0	0	0	3	2	0	1	0	3	73	30	5	1	109	115
自	小型二輪	2	0	2	0	4	14	6	10	3	33	50	23	30	6	109	146
動	軽二輪	4	2	1	0	7	7	8	5	3	23	56	38	43	13	150	180
=	原付二輪	5	2	1	0	8	16	10	15	1	42	60	43	93	14	210	260
輪	小計	11	4	4	0	19	37	24	30	7	98	166	104	166	33	469	586
原付		5	3	1	0	9	23	14	12	3	52	82	63	90	29	264	325
特	農耕用	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3	1	0	1	0	2	5
殊	大型	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	2
重	小型	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1
	小計	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3	4	0	1	0	5	8
路面電車		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
列車		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
軽	自転車	29	7	2	0	38	84	40	50	10	184	285	225	320	104	934	1,156
車	駆動補助機付自転車	3	2	0	0	5	4	3	2	0	9	15	8	17	5	45	59
画	その他	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	2
	小計	32	9	2	0	43	88	44	52	10	194	300	233	338	109	980	1,217
步行者		35	17	21	3	76	61	48	28	12	149	111	124	135	57	427	652
	運転者不在)	2	4	0	0	6	9	2	1	0	12	8	14	9	0	31	49
物件		5	3	1	1	10	9	4	6	1	20	15	19	24	2	60	90
相手なし		3	0	0	0	3	1	1	2	0	4	3	2	0	1	6	13
不明		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		124	51	31	5	211	394	207	177	36	814	4,592	3,231	2,636	599	11,058	12,083

(2) 事業用貨物自動車の死傷者の構成率(令和2年)

令和2年の死傷者の第1当事者種別の構成率は、大型では、対普通乗用車38.9%、対軽乗用20.6%、対自転車7.8%、中型では、対普通乗用車38.6%、対軽乗用17.7%、対自転車7.8% 準中型では、対普通乗用車33.1%、対軽乗用18.1%、対自転車13.1%、普通では、対普通乗用車32.0%、対自転車17.8%、対軽乗用13.0%となっています。

表 17-2 相関別死傷者数の構成率(令和2年)

(%)

	1 774	LTU	`# I TI!	(70)
	大型	中型	準中型	普通
バス	0.4	0.2	0.2	0.0
マイクロバス	0.1	0.4	0.1	0.0
普通乗用車	38.9	38.6	33.1	32.0
軽乗用	20.6	17.7	18.1	13.0
ミニカー	0.0	0.0	0.1	0.0
大型貨物	5.2	3.3	1.4	0.5
中型貨物	2.9	3.1	1.2	0.6
準中型貨物	3.6	3.5	3.2	0.6
普通貨物	1.9	3.5	2.8	3.6
ライトバン	2.2	2.1	1.8	1.6
軽貨物	4.5	6.5	5.4	6.3
小型二輪	1.3	8.0	1.5	1.4
軽二輪	1.3	1.4	1.7	2.5
原付二輪	1.6	1.6	3.8	2.3
原付	2.2	2.3	3.6	5.0
農耕用	0.0	0.0	0.1	0.0
特殊大型	0.0	0.0	0.0	0.0
特殊小型	0.0	0.0	0.0	0.0
路面電車	0.0	0.0	0.0	0.0
列車	0.0	0.0	0.0	0.0
自転車	7.8	7.8	13.1	17.8
駆動補助機付自転車	0.4	0.4	0.7	0.8
その他	0.0	0.0	0.0	0.0
步行者	4.1	5.4	6.5	11.3
駐車車両 (運転者不在)	0.4	0.6	0.4	0.0
物件	0.6	0.7	1.1	0.6
相手なし	0.1	0.1	0.1	0.2
不明	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0

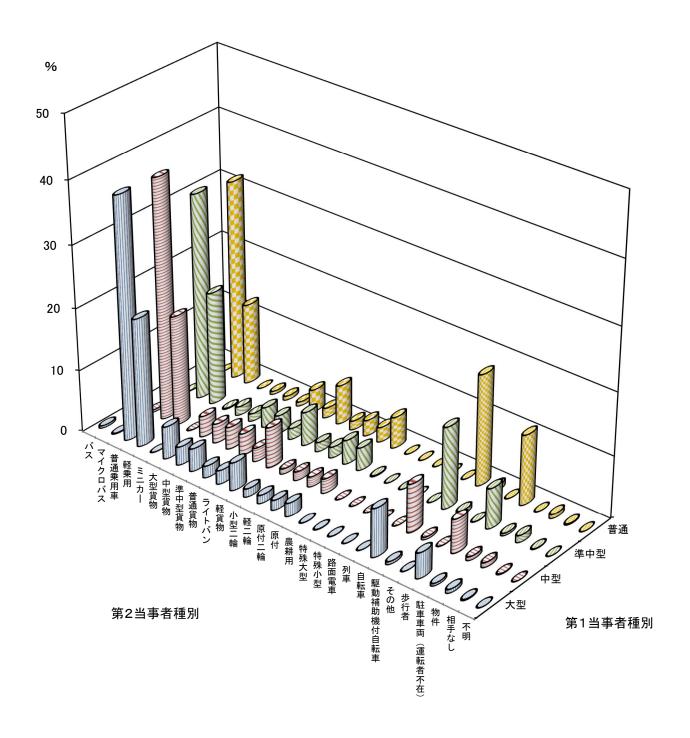


図 17-1 相関別死傷者数の構成率(令和元2年)

(3) 事業用貨物自動車の第1当事者種別・年齢別の死傷者数(令和2年)

令和2年の第1当事者種別・年齢別の死傷者数は、45-49歳1,422人、40-44歳1,203人、35-39歳1,169人、50-54歳1,156人となっています。

死傷者別にみると、死者は、大型では、20-24歳及び80-84歳の各13人、中型では、75-79歳の9人、準中型では、65-69歳、75-79歳、80-84歳及び90-94歳の各3人、普通では、65-69歳2人となっています。

一方、重傷者は、大型では、45-49 歳 51 人、中型では、55-59 歳 24 人、45-49 歳 23 人、準中型では、50-54 歳 23 人、55-59 歳 21 人、普通では、25-29 歳 6 人、45-49 歳 5 人となっています。

また、軽傷者は、大型では、45-49歳520人、40-44歳475人、中型では、45-49歳425人、40-44歳336人、準中型では、45-49歳300人、50-54歳278人、普通では、45-49歳68人、40-44歳及び50-54歳の各59人となっています。

第1当事者別にみると、大型が5,110人(42.3%)、中型が3,489人(28.9%)、準中型が2,844人(23.5%)、普通640人(5.3%)で、大型・中型で全体の約71%を占めています。また、65歳以上では、死者が81人(38.4%)、重傷者245人(30.1%)、軽傷者1,462人(13.2%)となっています。

表 17-3 第1 当事者種別・年齢別の死傷者数(令和2年)

(人)

死傷者		死者						重傷者					軽傷者			合計				
第1当事者種別年齢別	大型	中型	準中型	普通	小計	大型	中型	準中型	普通	小計	大型	中型	準中型	普通	小計	大型	中型	準中型	普通	合計
6歳以下	0	0	0	0	0	3	0	0	1	4	63	33	47	7	150	66	33	47	8	154
7-12歳	1	0	0	0	1	4	3	3	1	11	62	44	48	11	165	67	47	51	12	177
13-15歳	0	0	0	0	0	3	1	1	0	5	34	27	19	7	87	37	28	20	7	92
16-19歳	6	1	2	0	9	11	8	10	1	30	152	94	84	18	348	169	103	96	19	387
20-24歳	13	2	2	0	17	18	16	7	0	41	394	231	172	51	848	425	249	181	51	906
25-29歳	10	1	2	0	13	17	3	8	6	34	424	258	215	51	948	451	262	225	57	995
30-34歳	3	3	1	0	7	23	15	6	1	45	413	303	227	57	1,000	439	321	234	58	1,052
35-39歳	3	5	1	0	9	27	15	13	1	56	461	324	264	55	1,104	491	344	278	56	1,169
40-44歳	5	3	2	0	10	23	14	7	2	46	475	336	277	59	1,147	503	353	286	61	1,203
45-49歳	10	6	0	1	17	51	23	13	5	92	520	425	300	68	1,313	581	454	313	74	1,422
50-54歳	8	8	1	0	17	29	18	23	1	71	411	320	278	59	1,068	448	346	302	60	1,156
55-59歳	12	0	2	0	14	27	24	21	3	75	344	239	198	26	807	383	263	221	29	896
60-64歳	12	2	2	0	16	33	16	9	1	59	246	176	150	39	611	291	194	161	40	686
65-69歳	8	2	3	2	15	31	16	16	1	64	222	141	123	35	521	261	159	142	38	600
70-74歳	9	3	2	0	14	30	11	11	3	55	163	142	116	31	452	202	156	129	34	521
75-79歳	4	9	3	0	16	23	10	15	2	50	113	71	64	13	261	140	90	82	15	327
80-84歳	13	4	3	0	20	24	7	9	2	42	63	40	42	9	154	100	51	54	11	216
85-89歳	4	2	2	1	9	11	5	4	2	22	22	25	10	2	59	37	32	16	5	90
90-94歳	2	0	3	1	6	4	2	1	2	9	9	2	2	1	14	15	4	6	4	29
95歳以上	1	0	0	0	1	2	0	0	1	3	1	0	0	0	1	4	0	0	1	5
合計	124	51	31	5	211	394	207	177	36	814	4,592	3,231	2,636	599	11,058	5,110	3,489	2,844	640	12,083

(4) 事業用貨物自動車の年齢別死傷者数の構成率 (令和2年)

令和2年の年齢別死傷者数の構成率は、死者では、80-84歳9.5%、20-24歳、45-49歳及び50-54歳が各8.1%、60-64歳及び75-79が歳各7.6%となっています。

一方、重傷者では、45-49 歳 11.3%、55-59 歳 9.2%、50-54 歳 8.7%となっています。 また、軽傷者では、45-49 歳 11.9%、40-44 歳 10.4%、35-39 歳 10.0%となっています。

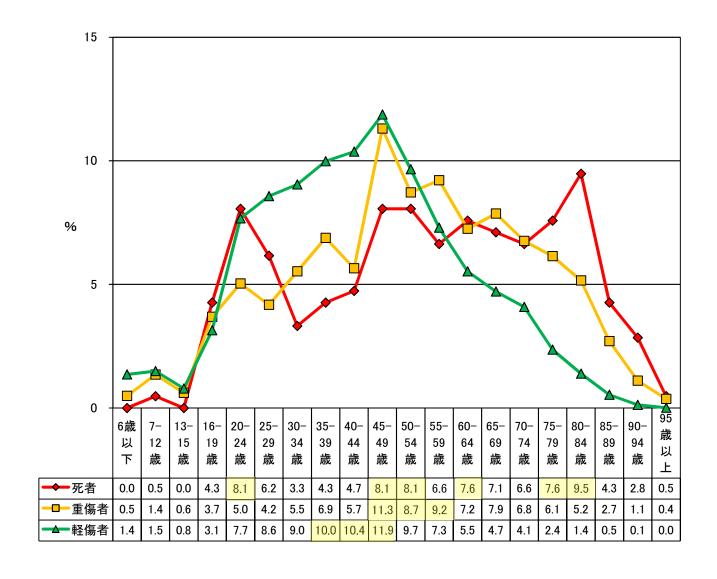


図 17-2 年齢別死傷者数の構成率(令和2年)

(5) 事業用貨物自動車の死者数の推移(平成23-令和2年)

事業用貨物自動車の死者数全体の推移は、増減しながら概ね減少傾向にあり、平成 28 年以降は 300 人を下回っています。

第2当事者別でみると、比較的顕著な減少傾向にあるのは対歩行者で、平成24年の143人をピークに平成30年には83人まで減少し、令和元年は106人と増加していますが、令和2年には再び76人まで減少しています。

										(人)
年 第2当事者	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02
乗用車	51	48	41	30	33	31	30	36	21	16
貨物車	57	52	53	51	41	36	41	31	20	29
二輪車	37	38	37	28	25	29	27	27	19	28
対自転車	78	57	73	74	59	53	47	62	51	43
対歩行者	119	143	124	121	112	89	91	83	106	76
物件	10	28	14	23	20	15	22	12	16	10
その他	16	23	22	13	22	17	22	9	12	9
合計	368	389	364	340	312	270	280	260	245	211

表 17-4 事業用貨物自動車の死者数の推移(平成 23-令和 2 年)

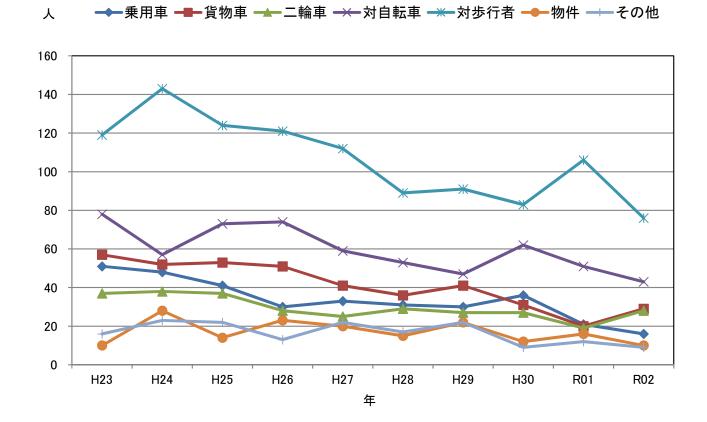


図 17-3 事業用貨物自動車の死者数の推移(平成 23-令和 2年)

^{※ 「}第2当事者」は、表17-1の項目とする。

^{※ 「}その他」は、特殊車、路面電車、列車、駐車車両(運転者不在)、相手なし、不明の合計とする。

(6) 事業用貨物自動車の対歩行者・対自転車の年齢別死者数(令和2年)

令和2年の対歩行者と対自転車の年齢別死者数は、対歩行者の年齢別でみると、第1当事者種別では、大型は70-74歳及び80-84歳が各6人、65-69歳5人、中型は、50-54歳及び75-79歳が各3人、準中型は、65-69歳、75-79歳及び90-94歳が各3人、普通は、45-49歳、85-89歳及び90-94歳が各1人となり、高齢者が多くなっています。

対自転車の年齢別でみると、大型では、55-59 歳 5 人、中型では、70-74 歳 3 人、準中型では、60-64 歳及び80-84 歳が各 1 人となっています。

											(人)
第2当事者			対歩行者					対自転車			
第1当事者年齢(第2当事者)	大型	中型	準中型	普通	小計	大型	中型	準中型	普通	小計	合計
6歳以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-12歳	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1
13-15歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16-19歳	0	0	1	0	1	4	0	0	0	4	5
20-24歳	3	1	1	0	5	1	0	0	0	1	6
25-29歳	2	1	1	0	4	2	0	0	0	2	6
30-34歳	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
35-39歳	0	2	1	0	3	1	0	0	0	1	4
40-44歳	1	2	1	0	4	2	0	0	0	2	6
45-49歳	1	0	0	1	2	2	1	0	0	3	5
50-54歳	2	3	0	0	5	2	1	0	0	3	8
55-59歳	2	0	1	0	3	5	0	0	0	5	8
60-64歳	2	1	1	0	4	1	0	1	0	2	6
65-69歳	5	0	3	0	8	0	1	0	0	1	9
70-74歳	6	0	2	0	8	3	3	0	0	6	14
75-79歳	1	3	3	0	7	1	2	0	0	3	10
80-84歳	6	2	1	0	9	4	1	1	0	6	15
85-89歳	1	2	2	1	6	2	0	0	0	2	8
90-94歳	1	0	3	1	5	1	0	0	0	1	6
95歳以上	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
合計	35	17	21	3	76	32	9	2	0	43	119

表 17-5 対歩行者・対自転車の年齢別死者数(令和2年)



図 17-4 対歩行者・対自転車の年齢別死者数(令和2年)

付 録

- 付録 1. 都道府県別の死傷事故件数(令和2年)
- 付録 2. 事業用自動車の第1当事者種別・都道府県別の死傷事故件数(令和2年)
- 付録 3. 事業用自動車の第1当事者種別・法令違反別の死傷事故件数(令和2年)
- 付録 4. 事業用自動車の第1当事者種別・管轄運輸支局(車籍)別の死傷事故件数(令和2年)
- 付録 5. 事業用自動車の第1当事者種別・管轄運輸支局(車籍)別の死傷者数(令和2年)
- 付録 6. 交通事故発生状況の推移(平成5-令和2年)
- 付録 7. 事業用自動車の業態別死者数の推移(平成23―令和2年)
- 付録 8. 事業用自動車の業態別車両1万台当たりの死者数の推移(平成23--令和2年)
- 付録 9. 事業用自動車の業態別死傷事故件数の推移(平成23一令和2年)
- 付録10. 事業用自動車の業態別車両1万台当たりの死傷事故件数の推移(平成23―令和2年)
- 付録11. 事業用貨物自動車の車両総重量別車両1万台当たりの死亡事故件数(令和2年)
- 付録12. 事業用貨物自動車の車両総重量別車両1万台当たりの重傷・軽傷事故件数(令和2年)
- 付録13. 事業用自動車の運転者年齢別死亡事故の状況(平成23―令和2年)
- 付録14. 事業用自動車の運転者年齢別死傷事故の状況(平成23一令和2年)
- 付録15. 事業用貨物自動車の運転者年齢別・危険認知速度別死傷事故件数の構成率(令和2年)
- 付録16. 事業用貨物自動車の運転者年齢別・事故類型別死傷事故件数の構成率(令和2年)
- 付録17. 事業用貨物自動車の車両相互の事故類型詳細区分別の死傷事故件数(令和2年)
- 付録18. 事業用貨物自動車の対自転車事故の運転者年齢別・事故類型別死傷事故件数の構成率(令和2年)
- 付録19. 事業用貨物自動車の対自転車事故の状況
- 付録20. 事業用貨物自動車の対二輪車事故の状況
- 付録21. 事業用貨物自動車の対四輪車事故の状況
- 付録22. 事業用貨物自動車の車両単独事故の状況
- 付録23. 事業用貨物自動車の対歩行者事故の状況
- 付録24. 事業用貨物自動車を第1当事者とする管轄運輸支局(車籍)別の死亡事故件数及び死者数 (平成29-令和2年)
- 付録25. 事業用貨物自動車1万台当たりの死亡事故件数(車籍別)(令和元年-令和2年)

付録1 都道府県別の死傷事故件数(令和2年)

	区分		 死亡			重傷			軽傷				
都道	府県	件数(件)	増減数(件)	増減率(%)	件数(件)	増減数(件)	増減率(%)	件数(件)	増減数(件)	増減率(%)	件数(件)	増減数(件)	増減率(%)
北	札幌	78	1	1.3	539	-131	-19.6	5.170	-1.107	-17.6	5,787	-1,237	-17.6
	函館	12	4	50.0	68	-11	-13.9	431	-143	-24.9	511	-150	-22.7
海	旭川	16	-9	-36.0	96	-8	-7.7	605	-190	-23.9	717	-207	-22.4
	釧路	20	-8	-28.6	98	-22	-18.3	562	-52	-8.5	680	-82	-10.8
道	北見	10	0	0.0	38	6	18.8	155	-27	-14.8	203	-21	-9.4
	計	136	-12	-8.1	839	-166	-16.5	6,923	-1,519	-18.0	7,898	-1,697	-17.7
	青森	28	-9	-24.3	199	-53	-21.0	2,209	-293	-11.7	2,436	-355	-12.7
東	岩手	46	2	4.5	243	-56	-18.7	1,369	-256	-15.8	1,658	-310	-15.8
	宮城	44	-17	-27.9	463	-105	-18.5	3,980	-1,066	-21.1	4,487	-1,188	-20.9
	秋田	35	-4	-10.3	233	10	4.5	1,109	-143	-11.4	1,377	-137	-9.0
北	山形	30	-2	-6.3	332	-98	-22.8	2,966	-864	-22.6	3,328	-964	-22.5
	福島	54	-6	-10.0	401	-64	-13.8	2,811	-583	-17.2	3,266	-653	-16.7
	東京	154	24	18.5	1,196	-19	-1.6	24,292	-4,830	-16.6	25,642	-4,825	-15.8
	茨城	84	-21	-20.0	671	-81	-10.8	5,294	-1,296	-19.7	6,049	-1,398	-18.8
	栃木	59	-18	-23.4	489	2	0.4	3,391	-598	-15.0	3,939	-614	-13.5
関	群馬	43	-16	-27.1	266	-21	-7.3	8,957	-2,528	-22.0	9,266	-2,565	-21.7
	埼玉	118	-8	-6.3	1,705	-444	-20.7	15,292	-3,792	-19.9	17,115	-4,244	-19.9
	千葉	125	-42	-25.1	1,371	-194	-12.4	11,377	-3,367	-22.8	12,873	-3,603	-21.9
	神奈川	137	5	3.8	1,186	-118	-9.0	19,307	-2,551	-11.7	20,630	-2,664	-11.4
	新潟	62	-27	-30.3	664	-75	-10.1	2,350	-306	-11.5	3,076	-408	-11.7
東	山梨	21	-3	-12.5	264	-42	-13.7	1,861	-812	-30.4	2,146	-857	-28.5
	長野	46	-17	-27.0	493	-99	-16.7	4,263	-1,363	-24.2	4,802	-1,479	-23.5
	静岡	105	7	7.1	1,027	-79	-7.1	19,535	-4,363	-18.3	20,667	-4,435	-17.7
	富山	26	-8	-23.5	265	-34	-11.4	1,701	-319	-15.8	1,992	-361	-15.3
中	石川	40	10	33.3	246	-31	-11.2	1,739	-362	-17.2	2,025	-383	-15.9
	福井	38	7	22.6	150	-66	-30.6	680	-241	-26.2	868	-300	-25.7
	岐阜	42	-39	-48.1	397	-47	-10.6	2,613	-959	-26.8	3,052	-1,045	-25.5
部	愛知	150	-3	-2.0	728	-95	-11.5	24,001	-5,859	-19.6	24,879	-5,957	-19.3
	三重	71	-3	-4.1	450	-71	-13.6	2,445	-607	-19.9	2,966	-681	-18.7
	滋賀	49	-5	-9.3	329	-53	-13.9	2,515	-696	-21.7	2,893	-754	-20.7
近	京都	49	-6	-10.9	869	-85	-8.9	3,200	-974	-23.3	4,118	-1,065	-20.5
	大阪	122	-7	-5.4	2,645	-328	-11.0	22,776	-5,036	-18.1	25,543	-5,371	-17.4
	兵庫	109	-26	-19.3	1,173	-172	-12.8	16,070	-5,346	-25.0	17,352	-5,544	-24.2
畿	奈良	25	-9	-26.5	415	-53	-11.3	2,350	-476	-16.8	2,790	-538	-16.2
	和歌山	18	-15	-45.5	302	-79	-20.7	1,265	-180	-12.5	1,585	-274	-14.7
中	鳥取	17	-13	-43.3	85	-53	-38.4	526	-111	-17.4	628	-177	-22.0
	島根	18	-6	-25.0	158	-60	-27.5	561	-124	-18.1	737	-190	-20.5
	岡山	61	-12	-16.4	488	-8	-1.6	3,739	-382	-9.3	4,288	-402	-8.6
	広島	70	-2	-2.8	794	-168	-17.5	3,915	-1,308	-25.0	4,779	-1,478	-23.6
国	山口	41	-3	-6.8	427	-96	-18.4	2,173	-469	-17.8	2,641	-568	-17.7
四	徳島	20	-19	-48.7	302	-24	-7.4	1,843	-307	-14.3	2,165	-350	-13.9
	香川	57	12	26.7	259	19	7.9	3,406	-846	-19.9	3,722	-815	-18.0
_	愛媛	48	7	17.1	572	19	3.4	1,784	-433	-19.5	2,404	-407	-14.5
国	高知	34	3	9.7	256	-84	-24.7	973	-212	-17.9	1,263	-293	-18.8
\lfloor , \rfloor	福岡	91	-2	-2.2	701	-185	-20.9	20,703	-5,254	-20.2	21,495	-5,441	-20.2
九	佐賀	30	-4	-11.8	115	-49	-29.9	3,613	-1,229	-25.4	3,758	-1,282	-25.4
	長崎	34	1	3.0	296	-44	-12.9	2,657	-929	-25.9	2,987	-972	-24.6
	熊本	45	-24	-34.8	522	-82	-13.6	2,585	-846	-24.7	3,152	-952	-23.2
	大分	42	1	2.4	261	-34	-11.5	2,134	-567	-21.0	2,437	-600	-19.8
اا	宮崎	35	-4	-10.3	285	-66	-18.8	4,806	-1,425	-22.9	5,126	-1,495	-22.6
州	鹿児島	53	-3	-5.4	551	-88	-13.8	3,466	-610	-15.0	4,070	-701	-14.7
Ш	沖縄	22	-13	-37.1	365	-103	-22.0	2,421	-1,151	-32.2	2,808	-1,267	-31.1
	合計	2,784	-349	-11.1	26,448	-3,922	-12.9	279,946	-67,788	-19.5	309,178	-72,059	-18.9

付録2 事業用自動車の第1当事者種別・都道府県別の死傷事故件数(令和2年)

_	ᄷᇻᄬᆂᆂᄄᄜ					事 第	······					<u>(件)</u>
	第1当事者種別			3 亩			- 円	貨物車				事業用
都違	直府県 一	バス	マイクロバス	ハイタク	小計	大型	中型	準中型	普通	小計	トレーラ	合計
北	札幌	21	0	348	369	93	<u> </u>	20	11	163	37	532
70	函館	2	0	19	21	8	4	5	0	17	1	38
海	旭川	3	0	27	30	13	3	2	0	18	7	48
/14	釧路	4	0	14	18	7	3	5	0	15	3	33
道	北見	0	0	3	3	4	0	0	0	4	1	7
ᄺ	計	30	0	411	441	125	49	32	11	217	49	658
	青森	7	1	30	38	26	8	5	1	40	2	78
東	岩手	7	0	33	40	22	12	11	2	47	4	87
	宮城	8	1	103	112	68	31	20	6	125	9	237
	秋田	0	1	8	9	12	8	6	0	26	0	35
北	山形	2	0	12	14	20	16	6	3	45	1	59
	福島	6	0	29	35	50	22	13	5	90	10	125
	東京	153	11	1,925	2,089	259	238	448	151	1,096	123	3,185
	茨城	3	2	30	35	88	68	34	8	198	27	233
	栃木	5	0	24	29	56	26	12	2	96	10	125
関	群馬	8	0	39	47	86	64	25	7	182	16	229
	埼玉	36	3	254	293	268	247	191	46	752	56	1,045
	千葉	38	3	189	230	168	132	106	25	431	29	661
	神奈川	113	0	599	712	233	177	235	49	694	43	1,406
	新潟	8	0	24	32	21	16	10	3	50	3	82
東	山梨	0	0	7	7	18	11	7	0	36	2	43
	長野	2	5	33	40	58	37	20	6	121	11	161
	静岡	21	1	172	194	287	155	95	10	547	49	741
	富山	1	0	7	8	20	13	4	2	39	2	47
中	石川	6	0	26	32	18	15	4	3	40	3	72
	福井	1	1	6	8	14	7	2	1	24	3	32
	岐阜	3	1	17	21	42	23	12	1	78	10	99
部	愛知	40	3	369	412	367	242	119	45	773	59	1,185
	三重	1	0	9	10	62	37	20	2	121	15	131
	滋賀	6	0	15	21	70	33	28	3	134	12	155
近	京都	68	1	198	267	40	47	43	4	134	2	401
	大阪	55	2	995	1,052	365	296	314	73	1,048	69	2,100
	兵庫	50	3	323	376	243	169	141	28	581	57	957
畿	奈良	5	1	16	22	27	23	15	2	67	6	89
_	和歌山	0	1	18	19	15	9	7	0	31	3	50
中	鳥取	0	0	4	4	5	0	5	0	10	1	14
	島根	1	0	1	2	11	1	5	0	17	0	19
	岡山	6	1	42	49	66	43	13	3	125	6	174
ᆰ	広島	11	1	114	126 54	66	48	29 7	1	144 87	11	270
国四	山口 徳島	12	0	41 21	23	63 19	16 6	11	0	36	9	141 59
띱	福島 香川	2	0	32	34	54	30	20	1	105	5	139
	查川 愛媛	1	1	33	35	21	15	8	2	46	7	81
玉	変媛 高知	4	0	21	25	7	8	2	2	19	2	44
	福岡	60	0	730	790	268	170	100	18	556	20	1,346
九	佐賀	12	1	21	34	43	27	14	1	85	9	119
, r	長崎	18	5	88	111	24	13	13	0	50	1	161
	熊本	8	0	58	66	36	23	18	5	82	10	148
	大分	1	0	25	26	38	12	9	2	61	6	87
	宮崎	7	0	66	73	44	10	7	5	66	11	139
州	鹿児島	12	2	74	88	44	13	12	3	72	7	160
/ ''	沖縄	9	0	142	151	13	5	3	4	25	0	176
	合計	849	53	7,434	8,336	3,970	2,671	2,261	547	9,449	790	17,785

[※] 軽自動車及びミニカーを除く。

[※] バスは、乗車定員30人以上、マイクロバスは、乗車定員11以上30人未満、ハイタクは、ミニバン・セダン等。

[※] トレーラは、貨物車(大型、中型、準中型及び普通)の内数。

付録3 事業用自動車の第1当事者種別・法令違反別の死傷事故件数(令和2年)

	√ 第1当事者種別				事 業 用							
			乗り	用車				貨物耳	ī			事業用
法 *	令違反	バス	マイクロ バス	ハイタク	小計	大型	中型	準中型	普通	小計	トレーラ	合計
	信号無視	13	1	205	219	162	107	74	21	364	31	583
	通行区分	3	_	10	13	16	11	9	2	38	4	51
	最高速度	1	-	3	4	16	4	3	1	24	7	28
車	横断転回後退	4	-	77	81	26	18	32	4	80	8	161
	車間距離不保持	3	_	9	12	26	13	8	2	49	6	61
	追越し	3	_	7	10	46	22	10	1	79	9	89
	踏切不停止	_	-	-	_	-	_	_	-	_	_	_
	右折	1	_	16	17	10	4	3	1	18	1	35
両	左折	4	-	35	39	26	14	9	3	52	6	91
	環状交差点違反	_	-	-	_	-	_	_	-	_	_	_
	優先通行妨害	8	-	131	139	40	32	24	5	101	11	240
	交差点安全進行	28	2	690	720	130	84	132	40	386	28	1,106
の	歩行者妨害等	34	3	379	416	80	58	45	17	200	10	616
	徐行	1	1	60	62	1	_	15	1	17	2	79
	一時不停止	2	2	266	270	12	28	39	13	92	2	362
	整備不良	_	_	-	_	6	_	_	_	6	1	6
運	酒酔い	_	_	_	-	-	_	-	-	_	_	-
	過労運転	1	_	9	10	3	5	4	1	13	2	23
	薬物運転		_	1	1	_	1	-	_	1	_	2
	安運転操作	145	4	482	631	235	165	115	32	547	52	1,178
	全前方 漫然	28	2	289	319	398	324	243	31	996	72	1,315
転	運 不注意 脇見	43	7	667	717	646	566	422	86	1,720	133	2,437
	転動静不注視	131	8	494	633	609	427	309	66	1,411	122	2,044
	義安全不確認	246	16	3,008	3,270	1,246	656	651	194	2,747	235	6,017
	務安全速度	10	3	11	24	23	13	5	-	41	7	65
者	その他	116	4	219	339	64	50	51	6	171	16	510
	その他の違反	24	_	364	388	147	66	58	20	291	25	679
	不明			2	2	2	3	_	_	5	_	7
	合計	849	53	7,434	8,336	3,970	2,671	2,261	547	9,449	790	17,785

[※] 軽自動車及びミニカーを除く。

[※] バスは、乗車定員30人以上、マイクロバスは、乗車定員11以上30人未満、ハイタクは、ミニバン・セダン等。

[※] トレーラは、貨物車(大型、中型、準中型及び普通)の内数。

付録4 事業用自動車の第1当事者種別・管轄運輸支局(車籍)別の死傷事故件数(令和2年)

_	_	、 区分		死	Ċ	1		重	傷			軽	傷		T	合 計	(件)
運	輸3	を局等へ	バス	ハイタク	トラック	小 計	バス	ハイタク	トラック	小 計	バス	ハイタク	トラック	小 計	バス	ハイタク	トラック
		幌	0		6	6	3	16	20	39	16		122	462	19		148
بالد	Ι.	館	0	0	2	2	2	1	5	8	0		13	31	2		20
北海	#		0		2	2	1	1	6 2	4	2	5 5	25 8	32 14	2	6	32 12
道	釧		0	0	1	1	1	3	2	6	1	5	4	10	_	8	7
		見	0	o	0	0	0	1	0	1	0	2	3	5	0	3	3
	旭	. JII	0	0	2	2	0	1	1	2	2	26	17	45	2	27	20
	小	計	0	1	14	15	7	24	36	67	22	385	192	599	29	410	242
		城	0		5	5	0	12	16	28	7		105	202	7		126
東		島	0	0	3	3	1	1	10	12	5		91	124	6		104
北		手森	0	'	2	3	2	2	6 2	10 3	6 8		40 50	74 86	8		48 54
4		形	0		2	2	0	0	7	7	2		43	57	2		52
		田	0	0	2	2	0	3	4	7	1	5	23	29	1	8	29
	小	計	0	2	16	18	3	19	45	67	29	191	352	572	32	212	413
北	'	潟	0	0	1	1	2	7	12	21	6		58	81	8	24	71
陸信		野	0		2	2	1	3	17	21	5		92	128	6		111
越		川 山	0		3 0	3 0	2	1 0	10 1	13 1	4	25 8	48 41	77 50	6	26 8	61 42
		計	0		6	6	5	11	40	56	16		239	336	21	92	285
		京	3		8	13	16	69	43	128	142		678	2,657	161	1,908	729
		奈川	2	О	9	11	10	27	24	61	100		567	1,227	112		600
関		葉	1	2	11	14	8	18	47	73	32	166	424	622	41	186	482
	琦	玉	0		9	9	4	24	49	77	34		779	1,032	38		837
東		城馬	0	0	8	8	2	4	33	39	6 7		222	254	8		263
	1	木	1	0	5 5	5 6	0	5	22 15	24 20	4		191 99	234 123	8 5		218 119
		梨	0		1	1	0	1	4	5	0		41	47	0		46
		計	7	4	56	67	41	149	237	427	325	2,870	3,001	6,196	373	3,023	3,294
	愛	知	0	2	9	11	1	3	24	28	40	360	688	1,088	41	365	721
中	静	岡	0	1	7	8	2	8	19	29	19	163	447	629	21	172	473
部		阜	0	0	3	3	1	1	9	11	4		104	124	5		116
		重井	0		3 0	4 0	1	1 0	11 2	13 3	2	6	120 34	128 41	3	8	134 36
	-	計	0		22	26	6	13	65	84	66		1,393	2,010	72	568	1,480
		阪	0		24	25	4	82	100	186	54		962	1,921	58		1,086
٠.	京	都	0	o	4	4	9	37	28	74	57	162	169	388	66	199	201
近	共		0	1	6	7	5	17	30	52	48	307	388	743	53	325	424
畿		賀	0	0	5	5	1	0	7	8	4		67	85	5		79
		良	1 0	0	2	3	2	2 5	7 8	11 13	2		74 57	87 72	5	13 18	83
		歌山	1		42	45	21	143	180	344	167		1,717	3,296	189		1,939
	-	島	0	0	5	5	1	16	27	44	12		122	233			154
中	鳥	取	0	0	1	1	0	0	4	4	1	4	18	23	1	4	23
匤		根	0		2	2	1	0	0	1	0		12	13		1	14
_	一一一	山	0		4	4	2	2	15	19	5		122	166			141
		計	0		2 14	2 14	5 9	4 22	10 56	19 87	8 26		50 324	95 530	13 35		62 394
-	香	- AT - JII	0			2	1	1	12	14	3		109	143			123
匹		島	0		4	4	0	3	5	8	2		40	60			49
匤		媛	0	o	2	2	1	4	10	15	1		35	58			47
		知	0		2	2	3	4	5	12	1		18	37			25
-		計	0		10	10	5	12	32	49	7		202	298	12		244
	1	岡 賀	0		11 4	13	3	21 0	29	53 6	56 13			1,266			551 91
九		崎	0		1	4 1	2	10	6 4	6 16	21	78	81 50	116 149			55
	能	本	1	o		2	1	13	14	28	7		90	143			105
州		分	0	1	3	4	0	5	5	10	1			76		26	63
	宮	崎	1	О	1	2	0	4	4	8	6	62	63	131	7	66	68
		児島	0		3	3	1	9	13	23	13		74	151	14		90
H		計	2			29	7	62	75	144	117		924	2,032	126		1,023
-		明	0			3	<u>3</u>	19 7	5 13	27 20	<u>6</u>		20 94	149 162	9		25 110
		計	10				107	481	784	1,372	785		8,458	16,180	902		9,449
_		ПI	10	10	207	233	107	401	/04	1,372	/60	0,837	0,408	10,180	902	1,434	5,449

[※] 軽自動車及びミニカーを除く。

[※] バスは、バス及びマイクロバス、ハイタクは、ミニバン・セダン等、トラックは、貨物車。

付録5 事業用自動車の第1当事者種別・管轄運輸支局(車籍)別の死傷者数(令和2年)

_	_	_ 区分		死	Ė			重	傷			軽	傷		<u> </u>	合 計	(人)
運	輸送	支局等 (バス	ハイタク	トラック	小 計	バス	ハイタク	トラック	小 計	バス	ハイタク	トラック	小 計	バス	ハイタク	トラック
	札	. 幌	0	0	6	6	3	17	20	40	16	367	145	528	19	384	171
	逖	館	0	О	2	2	2	1	6	9	1	27	17	45	3	28	25
北	室	蘭	0	1	1	2	0	1	6	7	2	5	31	38	2	7	38
海	帯	広	0	0	2	2	1	2	3	6	1	9	11	21	2	11	16
道	釧	路	0	О	1	1	1	5	2	8	1	7	4	12	2	12	7
	北	見	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2	3	5	0	3	3
	旭	. Л	0	0	2	2	0	1	2	3	2	27	24	53	2	28	28
	小	計	0	1	14	15	7	28	39	74	23	444	235	702	30	473	288
	宮	城	0	0	5	5	0	12	16	28	8	116	143	267	8	128	164
	福	島	0	0	3	3	1	1	13	15	5	32	122	159	6	33	138
東		手	0	1	2	3	2	2	8	12	6	34	51	91	8	37	61
北	青	森	0	1	2	3	0	1	2	3	8	34	65	107	8	36	69
	山	形	0	0	2	2	0	0	7	7	2	13	55	70	2	13	64
	秋	田	0	0	2	2	0	3	4	7	6	5	37	48	6	8	43
	小	計	0	2	16	18	3	19	50	72	35	234	473	742	38	255	539
北	新	澙	0	0	1	1	2	7	13	22	7	19	71	97	9	26	85
陸	長	野	0	o	2	2	1	3	17	21	6	35	125	166	7	38	144
信	1	Ш	О	О	3	3	2	1	10	13	6		62	96	8	29	75
越	富		0	0	0	0	0	0	1	1	1	10	60	71	1	10	61
L		計	0	0	6	6	5	11	41	57	20		318	430	25		365
		京	3	2	8	13	16	71	43	130	167		853	3,062	186		904
	神	奈川	2	О	9	11	10	29	24	63	113	646	730	1,489	125	675	763
_	1	葉	1	2	11	14	10	19	49	78	51	195	536	782	62	216	596
関	埼	玉	0	0	9	9	4	24	49	77	35	258	1,053	1,346	39	282	1,111
東	茨	城	0	0	8	8	2	4	35	41	8	31	297	336	10	35	340
	群	馬	0	О	5	5	1	1	23	25	8	46	248	302	9	47	276
	栃	木	1	0	5	6	0	5	16	21	4	28	139	171	5	33	160
	山	梨	0	0	1	1	0	1	4	5	0	7	59	66	0	8	64
	小	計	7	4	56	67	43	154	243	440	386	3,253	3,915	7,554	436	3,411	4,214
	愛	知	0	2	9	11	1	3	24	28	43	432	895	1,370	44	437	928
中	静	岡	0	1	7	8	2	9	21	32	23	197	589	809	25	207	617
ψn	岐	阜	0	О	3	3	1	1	10	12	4	20	141	165	5	21	154
部	Ξ	. 重	0	1	4	5	1	1	11	13	3	7	178	188	4	9	193
	褔	井	0	0	0	0	1	0	2	3	1	7	40	48	2	7	42
	//\	計	0	4	23	27	6	14	68	88	74	663	1,843	2,580	80	681	1,934
	大	: 阪	0	1	26	27	4	82	103	189	66	1,057	1,224	2,347	70	1,140	1,353
近		都	0	0	4	4	9	39	28	76	70	175	218	463	79	214	250
1/1	兵	庫	0	1	6	7	5	17	32	54	52	357	513	922	57	375	551
畿	1	賀	0	0	5	5	1	0	7	8	5	14	87	106	6	14	99
	奈	良	1	0	2	3	2	2	7	11	6	12	106	124	9	14	115
	和	歌山	0	0	1	1	0	5	8	13	3		73	95	3	24	82
-		計	1	2	44	47	21	145	185	351	202	1,634	2,221	4,057	224	1,781	2,450
		島	0	0	5	5	1	17	27	45	13		169	295	14	130	201
中	l	取	0	0	1	1	0	0	6	6	2		20	26	2	4	27
国		根	0	0	2	2	1	0	1	2	0		16	17			19
Γ	一一	山	0	0	4	4	2	2	16	20	5			202			172
	_		0	0	2	2	5	4	11	20	10		64	118	15		77
\vdash		計	0	0	14	14	9	23	61	93	30		421	658	39		496
四		Ш	0	0	2	2	1	1	12	14	8		143	189			157
	德	島	0	0	4	4	0	4	5	9	2		54	77	2		63
国	1	. 媛	0	0	2	2	1	4	10	15	2		40	69			52
		知 = 1	0	0	2	2	3	4	5	12	1		21	43	4		28
\vdash		計	0	0	10	10	5	13	32	50	13		258	378	18		300
		岡	0	2	11	13	3	22	30	55	66		657	1,580	69		698
١.	I _	貨	0	0	5	5	0	0	6	6	15		113	154			124
九		: 崎	0	0	1	1	2	11	4	17	33		67	188			72
州		本	1	0	1	2	1	13	14	28	7			191	9		139
1		分	0	1	3	4	0	5	5	10	1		79	108		34	87
		崎	1	0	1	2	0	4	4	8	6		79	150	7		84
		児島	0	0	3	3	2	9	14	25	15		100	187	17		117
\vdash		計	2	3	25	30	8	64	77	149	143		1,219	2,558	153		1,321
\vdash		2 縄	0	0	0	0	3	20	5	28	9	i e	27	168	12		32
-		明	0	0	3	3	0	7	13	20	4		128	213	4		144
	台	計	10	16	211	237	110	498	814	1,422	939	8,043	11,058	20,040	1,059	8,557	12,083

[※] 軽自動車及びミニカーを除く

[※] バスは、バス及びマイクロバス、ハイタクは、ミニバン及びセダン等、トラックは、貨物車。

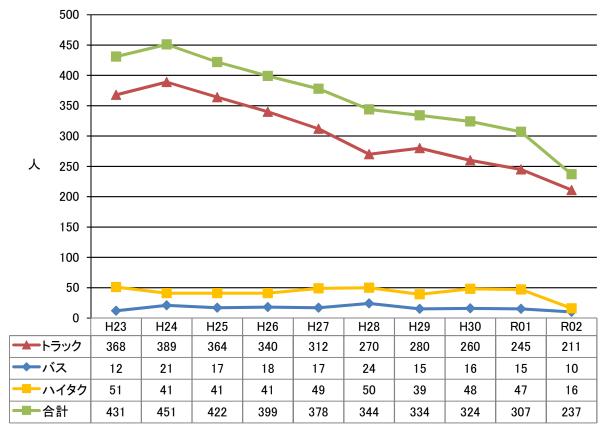
[※] 死傷者数とは、事業用自動車が第1当事者となった事故における全当事者数をいう。

付録6 交通事故発生状況の推移(平成5-令和2年)

事故状況		全体					自動車		
	事故件数	死者数	負傷者数	事故件数	女(件)	死者数	女(人)	負傷者	数(人)
年	(件)	(人)	(人)	事業用	自家用	事業用	自家用	事業用	自家用
平成5年	724,678	10,945	878,633	24,258	77,740	708	1,074	31,281	93,211
平成6年	729,461	10,653	881,723	26,114	78,910	750	1,042	33,884	94,482
平成7年	761,794	10,684	922,677	27,840	82,551	800	1,125	35,984	99,112
平成8年	771,085	9,943	942,204	28,102	80,633	762	980	36,716	97,948
平成9年	780,401	9,642	958,925	28,453	79,063	710	954	37,361	96,147
平成10年	803,882	9,214	990,676	28,086	77,580	728	902	36,957	94,516
平成11年	850,371	9,012	1,050,399	29,721	80,294	715	896	39,630	98,544
平成12年	931,950	9,073	1,155,707	32,953	84,938	763	801	43,960	104,756
平成13年	947,253	8,757	1,181,039	33,292	83,530	690	820	44,669	103,559
平成14年	936,950	8,396	1,168,029	32,162	79,297	688	735	43,138	98,481
平成15年	948,281	7,768	1,181,681	32,492	78,786	657	691	43,726	97,801
平成16年	952,720	7,436	1,183,617	32,403	76,464	637	622	43,460	94,962
平成17年	934,346	6,937	1,157,113	32,000	73,446	632	571	42,656	90,986
平成18年	887,267	6,415	1,098,564	30,328	68,005	557	519	40,328	84,300
平成19年	832,704	5,796	1,034,652	27,356	61,829	534	506	36,316	77,224
平成20年	766,394	5,209	945,703	24,222	55,315	428	430	31,852	68,608
平成21年	737,637	4,979	911,215	20,681	49,851	387	371	27,049	62,133
平成22年	725,924	4,948	896,297	21,049	48,747	402	412	27,897	60,605
平成23年	692,084	4,691	854,613	20,568	46,826	368	386	27,282	58,427
平成24年	665,157	4,438	825,392	19,474	43,978	389	316	25,739	55,825
平成25年	629,033	4,388	781,492	18,491	41,172	364	289	24,599	51,903
平成26年	573,842	4,113	711,374	17,801	37,502	340	328	23,662	47,720
平成27年	536,899	4,117	666,023	16,156	34,719	312	257	21,366	44,468
平成28年	499,201	3,904	618,853	14,600	32,197	270	277	19,165	41,186
平成29年	472,165	3,694	580,850	14,217	30,290	280	236	18,611	38,239
平成30年	430,601	3,532	525,846	13,428	28,117	260	251	17,508	35,278
令和元年	381,237	3,215	461,775	11,629	24,950	245	223	15,038	31,237
令和2年	309,178	2,839	369,476	9,449	20,255	211	219	11,872	24,923

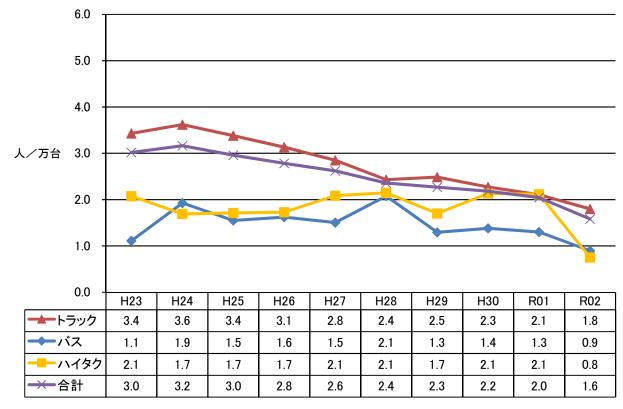
[※]貨物自動車は、軽自動車を除く。

付録7 事業用自動車の業態別死者数の推移(平成23-令和2年)



[※] 軽自動車及びミニカーを除く

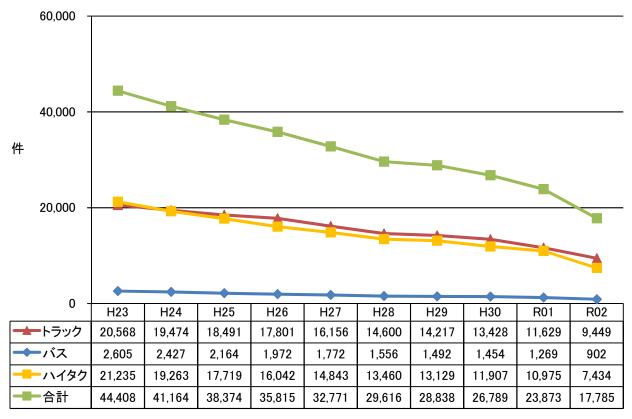
付録8 事業用自動車の業態別車両1万台当たりの死者数の推移(平成23-令和2年)



[※] 軽自動車及びミニカーを除く

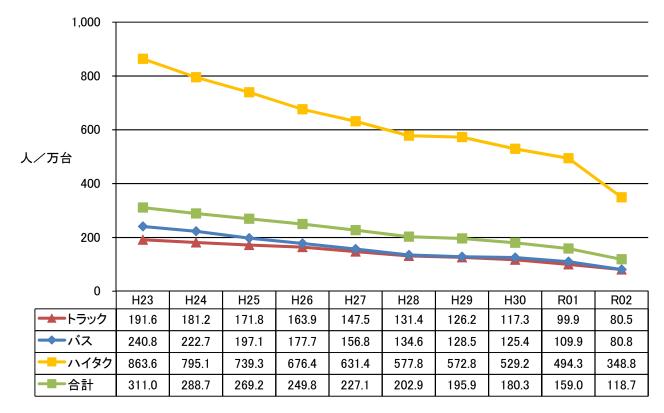
[※] 算出には、一般財団法人自動車検査登録情報協会の「自動車保有車両数(令和元年12月末現在)」を使用した。

付録9 事業用自動車の業態別死傷事故件数の推移(平成23-令和2年)



[※] 軽自動車及びミニカーを除く

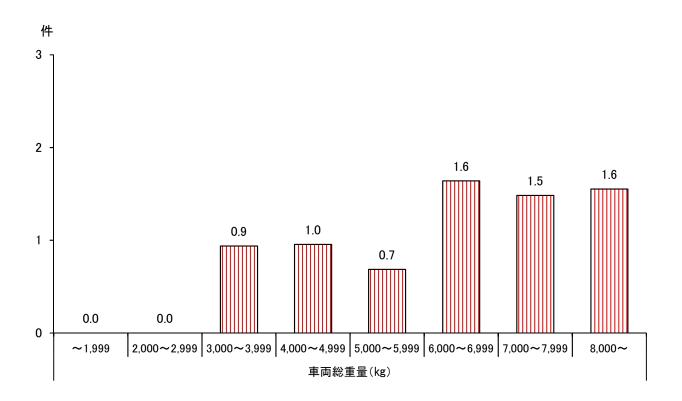
付録10 事業用自動車の業態別車両1万台当たりの死傷事故件数の推移(平成23-令和2年)



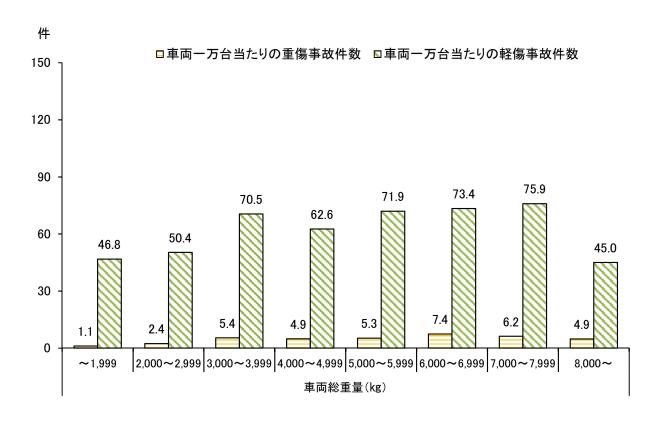
[※] 軽自動車及びミニカーを除く

[※] 算出には、一般財団法人自動車検査登録情報協会の「自動車保有車両数(令和元年12月末現在)」を使用した。

付録11 事業用貨物自動車の車両総重量別車両1万台当たりの死亡事故件数(令和2年)



付録12 事業用貨物自動車の車両総重量別車両1万台当たりの重傷・軽傷事故件数(令和2年)



付録13 事業用自動車の運転者年齢別死亡事故の状況(平成23-令和2年)

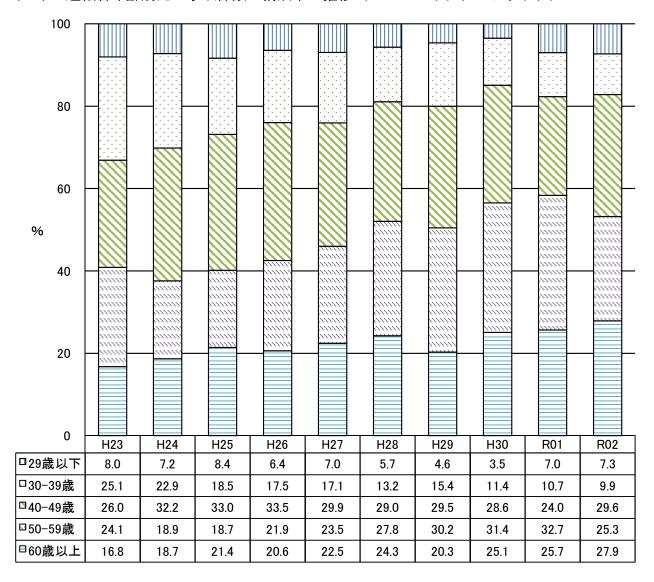
(1-1) 運転者年齢別死亡事故件数の推移(バス・ハイタク・トラック)

(件)

						(117
運転者年齢年	29歳以下	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60歳以上	合計
H23	33	103	107	99	69	411
H24	31	98	138	81	80	428
H25	34	75	134	76	87	406
H26	25	68	130	85	80	388
H27	26	64	112	88	84	374
H28	18	42	92	88	77	317
H29	15	50	96	98	66	325
H30	11	36	90	99	79	315
R01	21	32	72	98	77	300
R02	17	23	69	59	65	233

※ 軽自動車及びミニカーを除く

(1-2) 運転者年齢別死亡事故件数の構成率の推移(バス・ハイタク・トラック)



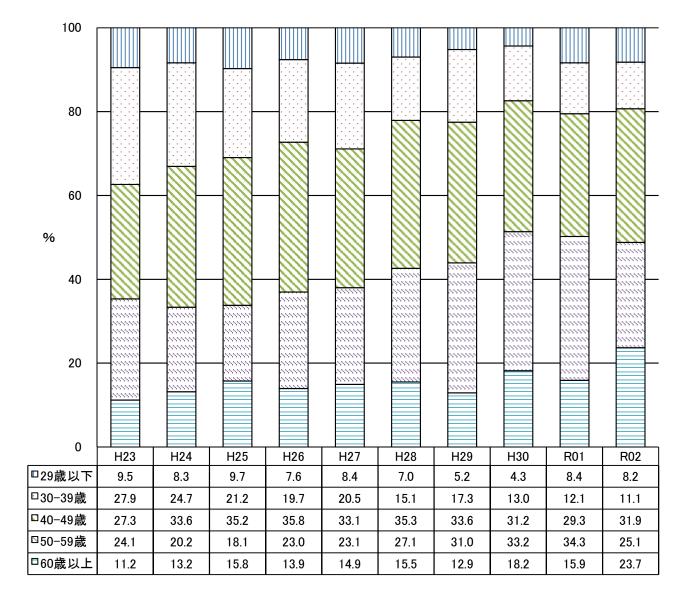
(2-1) 運転者年齢別死亡事故件数の推移 (トラック)

(件)

運転者年齢 年	29歳以下	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60歳以上	合計
H23	33	97	95	84	39	348
H24	31	92	125	75	49	372
H25	34	74	123	63	55	349
H26	25	65	118	76	46	330
H27	26	63	102	71	46	308
H28	18	39	91	70	40	258
H29	14	47	91	84	35	271
H30	11	33	79	84	46	253
R01	20	29	70	82	38	239
R02	17	23	66	52	49	207

※ 軽自動車を除く

(2-2) 運転者年齢別死亡事故件数の構成率の推移(トラック)



付録14 事業用自動車の運転者年齢別死傷事故の状況(平成23-令和2年)

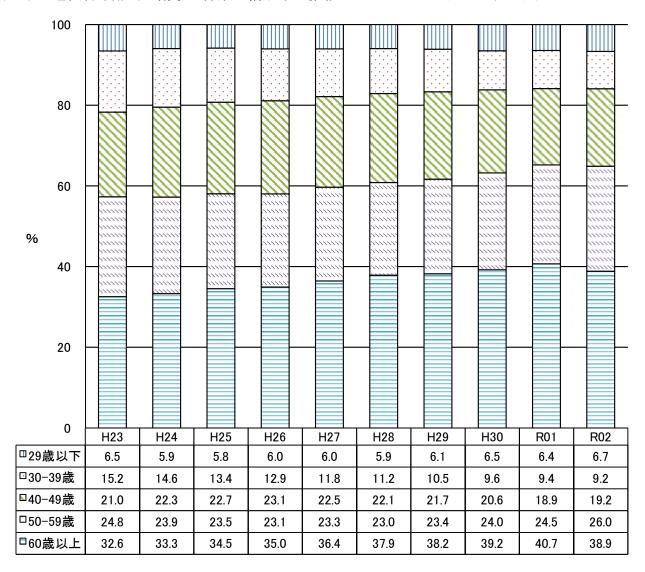
(1-1) 運転者年齢別死傷事故件数の推移(バス・ハイタク・トラック)

(件)

						(117
運転者年齢年	29歳以下	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60歳以上	合計
H23	2,902	6,736	9,318	10,991	14,461	44,408
H24	2,442	5,991	9,178	9,843	13,710	41,164
H25	2,232	5,155	8,709	9,026	13,252	38,374
H26	2,154	4,614	8,262	8,267	12,518	35,815
H27	1,976	3,878	7,359	7,621	11,937	32,771
H28	1,759	3,307	6,534	6,804	11,212	29,616
H29	1,764	3,035	6,258	6,758	11,023	28,838
H30	1,747	2,584	5,520	6,433	10,505	26,789
R01	1,535	2,253	4,514	5,853	9,718	23,873
R02	1,183	1,643	3,421	4,625	6,913	17,785

※ 軽自動車及びミニカーを除く

(1-2) 運転者年齢別死傷事故件数の構成率の推移(バス・ハイタク・トラック)



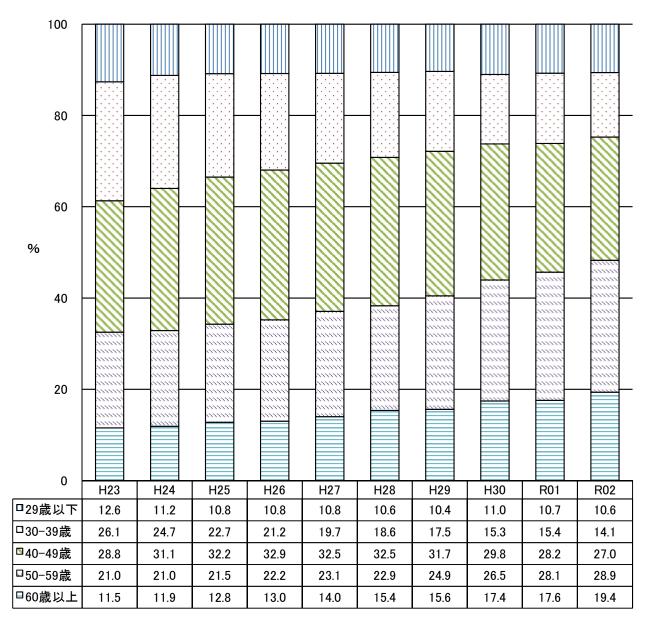
(2-1) 運転者年齢別死傷事故件数の推移 (トラック)

(件)

運転者年齢年	29歳以下	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60歳以上	合計
H23	2,595	5,363	5,919	4,320	2,371	20,568
H24	2,189	4,818	6,065	4,084	2,318	19,474
H25	2,005	4,190	5,962	3,971	2,363	18,491
H26	1,921	3,766	5,848	3,950	2,316	17,801
H27	1,739	3,181	5,244	3,728	2,264	16,156
H28	1,543	2,717	4,750	3,345	2,245	14,600
H29	1,473	2,487	4,501	3,535	2,221	14,217
H30	1,477	2,048	4,003	3,561	2,339	13,428
R01	1,247	1,790	3,281	3,266	2,045	11,629
R02	1,002	1,334	2,553	2,730	1,830	9,449

※ 軽自動車を除く

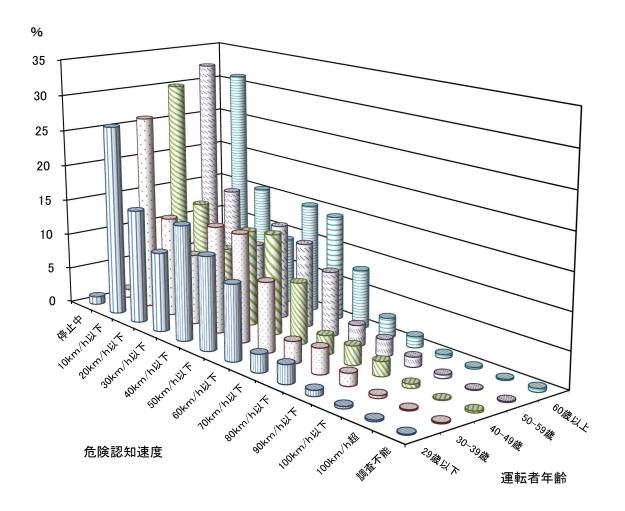
(2-2) 運転者年齢別死傷事故件数の構成率の推移(トラック)



付録15 事業用貨物自動車の運転者年齢別・危険認知速度別死傷事故件数の構成率(令和2年)

(%)

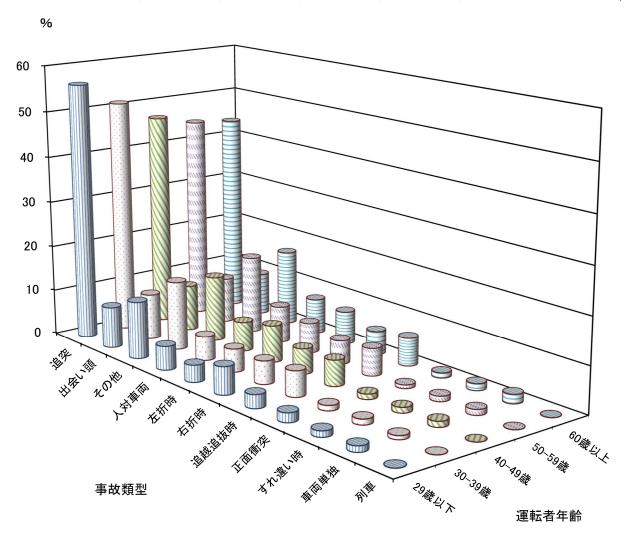
運転者年齢 危険認知速度	29歳以下	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60歳以上	合計
停止中	1.1	1.2	0.6	0.6	0.7	0.8
10km/h以下	26.5	27.1	31.0	33.4	31.3	30.7
20km/h以下	15.8	13.8	15.0	16.0	15.5	15.3
30km/h以下	11.0	9.7	9.6	9.2	9.1	9.6
40km/h以下	15.9	14.8	13.2	13.1	15.1	14.0
50km/h以下	12.9	14.9	13.9	11.6	14.5	13.4
60km/h以下	10.4	9.6	8.5	8.9	8.1	8.9
70km/h以下	2.5	3.0	2.6	2.9	2.7	2.8
80km/h以下	2.6	3.5	2.6	2.3	1.5	2.4
90km/h以下	0.8	1.7	2.0	1.4	0.5	1.4
100km/h以下	0.3	0.4	0.5	0.5	0.2	0.4
100km/h超	0.2	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1
調査不能	0.1	0.1	0.2	0.1	0.5	0.2
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0



付録16 事業用貨物自動車の運転者年齢別・事故類型別死傷事故件数の構成率(令和2年)

(%)

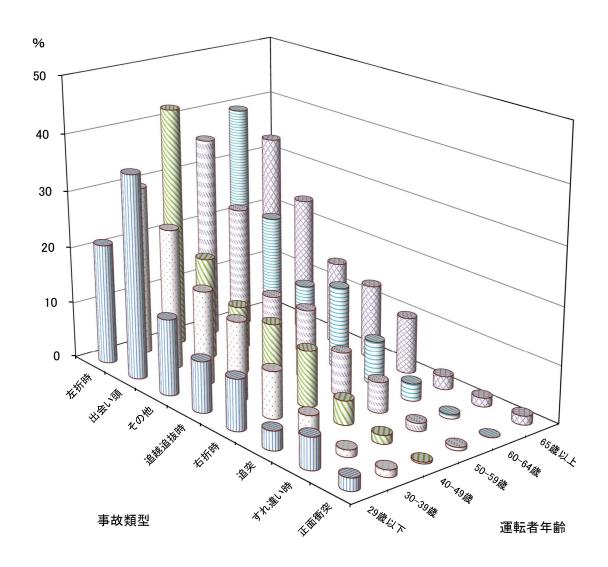
運転者年齢 事故類型	29歳以下	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60歳以上	合計
追突	56.2	51.0	46.6	44.5	43.7	47.1
出会い頭	9.0	10.0	10.1	9.9	9.2	9.7
その他	12.5	15.0	14.3	16.9	16.4	15.4
人対車両	5.2	5.2	6.4	7.9	7.7	6.8
左折時	3.7	5.0	8.0	6.6	7.2	6.6
右折時	6.0	5.0	5.5	5.2	5.1	5.3
追越追抜時	2.9	5.5	5.6	6.0	6.1	5.5
正面衝突	2.0	1.1	1.1	0.8	1.1	1.1
すれ違い時	1.3	1.2	1.2	1.1	1.5	1.2
車両単独	1.3	0.8	1.2	1.2	2.0	1.3
列車	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0



付録17 事業用貨物自動車の車両相互の事故類型詳細区分別の死傷事故件数(令和2年)

付録18 事業用貨物自動車の対自転車事故の運転者年齢別・事故類型別死傷事故件数の構成率 (令和2年)

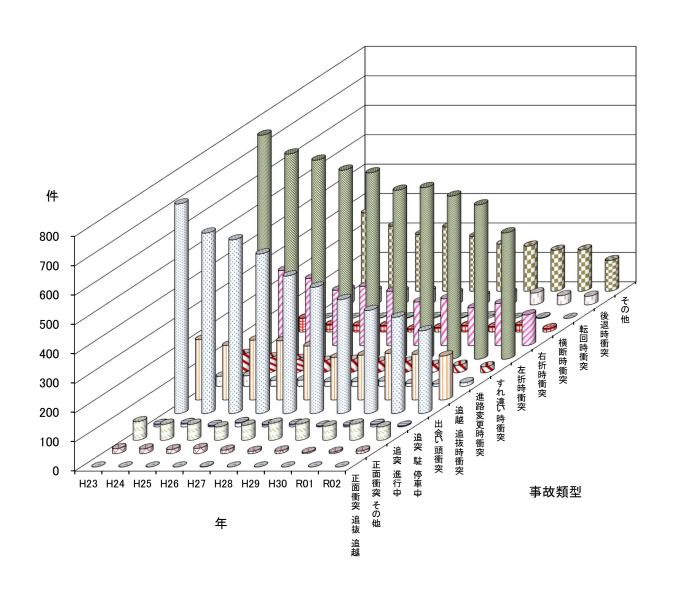
(%) 運転者年齢 29歳以下 30-39歳 40-49歳 50-59歳 60-64歳 65歳以上 合計 事故類型 左折時 21.3 29.9 42.3 35.6 39.7 33.1 35.8 25.2 出会い頭 36.0 24.8 18.0 22.1 23.5 23.8 その他 12.0 12.0 12.2 14.6 13.5 16.6 13.0 追越追抜時 9.0 14.0 11.7 12.3 14.5 13.1 12.4 右折時 9.0 9.9 10.0 8.7 8.3 7.6 7.6 3.4 追突 4.2 2.3 3.8 5.3 3.1 4.1 すれ違い時 5.6 1.3 1.5 1.4 8.0 1.7 1.5 正面衝突 2.2 1.3 0.3 0.6 0.0 1.5 8.0 100.0 合計 100.0 100.0 100.0 100.0 100.0 100.0



付録19 事業用貨物自動車の対自転車事故の状況

(1) 対自転車の事故類型別死傷事故件数の推移(平成23-令和2年)

												(件)
	事故类	頁型	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02
	正面	追越·追抜	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	衝突	その他	17	16	14	18	12	8	9	4	5	9
	追突	進行中	64	55	55	46	52	59	56	49	56	46
	坦大	駐·停車中	9	12	5	15	8	9	3	6	9	3
	出会い頭衝突		712	613	590	542	467	429	387	350	327	281
対	追越•追抜時種	i突	205	185	203	201	183	144	152	158	155	149
自	進路変更時衝		34	36	20	21	16	16	18	10	8	12
転	すれ違い時衝3	笑	62	50	45	39	42	36	36	25	25	20
車	左折時衝突		761	697	676	642	633	574	583	554	524	429
- 平	右折時衝突		255	228	188	201	184	148	159	128	143	104
	横断時衝突		47	26	23	22	10	15	22	18	24	11
	転回時衝突		0	0	1	2	3	2	6	0	2	0
	後退時衝突		50	46	44	45	38	29	38	40	31	29
	その他		266	221	193	218	186	160	153	139	140	104
	合計	_	2,482	2,185	2,057	2,012	1,835	1,629	1,622	1,481	1,449	1,197



(2-1) 対自転車の時間帯別・事故類型別の死傷事故件数(令和2年)

															(件)
事故類型	時間	(2時間毎)	0-1	2–3	4–5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23	合計
	正面	追越·追抜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	衝突	その他	0	1	0	0	3	1	0	1	2	1	0	0	9
	追突	進行中	7	4	6	4	1	1	2	0	0	9	5	7	46
	坦大	駐·停車中	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	3
	出会い頭衝突		1	2	6	23	58	57	36	38	36	16	6	2	281
対	追越·追抜時衝突	2	8	10	13	15	16	24	13	11	14	10	11	4	149
自	進路変更時衝突		1	0	0	2	3	1	0	1	1	1	1	1	12
転	すれ違い時衝突		0	0	1	4	4	6	1	3	1	0	0	0	20
車	左折時衝突		2	2	2	51	127	81	52	45	37	12	10	8	429
#	右折時衝突		1	4	8	8	24	15	12	7	9	8	3	5	104
	横断時衝突		1	0	1	1	2	1	0	5	0	0	0	0	11
	転回時衝突		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	後退時衝突		0	1	0	3	10	7	3	3	1	1	0	0	29
	その他	·	1	0	1	5	35	10	7	18	12	9	4	2	104
	合計		22	24	39	116	283	205	126	132	113	67	41	29	1,197

(2-2) 対自転車の時間帯別・事故類型別死傷事故件数の構成率(令和2年)

□正面衝突(追抜・追越) ■正面衝突(その他)

															(%)
事故類型	時間	(2時間毎)	0-1	2–3	4–5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23	合計
	正面	追越·追抜	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	衝突	その他	0.0	4.2	0.0	0.0	1.1	0.5	0.0	8.0	1.8	1.5	0.0	0.0	0.8
	追突	進行中	31.8	16.7	15.4	3.4	0.4	0.5	1.6	0.0	0.0	13.4	12.2	24.1	3.8
	坦大	駐·停車中	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0	0.3
	出会い頭衝突		4.5	8.3	15.4	19.8	20.5	27.8	28.6	28.8	31.9	23.9	14.6	6.9	23.5
対	追越·追抜時衝突	2	36.4	41.7	33.3	12.9	5.7	11.7	10.3	8.3	12.4	14.9	26.8	13.8	12.4
自	進路変更時衝突		4.5	0.0	0.0	1.7	1.1	0.5	0.0	0.8	0.9	1.5	2.4	3.4	1.0
転	すれ違い時衝突		0.0	0.0	2.6	3.4	1.4	2.9	0.8	2.3	0.9	0.0	0.0	0.0	1.7
車	左折時衝突		9.1	8.3	5.1	44.0	44.9	39.5	41.3	34.1	32.7	17.9	24.4	27.6	35.8
#	右折時衝突		4.5	16.7	20.5	6.9	8.5	7.3	9.5	5.3	8.0	11.9	7.3	17.2	8.7
	横断時衝突		4.5	0.0	2.6	0.9	0.7	0.5	0.0	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9
	転回時衝突		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	後退時衝突		0.0	4.2	0.0	2.6	3.5	3.4	2.4	2.3	0.9	1.5	0.0	0.0	2.4
	その他		4.5	0.0	2.6	4.3	12.4	4.9	5.6	13.6	10.6	13.4	9.8	6.9	8.7
	合計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

口追突(進行中)

日追突(駐•停車中)

□追越·追抜時衝突 □進路変更時衝突 ■すれ違い時衝突 □出会い頭衝突 ∞左折時衝突 □右折時衝突 ■横断時衝突 □転回時衝突 □後退時衝突 □その他 100 80 60 % 40 20 0 4-5 8-9 10-11 12-13 14-15 16-17 18-19 20-21 0-1 2-3 6-7 時間

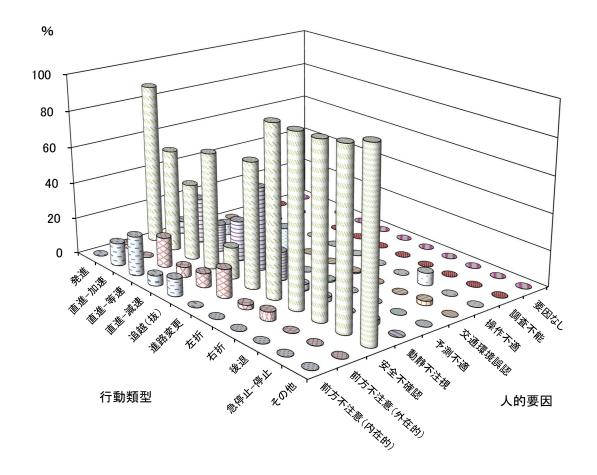
(3-1) 対自転車の行動類型別・人的要因別の死傷事故件数 (令和2年)

(件)

(= T) #T T:										1		· · · · ·
行動類型 人的要因	発進	直進−加速	直進-等速	直進−減速	追越(抜)	進路変更	左折	右折	後退	急停止-停止	その他	合計
前方不注意(内在的)	0	2	63	2	5	0	0	0	0	0	0	72
前方不注意(外在的)	2	0	48	2	4	3	11	6	0	0	0	76
安全不確認	89	9	122	23	9	13	438	113	27	40	17	900
動静不注視	7	4	44	8	24	3	17	3	0	1	0	111
予測不適	1	1	10	1	10	0	3	0	0	0	0	26
交通環境誤認	0	0	3	0	0	0	3	0	0	1	0	7
操作不適	2	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	5
調査不能	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要因なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	101	16	291	36	52	19	472	122	29	42	17	1197

(3-2) 対自転車の行動類型別・人的要因別死傷事故件数の構成率(令和2年)

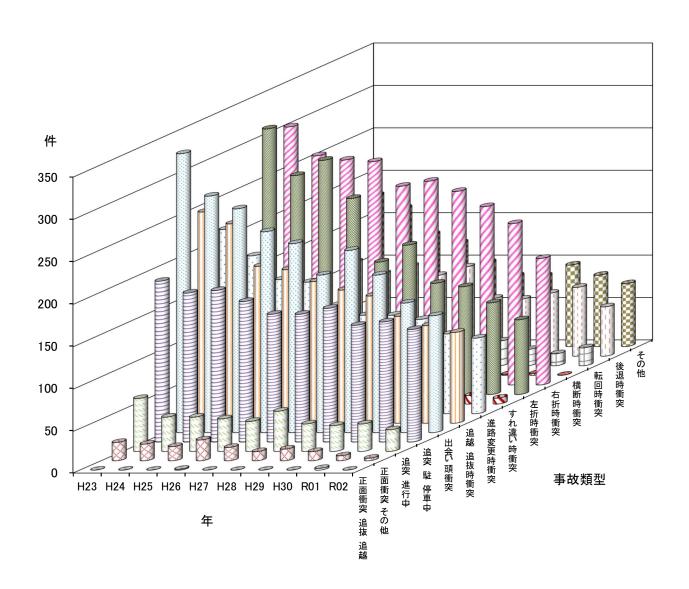
												(%)
行動類型 人的要因	発進	直進-加速	直進-等速	直進−減速	追越(抜)	進路変更	左折	右折	後退	急停止-停止	その他	合計
前方不注意(内在的)	0.0	12.5	21.6	5.6	9.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.0
前方不注意(外在的)	2.0	0.0	16.5	5.6	7.7	15.8	2.3	4.9	0.0	0.0	0.0	6.3
安全不確認	88.1	56.3	41.9	63.9	17.3	68.4	92.8	92.6	93.1	95.2	100.0	75.2
動静不注視	6.9	25.0	15.1	22.2	46.2	15.8	3.6	2.5	0.0	2.4	0.0	9.3
予測不適	1.0	6.3	3.4	2.8	19.2	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2
交通環境誤認	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	2.4	0.0	0.6
操作不適	2.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.9	0.0	0.0	0.4
調査不能	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
要因なし	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0



付録20 事業用貨物自動車の対二輪車事故の状況

(1) 対二輪車の事故類型別死傷事故件数の推移(平成23-令和2年)

												(件)
	事故類	頁型	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02
	正面	追越·追抜	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0
	衝突	その他	22	20	17	25	16	11	14	11	6	3
	追突	進行中	63	41	41	39	36	48	33	31	33	26
	迫关	駐·停車中	190	176	179	166	151	151	158	138	142	133
	出会い頭衝突		329	279	264	237	223	186	215	186	153	138
対	追越·追抜時種	野突	249	235	185	181	167	157	150	126	115	107
X) —	進路変更時衝	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	217	186	158	155	128	116	116	111	94	89
輪	すれ違い時衝	突	16	19	16	18	14	13	15	10	10	7
車	左折時衝突		313	258	276	231	156	176	131	127	108	88
早	右折時衝突		304	270	265	263	234	240	228	210	190	149
	横断時衝突		3	5	6	1	0	0	2	1	2	0
	転回時衝突		32	29	32	32	23	24	29	19	14	21
	後退時衝突		111	97	106	95	105	68	67	74	81	58
	その他		178	163	132	122	99	83	83	96	84	74
	合計		2,027	1,778	1,677	1,566	1,352	1,273	1,241	1,140	1,034	893



(2-1) 対二輪車の時間帯別・事故類型別の死傷事故件数(令和2年)

															(件)
事故類型		間(2時間毎)	0-1	2-3	4-5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23	合計
	正面	追越·追抜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	衝突	その他	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	3
	追突	進行中	6	1	3	0	4	2	4	1	1	1	2	1	26
	迫矢	駐·停車中	7	3	5	24	24	19	12	13	11	8	3	4	133
	出会い頭衝突		5	5	8	23	16	24	17	18	9	7	5	1	138
対	追越·追抜時衝	突	2	4	7	16	18	17	11	11	12	5	3	1	107
×1	進路変更時衝突	2	4	0	6	23	15	9	5	6	10	4	3	4	89
輪	すれ違い時衝突		0	1	0	1	1	2	0	0	0	1	0	1	7
車	左折時衝突		2	0	6	22	10	14	5	11	7	5	4	2	88
平	右折時衝突		6	5	8	28	24	20	5	18	14	8	7	6	149
	横断時衝突		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	転回時衝突		1	1	2	3	5	0	2	1	3	1	0	2	21
	後退時衝突		1	2	0	8	10	11	6	8	8	4	0	0	58
	その他		4	0	4	7	17	15	9	8	5	3	2	0	74
	合計		38	22	49	155	145	133	77	95	80	47	30	22	893

(2-2) 対二輪車の時間帯別・事故類型別死傷事故件数の構成率(令和2年)

□正面衝突(追抜・追越) □正面衝突(その他)

															(%)
事故類型	時間	引(2時間毎)	0-1	2–3	4–5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23	合計
	正面	追越·追抜	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	衝突	その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	3.3	0.0	0.3
	追突	進行中	15.8	4.5	6.1	0.0	2.8	1.5	5.2	1.1	1.3	2.1	6.7	4.5	2.9
	迫失	駐·停車中	18.4	13.6	10.2	15.5	16.6	14.3	15.6	13.7	13.8	17.0	10.0	18.2	14.9
	出会い頭衝突	•	13.2	22.7	16.3	14.8	11.0	18.0	22.1	18.9	11.3	14.9	16.7	4.5	15.5
対	追越·追抜時衝突	2	5.3	18.2	14.3	10.3	12.4	12.8	14.3	11.6	15.0	10.6	10.0	4.5	12.0
- N	進路変更時衝突		10.5	0.0	12.2	14.8	10.3	6.8	6.5	6.3	12.5	8.5	10.0	18.2	10.0
輪	すれ違い時衝突		0.0	4.5	0.0	0.6	0.7	1.5	0.0	0.0	0.0	2.1	0.0	4.5	0.8
車	左折時衝突		5.3	0.0	12.2	14.2	6.9	10.5	6.5	11.6	8.8	10.6	13.3	9.1	9.9
#	右折時衝突		15.8	22.7	16.3	18.1	16.6	15.0	6.5	18.9	17.5	17.0	23.3	27.3	16.7
	横断時衝突		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	転回時衝突		2.6	4.5	4.1	1.9	3.4	0.0	2.6	1.1	3.8	2.1	0.0	9.1	2.4
	後退時衝突		2.6	9.1	0.0	5.2	6.9	8.3	7.8	8.4	10.0	8.5	0.0	0.0	6.5
	その他		10.5	0.0	8.2	4.5	11.7	11.3	11.7	8.4	6.3	6.4	6.7	0.0	8.3
	合計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

□追突(進行中)

日追突(駐•停車中)

□出会い頭衝突 □追越·追抜時衝突 □進路変更時衝突 ▶すれ違い時衝突 ⊠左折時衝突 □右折時衝突 □転回時衝突 ■横断時衝突 ■その他 □後退時衝突 100 80 60 % 40 20 0 0-1 2-3 4-5 6-7 8-9 10-11 12-13 14-15 16-17 18-19 20-21 22-23

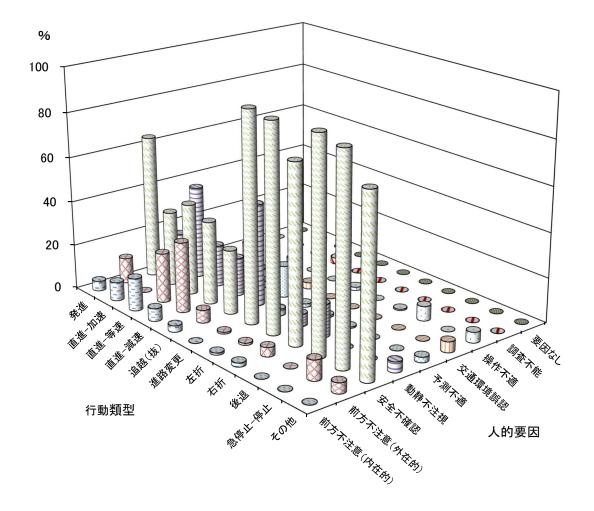
時間

(3-1) 対二輪車の行動類型別・人的要因別の死傷事故件数(令和2年)

(件) 行動類 発進 直進-加速直進-等速直進-減速 追越(抜) 進路変更 後退 急停止-停止 その他 左折 右折 合計 人的要因 前方不注意(内在的) 前方不注意(外在的) 安全不確認 動静不注視 予測不適 交通環境誤認 操作不適 調査不能 要因なし 合計

(3-2) 対二輪車の行動類型別・人的要因別死傷事故件数の構成率(令和2年)

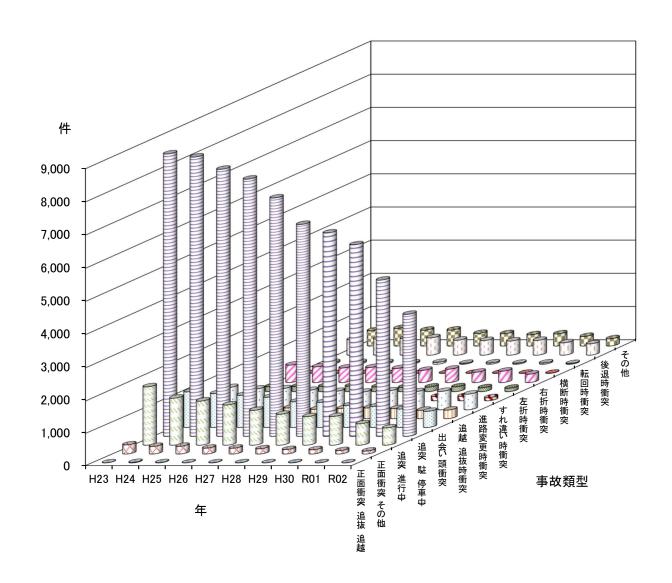
												(%)
行動類 型	発進	直進−加速	直進-等速	直進−減速	追越(抜)	進路変更	左折	右折	後退	急停止-停止	その他	合計
前方不注意(内在的)	4.4	8.3	14.6	5.7	2.9	0.0	0.9	1.8	0.0	0.0	0.0	4.3
前方不注意(外在的)	11.4	0.0	22.2	31.4	5.7	0.8	0.9	4.1	0.0	9.1	4.8	8.5
安全不確認	64.0	33.3	40.9	37.1	28.6	93.2	91.7	78.4	93.4	90.9	78.6	70.2
動静不注視	15.8	41.7	18.7	17.1	45.7	3.0	5.5	14.6	0.0	0.0	4.8	12.8
予測不適	0.9	8.3	0.6	2.9	14.3	1.5	0.9	0.6	0.0	0.0	2.4	1.6
交通環境誤認	0.0	8.3	0.6	2.9	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8	0.7
操作不適	3.5	0.0	1.8	0.0	0.0	1.5	0.0	0.6	6.6	0.0	4.8	1.8
調査不能	0.0	0.0	0.6	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2
要因なし	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0



付録21 事業用貨物自動車の対四輪車事故の状況

(1) 対四輪車の事故類型別の死傷事故件数の推移(平成23-令和2年)

												(件)
	事故類型	!	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02
	正面	追越·追抜	3	13	6	2	5	4	2	4	2	2
	衝突	その他	285	236	239	182	180	162	139	132	105	91
	追突	進行中	1,794	1,450	1,363	1,246	1,081	959	885	892	664	536
	坦大	駐•停車中	8,536	8,443	8,074	7,778	7,210	6,411	6,155	5,798	4,735	3,703
	出会い頭衝突	•	1,093	1,041	989	929	793	777	683	655	573	501
対	追越•追抜時衝突	2	297	320	281	332	290	316	332	311	259	265
	進路変更時衝突		671	625	635	585	554	531	571	545	556	474
四輪	すれ違い時衝突		202	175	164	170	157	126	140	122	133	90
車	左折時衝突		152	154	160	165	141	129	137	143	114	102
早	右折時衝突		522	471	437	449	419	365	402	308	340	249
	横断時衝突		4	7	4	4	3	2	1	2	2	3
	転回時衝突		46	48	44	36	53	24	38	28	36	20
	後退時衝突		460	485	500	520	448	437	425	442	370	339
	その他		458	530	473	479	378	370	338	364	287	217
	合計		14,523	13,998	13,369	12,877	11,712	10,613	10,248	9,746	8,176	6,592



(2-1) 対四輪車の時間帯別・事故類型別の死傷事故件数(令和2年)

															(件)
事故類型	時間	間(2時間毎)	0-1	2-3	4-5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23	合計
	正面	追越·追抜	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
	衝突	その他	3	8	6	10	6	11	13	13	10	6	3	2	91
	追突	進行中	23	16	42	55	59	102	67	67	32	23	17	33	536
	坦大	駐·停車中	60	73	126	416	604	705	578	486	319	165	89	82	3,703
	出会い頭衝突	•	13	19	41	67	95	72	53	55	42	19	10	15	501
対	追越·追抜時衝突		6	7	14	25	41	38	30	41	23	21	15	4	265
	進路変更時衝突		5	16	13	50	76	72	58	59	41	39	26	19	474
四	すれ違い時衝突		0	1	6	8	16	7	12	13	10	9	3	5	90
輪車	左折時衝突		0	2	3	12	21	12	15	15	10	7	1	4	102
甲	右折時衝突		5	11	23	25	41	37	27	24	26	12	13	5	249
	横断時衝突		0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	3
	転回時衝突		1	0	4	1	4	3	2	3	1	1	0	0	20
	後退時衝突	•	4	5	5	36	70	67	60	40	26	13	8	5	339
	その他	•	6	6	13	17	41	31	27	24	16	12	14	10	217
	合計		126	164	296	722	1,076	1,157	942	841	557	327	200	184	6,592

(2-2) 対四輪車の時間帯別・事故類型別死傷事故件数の構成率(令和2年)

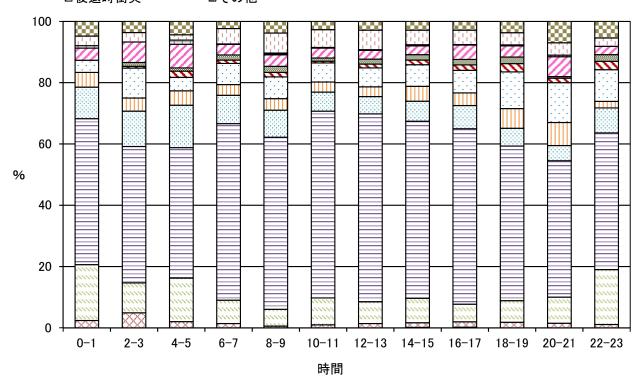
															(%)
事故類型	時	間(2時間毎)	0-1	2–3	4–5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23	合計
	正面	追越·追抜	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
	衝突	その他	2.4	4.9	2.0	1.4	0.6	1.0	1.4	1.5	1.8	1.8	1.5	1.1	1.4
	追突	進行中	18.3	9.8	14.2	7.6	5.5	8.8	7.1	8.0	5.7	7.0	8.5	17.9	8.1
		駐·停車中	47.6	44.5	42.6	57.6	56.1	60.9	61.4	57.8	57.3	50.5	44.5	44.6	56.2
	出会い頭衝突	·	10.3	11.6	13.9	9.3	8.8	6.2	5.6	6.5	7.5	5.8	5.0	8.2	7.6
対	追越·追抜時衝	突	4.8	4.3	4.7	3.5	3.8	3.3	3.2	4.9	4.1	6.4	7.5	2.2	4.0
四四	進路変更時衝突		4.0	9.8	4.4	6.9	7.1	6.2	6.2	7.0	7.4	11.9	13.0	10.3	7.2
輪	すれ違い時衝突		0.0	0.6	2.0	1.1	1.5	0.6	1.3	1.5	1.8	2.8	1.5	2.7	1.4
車	左折時衝突		0.0	1.2	1.0	1.7	2.0	1.0	1.6	1.8	1.8	2.1	0.5	2.2	1.5
#	右折時衝突		4.0	6.7	7.8	3.5	3.8	3.2	2.9	2.9	4.7	3.7	6.5	2.7	3.8
	横断時衝突		0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0
	転回時衝突		0.8	0.0	1.4	0.1	0.4	0.3	0.2	0.4	0.2	0.3	0.0	0.0	0.3
	後退時衝突		3.2	3.0	1.7	5.0	6.5	5.8	6.4	4.8	4.7	4.0	4.0	2.7	5.1
	その他		4.8	3.7	4.4	2.4	3.8	2.7	2.9	2.9	2.9	3.7	7.0	5.4	3.3
	合計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

□正面衝突(追抜・追越) □正面衝突(その他) □追突(進行中) □追突(駐・停車中)

□出会い頭衝突 □追越・追抜時衝突 □進路変更時衝突 □すれ違い時衝突

◎左折時衝突 □右折時衝突 □横断時衝突 □転回時衝突

□後退時衝突 ■その他

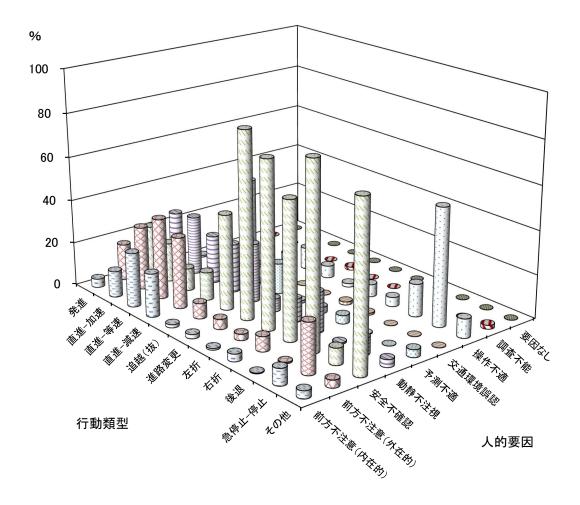


(3-1) 対四輪車の行動類型別・人的要因別の事故件数(令和2年)

(件) 行動類型 直進-加速 直進-等速 直進-減速 追越(抜) 進路変更 発進 左折 右折 後退 急停止-停止 その他 合計 人的要因 前方不注意(内在的) 36 12 831 137 1,043 13 8 1 2 前方不注意(外在的) 3 153 29 1,237 225 5 31 4 16 2 2 1,707 安全不確認 200 18 345 31 574 107 146 294 43 1,848 89 1 動静不注視 228 27 737 154 19 40 15 43 2 1 2 1,268 0 2 予測不適 7 4 40 5 10 8 4 9 1 90 交通環境誤認 3 44 10 0 2 0 0 0 2 0 62 操作不適 288 7 99 69 4 11 8 10 53 7 5 561 0 0 0 1 0 0 0 1 調査不能 11 0 0 13 0 0 0 0 0 要因なし 0 0 0 0 0 0 0 合計 913 100 3,344 689 71 677 141 234 353 13 57 6,592

(3-2) 対四輪車の行動類型別・人的要因別死傷事故件数の構成率(令和2年)

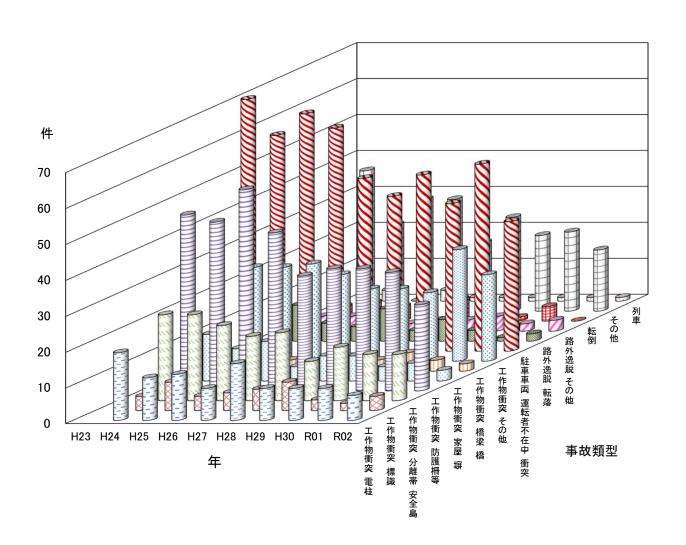
(%) 行動類型 直進-加速 直進-等速 直進-減速 追越(抜) 進路変更 急停止-停止 その他 合計 発進 左折 右折 後退 人的要因 前方不注意(内在的) 3.9 12.0 24.9 19.9 1.4 1.9 0.7 3.4 0.3 7.7 3.5 15.8 前方不注意(外在的) 16.8 29.0 37.0 32.7 7.0 4.6 2.8 6.8 0.6 23.1 3.5 25.9 安全不確認 21.9 18.0 10.3 12.9 43.7 84.8 75.9 62.4 83.3 7.7 75.4 28.0 動静不注視 25.0 27.0 22.0 22.4 26.8 5.9 10.6 18.4 0.6 7.7 3.5 19.2 予測不適 8.0 4.0 0.7 14.1 1.2 2.8 3.8 0.3 0.0 3.5 1.4 1.2 0.0 交通環境誤認 0.1 3.0 1.3 1.5 0.0 0.0 1.4 0.9 0.0 0.0 0.9 31.5 7.0 3.0 10.0 5.6 1.6 5.7 4.3 15.0 53.8 8.8 8.5 操作不適 調査不能 0.0 0.0 0.3 0.0 1.4 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 1.8 0.2 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 要因なし 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 100.0 100.0 100.0 合計 100.0 100.0 100.0 100.0 100.0 100.0 100.0 100.0 100.0



付録22 事業用貨物自動車の車両単独事故の状況

(1) 車両単独事故の事故類型別死傷事故件数の推移(平成23-令和2年)

												(件)
	事故類型		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02
		電柱	19	12	13	9	16	9	9	9	7	3
		標識	4	8	4	5	6	8	3	2	4	2
		分離带·安全島	24	24	21	18	19	11	15	13	13	11
	工作物衝突	防護柵等	49	47	56	44	32	34	34	33	24	17
車		家屋∙塀	13	9	11	4	7	7	4	5	3	4
両		橋梁·橋	3	2	3	3	4	3	5	3	2	4
単		その他	26	26	27	24	20	20	19	31	24	18
独	駐車車両(運転者2		70	60	66	62	48	43	49	41	52	36
	路外逸脱	転落	10	5	4	9	3	6	3	1	2	2
	始外远 版	その他	4	4	4	2	3	3	4	2	3	2
	転倒		4	5	4	0	6	0	1	4	0	3
	その他		39	24	31	31	19	26	21	22	17	22
	小計	_	265	226	244	211	183	170	167	166	151	124
列車			3	0	3	1	1	1	1	1	1	0



(2-1) 車両単独事故の時間帯別・事故類型別の死傷事故件数(令和2年)

															(件)
事故類型		(2時間毎)	0-1	2–3	4–5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23	合計
		電柱	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	3
		標識	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
		分離帯·安全島	0	1	2	1	0	1	1	3	0	1	0	1	11
	工作物衝突	防護柵等	1	0	0	3	4	3	5	1	0	0	0	0	17
車		家屋•塀	0	0	0	0	3	0	0	1	0	0	0	0	4
両		橋梁•橋	0	0	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	4
単		その他	1	2	0	1	6	1	4	1	0	1	0	1	18
独	駐車車両(運転者	不在中)衝突	2	0	4	3	6	3	4	4	5	1	2	2	36
	路外逸脱	転落	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	2
		その他	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2
	転倒		0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	3
	その他	•	3	0	1	2	2	4	1	2	2	1	1	3	22
	合計		8	4	9	11	24	13	18	13	7	4	6	7	124
列車			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(2-2) 車両単独事故の時間帯別・事故類型別死傷事故件数の構成率(令和2年)

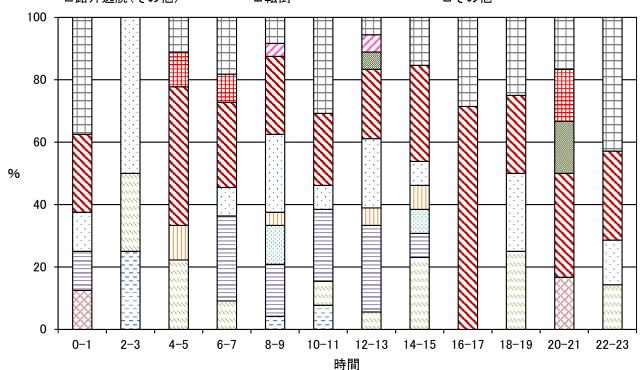
															(%)
事故類型	時間](2時間毎)	0-1	2-3	4–5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23	合計
		電柱	0.0	25.0	0.0	0.0	4.2	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4
		標識	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	1.6
		分離带·安全島	0.0	25.0	22.2	9.1	0.0	7.7	5.6	23.1	0.0	25.0	0.0	14.3	8.9
	工作物衝突	防護柵等	12.5	0.0	0.0	27.3	16.7	23.1	27.8	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	13.7
車		家屋∙塀	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2
両		橋梁·橋	0.0	0.0	11.1	0.0	4.2	0.0	5.6	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2
単		その他	12.5	50.0	0.0	9.1	25.0	7.7	22.2	7.7	0.0	25.0	0.0	14.3	14.5
独	駐車車両(運転者	千在中)衝突	25.0	0.0	44.4	27.3	25.0	23.1	22.2	30.8	71.4	25.0	33.3	28.6	29.0
	路外逸脱	転落	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	1.6
	哈尔 亚版	その他	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6
	転倒		0.0	0.0	11.1	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	2.4
	その他		37.5	0.0	11.1	18.2	8.3	30.8	5.6	15.4	28.6	25.0	16.7	42.9	17.7
	合計	_	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

□工作物衝突(電柱) □工作物衝突(標識) □工作物衝突(分離帯·安全島)

□工作物衝突(防護柵等)
□工作物衝突(家屋・塀)
□工作物衝突(橋梁・橋)

□工作物衝突(その他) □駐車車両(運転者不在中) □路外逸脱(転落)

□路外逸脱(その他) 田転倒 □その他

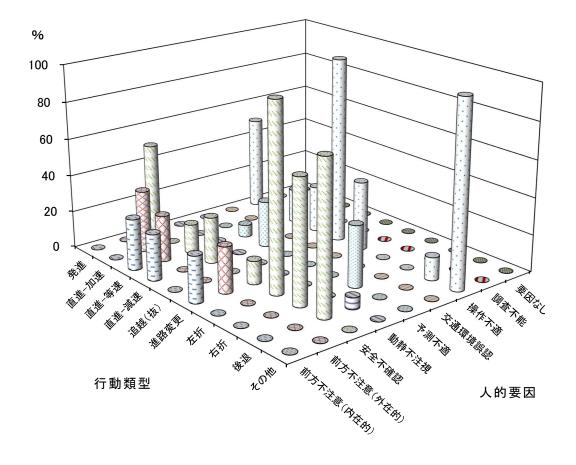


(3-1) 車両単独事故の行動類型別・人的要因別の死傷事故件数(令和2年)

(件) 行動類型 発進 |直進-加速||直進-等速||直進-減速||追越(抜)|| 進路変更 その他 合計 左折 右折 後退 的要因 前方不注意(内在的) 前方不注意(外在的) 安全不確認 動静不注視 予測不適 交通環境誤認 操作不適 調査不能 要因なし 合計

(3-2) 車両単独事故の行動類型別・人的要因別死傷事故件数の構成率(令和2年)

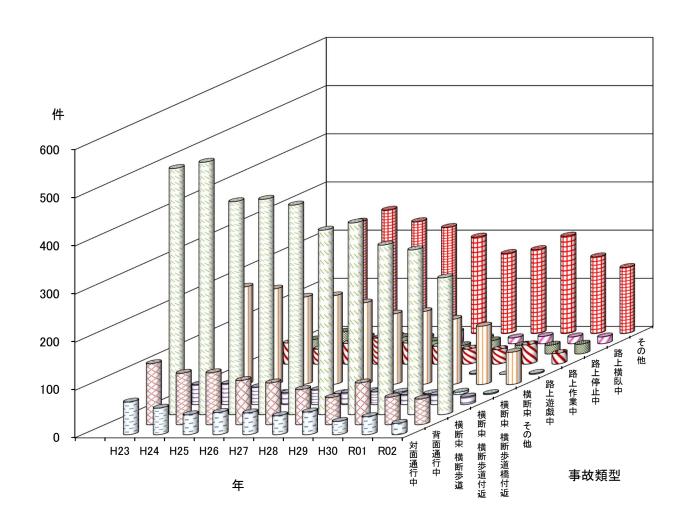
											(%)
行動類型 人的要因	発進	直進−加速	直進-等速	直進−減速	追越(抜)	進路変更	左折	右折	後退	その他	合計
前方不注意(内在的)	0.0	0.0	27.6	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	19.4
前方不注意(外在的)	0.0	33.3	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	17.7
安全不確認	50.0	0.0	15.8	25.0	0.0	12.5	100.0	66.7	81.3	0.0	28.2
動静不注視	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	1.6
予測不適	0.0	0.0	6.6	25.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	5.6
交通環境誤認	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2
操作不適	50.0	66.7	18.4	25.0	100.0	37.5	0.0	0.0	12.5	100.0	24.2
調査不能	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
要因なし	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0



付録23 事業用貨物自動車の対歩行者事故の状況

(1) 対歩行者の事故類型別死傷事故件数の推移(平成23-令和2年)

									•			(件)
事故類型		年	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02
	対面通行中		69	56	42	47	46	40	48	28	38	24
	背面通行中	背面通行中			109	93	88	74	57	88	58	54
		横断步道	512	525	443	448	436	384	399	353	343	285
人	横断中	横断步道付近	42	44	37	25	31	25	27	21	21	16
対		横断步道橋付近	4	3	2	4	2	6	5	2	5	2
車		その他	202	198	181	184	169	146	151	135	121	67
両	路上遊戯中	·	3	2	8	7	3	5	4	2	0	2
	路上作業中		44	31	43	54	44	37	31	30	40	22
	路上停止中		29	45	26	34	26	17	27	18	18	20
	路上横臥中			14	15	13	24	12	12	15	14	14
	その他		231	256	232	220	200	166	174	202	159	137
		合計	1,264	1,282	1,138	1,129	1,069	912	935	894	817	643

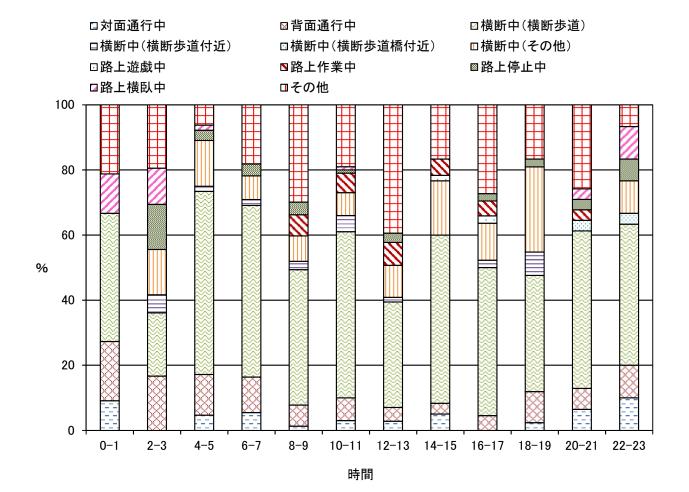


(2-1) 対歩行者の時間帯別・事故類型別の死傷事故件数(令和2年)

															(件)
事故類型		時間(2時間毎)	0-1	2-3	4-5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23	合計
	対面通行中		3	0	3	3	1	3	2	3	0	1	2	3	24
	背面通行中		6	6	8	6	5	7	3	2	2	4	2	3	54
	(関) 中	横断歩道	13	7	36	29	32	51	23	31	20	15	15	13	285
人		横断歩道付近	0	2	1	1	2	5	1	0	1	3	0	0	16
対		横断步道橋付近	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
車		その他	0	5	9	4	6	7	7	10	5	11	0	3	67
両	路上遊戲中		0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
	路上作業中		0	0	0	0	5	6	5	3	2	0	1	0	22
	路上停止中		0	5	2	2	3	1	2	0	1	1	1	2	20
	路上横臥中		4	4	1	0	0	1	0	0	0	0	1	3	14
	その他 合計		7	7	4	10	23	19	28	10	12	7	8	2	137
	合計		33	36	64	55	77	100	71	60	44	42	31	30	643

(2-2) 対歩行者の時間帯別・事故類型別の死傷事故件数の構成率(令和2年)

															(%)
事故類型		時間(2時間毎)	0-1	2-3	4–5	6-7	8-9	10-11	12-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22-23	合計
	対面通行中		9.1	0.0	4.7	5.5	1.3	3.0	2.8	5.0	0.0	2.4	6.5	10.0	3.7
	背面通行中		18.2	16.7	12.5	10.9	6.5	7.0	4.2	3.3	4.5	9.5	6.5	10.0	8.4
	横断中	横断步道	39.4	19.4	56.3	52.7	41.6	51.0	32.4	51.7	45.5	35.7	48.4	43.3	44.3
人		横断步道付近	0.0	5.6	1.6	1.8	2.6	5.0	1.4	0.0	2.3	7.1	0.0	0.0	2.5
対		横断步道橋付近	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2	3.3	0.3
車		その他	0.0	13.9	14.1	7.3	7.8	7.0	9.9	16.7	11.4	26.2	0.0	10.0	10.4
両	路上遊戲中	l	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	2.3	0.0	0.0	0.0	0.3
	路上作業中		0.0	0.0	0.0	0.0	6.5	6.0	7.0	5.0	4.5	0.0	3.2	0.0	3.4
	路上停止中	l	0.0	13.9	3.1	3.6	3.9	1.0	2.8	0.0	2.3	2.4	3.2	6.7	3.1
	路上横臥中	路上横臥中		11.1	1.6	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2	10.0	2.2
	その他		21.2	19.4	6.3	18.2	29.9	19.0	39.4	16.7	27.3	16.7	25.8	6.7	21.3
	合計	•	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

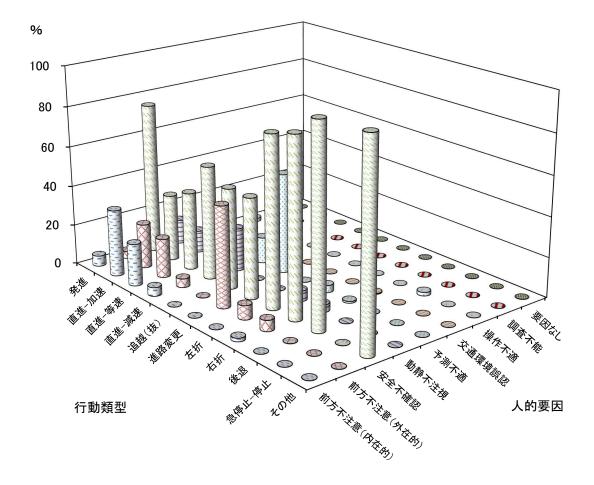


(3-1) 対歩行者の行動類型別・人的要因別の死傷事故件数(令和2年)

(件) 行動類型 直進-加速 直進-等速 直進-減速 追越(抜) 進路変更 急停止-停止 発進 左折 右折 後退 その他 合計 人的要因 前方不注意(内在的) 前方不注意(外在的) 安全不確認 <u>動静不</u>注視 予測不適 交通環境誤認 操作不適 調査不能 要因なし 合計

(3-2) 対歩行者の行動類型別・人的要因別死傷事故件数の構成率(令和2年)

												(%)
行動類型 人的要因	発進	直進−加速	直進-等速	直進−減速	追越(抜)	進路変更	左折	右折	後退	急停止-停止	その他	合計
前方不注意(内在的)	5.3	33.3	21.0	4.3	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0	8.1
前方不注意(外在的)	3.5	22.2	19.5	4.3	0.0	50.0	7.0	5.4	0.0	0.0	0.0	9.5
安全不確認	75.4	33.3	39.0	56.5	50.0	50.0	84.2	87.9	98.2	0.0	100.0	70.5
動静不注視	12.3	11.1	13.8	21.7	0.0	0.0	5.3	3.8	0.0	0.0	0.0	8.1
予測不適	1.8	0.0	3.6	13.0	50.0	0.0	3.5	0.8	0.0	0.0	0.0	2.5
交通環境誤認	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.9
操作不適	1.8	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	0.0	0.0	0.5
調査不能	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
要因なし	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0



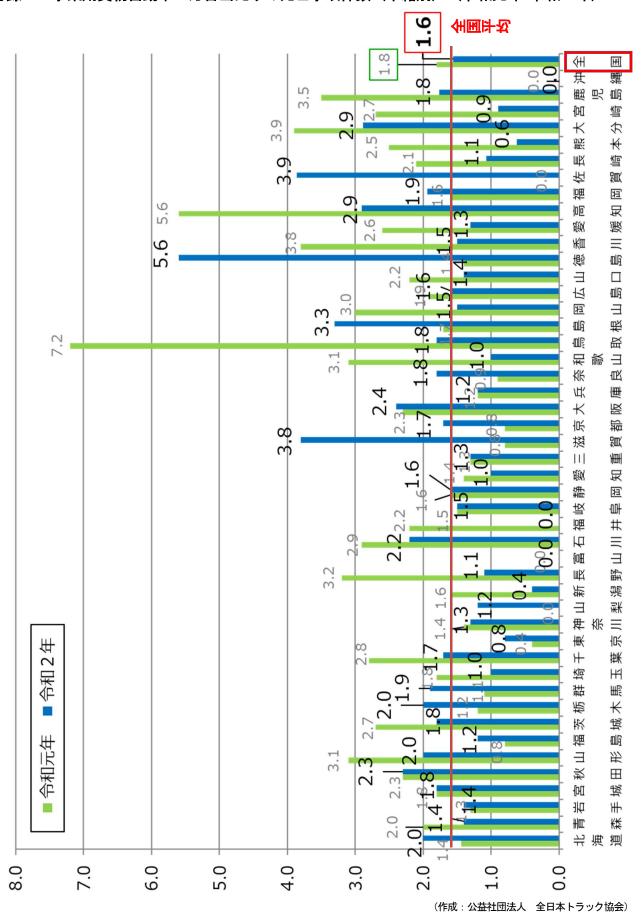
付録24 事業用貨物自動車を第1当事者とする管轄運輸支局(車籍)別の死亡事故件数及び死者数 (平成29-令和2年)

	区分		死亡	事故件数	(件)				死者数 (人	.)		車両台数(台)	1万台当たり 死亡事故件数
都	道府県	H29	H30	R01	R02	R01比	H29	H30	R01	R02	R01比	(1)	(件)
	札幌	2	6	4	6	2	2	6	4	6	2		
	函館	2	2	1	2	1	2	2	1	2	1		
46	室 蘭	2	2	1	1	0	2	3	1	1	0		
北海	帯広	1	0	1	2	1	1	0	1	2	1		
道	釧路	1	0	0	1	1	1	0	0	1	1		
	北見	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	旭 川	1 9	3	3 10	2 14	△ 1 4	1 9	3 14	3 10	2 14	△ 1	60.065	2.0
	宮城	4	13 5	5	5	0	4	5	5	5	4	69,965 28,550	1.8
	福島	7	5	2	3	1	7	5	2	3	1	24,509	1.2
東	岩手	5	3	2	2	0	5	3	2	2	0	14,812	1.4
^	青森	3	4	3	2	△ 1	4	4	3	2	△ 1	14,708	1.4
北	山形	1	1	3	2	△ 1	1	1	5	2	△ 3	9,761	2.0
	秋 田	2	0	2	2	0	2	0	2	2	0	8,602	2.3
	小計	22	18	17	16	△ 1	23	18	19	16	△ 3	100,942	1.6
北	新 潟	5	4	4	1	△ 3	7	4	4	1	△ 3	24,284	0.4
陸	長野	2	2	6	2	△ 4	2	2	6	2	△ 4	18,608	1.1
信	石川	2	0	4	3	△ 1	2	0	4	3	△ 1	13,708	2.2
越	富山	3	2	0	0	0	3	2	0	0	0	13,159	0.0
<u> </u>	小計	12	8	14	6	△ 8	14	8	14	6	△ 8	69,759	0.9
	東京神奈川	10 12	7 6	4 10	8	4 ^ 1	10 12	7 6	4 10	8	4 ^ 1	95,121	0.8
	千葉	12	16	10 18	11	△ 1 △ 7	12	16	10 19	11	△ 1 △ 8	71,385 65,254	1.3 1.7
関	埼玉	13	17	16	9	△ 7	13	17	16	9	△ 7	90,715	1.0
IXI	茨城	9	11	12	8	△ 4	9	11	12	8	△ 4	44,256	1.8
東	群馬	4	5	3	5	2	4	5	3	5	2	26,506	1.9
	栃木	1	9	3	5	2	1	9	3	5	2	24,400	2.0
	山梨	1	1	0	1	1	1	1	0	1	1	8,273	1.2
	小計	62	72	66	56	△ 10	62	72	67	56	△ 11	425,910	1.3
	愛知	11	22	13	9	△ 4	12	22	13	9	△ 4	90,891	1.0
ф	静岡	7	9	7	7	0	7	9	7	7	0	42,892	1.6
'	岐阜	2	2	3	3	0	2	2	3	3	0	20,411	1.5
部	三重	4	4	3	3	0	4	4	4	4	0	23,133	1.3
	福井	0 24	39	28 28	0 22	△ 2 △ 6	0 25	39	29 29	23	△ 2 △ 6	8,894 186,221	0.0 1.2
	大阪	36	22	23	24	1	37	22	23	26	3	98,689	2.4
	京都	8	7	2	4	2	8	7	2	4	2	24,205	1.7
近	兵庫	14	14	6	6	0	14	16	7	6	△ 1	50,225	1.2
_	滋賀	1	1	1	5	4	1	2	1	5	4	13,199	3.8
畿	奈 良	2	8	1	2	1	2	9	1	2	1	10,819	1.8
	和歌山	0	1	3	1	△ 2	0	1	3	1	△ 2	9,855	1.0
	小計	61	53	36	42	6	62	57	37	44	7	206,992	2.0
	広島	7	4	6	5	△ 1	8	4	6	5	△ 1	31,408	1.6
中	鳥取	1	1	4	1	△ 3	1	1	4	1	△ 3	5,594	1.8
'	島根	2	0	1	2	1	12	0	1	2	1	6,046	3.3
国	岡山口	11	2 2	8	2	△ 4 △ 1	12 1	2	8	2	△ 4 △ 1	26,899 13,939	1.5 1.4
	小計	22	9	22	14	△ 8	24	9	22	14	△ 8	83,886	1.7
	香川	4	1	5	2	△ 3	4	1	5	2	△ 3	13,469	1.5
四	徳島	0	1	1	4	3	o	1	1	4	3	7,185	5.6
	愛 媛	12	4	4	2	△ 2	13	4	4	2	△ 2	15,403	1.3
玉	高 知	2	4	4	2	△ 2	2	4	4	2	△ 2	6,822	2.9
	小計	18	10	14	10	△ 4	19	10	14	10	△ 4	42,879	2.3
	福岡	13	15	9	11	2	13	15	10	11	1	56,798	1.9
	佐賀	4	2	0	4	4	4	2	0	5	5	10,367	3.9
九	長崎能士	3	3	2	1	△ 1	3	3	2	1	△ 1	9,338	1.1
	熊本	4	4	4	1	△ 3 ^ 1	4	6	4	1	△ 3 ^ 1	16,105	0.6
州	大分宮崎	4	1	4	3	△ 1 △ 2	4	1	4	3	△ 1 △ 2	10,393 11,239	2.9 0.9
	鹿児島	3	2	6	3	△ 2 △ 3	3	2	6	3	△ 2 △ 3	17,034	1.8
	小計	35	27	28	24	△ 4	35	29	29	25	△ 4	131,274	1.8
3	中縄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7,751	0.0
	不 明	6	4	4	3	△ 1	7	4	4	3	△ 1	0	
ŕ	合計	271	253	239	207	△ 32	280	260	245	211	△ 34	1,325,579	1.6
										(作成・7)	益社団法。	人 仝口木ト	・ラック協会)

※死亡事故件数及び死者数は軽自動車によるものを除く 出典:(公財)交通事故総合分析センター

※車両台数はトレーラ及び軽自動車を除く営業用貨物車の保有車両台数(RO2.12末現在) 出典: (一財)自動車検査登録情報協会

付録25 事業用貨物自動車1万台当たりの死亡事故件数(車籍別)(令和元年-令和2年)



※死亡事故件数は軽自動車によるものを除く 出典:(公財)交通事故総合分析センター

※車両台数はトレーラ及び軽自動車を除く営業用貨物自動車の保有台数(RO2.12 末現在) 出典: (一財)自動車検査登録情報協会

事業用貨物自動車の交通事故の発生状況

発行:公益社団法人全日本トラック協会

編集: 公益財団法人 交通事故総合分析センター

〒160-0004 東京都新宿区四谷三丁目2番5

Tel 03 (3354) 1009 (代表)

Fax 03 (3354) 1019

ホームページのアドレス http://www.jta.or.jp

